

工 種	共通仮設費
-----	-------

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行	
---------	------	------------	--

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

表-1 工 種 区 分

工種区分	工 種 内 容
河川工事	河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、護岸工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする
河川・道路 構造物工事	河川における構造物工事及び道路における構造物工事において、次に掲げる工事 1. 樋門(管)工、水(開)門工、サイフォン工、床止(固)工、堰、揚排水機場、ロックシェッド(RC構造)、スノーシェッド(RC構造)、防音(吸音・遮音)壁工、コンクリート橋、簡易組立橋梁、仮橋・仮栈橋、PC橋(工場製作桁の場合)等の工事及びこれらの下部・基礎のみの工事 ただし、河川高潮対策区間における樋門(管)工、水(開)門工については「海岸工事」とする 2. 橋梁の下部工、床版工のみの工事及び橋梁(鋼橋は除く)の修繕、橋台・橋脚補強工事 3. ゴム伸縮継手(新設)、床版打替工、沓座拉幅工、落橋防止工(RC構造)、コンクリート橋の支承、高欄設置工(コンクリート、石材等)、旧橋撤去工(鋼橋コンクリート橋上下部)、トンネル内装工(新設トンネル) 4. 1・2及び3に類する工事 ただし、門扉等の工場製作及び揚排水機場の上屋は除く
海岸工事	海岸工事において、次に掲げる工事 堤防工、突堤工、離岸堤工、消波根固工、海岸擁壁工、護岸工、樋門(管)工、河口浚渫、水(開)門工、養浜工、堤防地盤処理工及びこれらに類する工事 河川高潮対策区間の河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、樋門(管)工、水(開)門工、光ケーブル配管工、護岸工等の補修及びこれらに類する工事
道路改良工事	道路改良工事において、次に掲げる工事 土工、擁壁工、函(管)渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事
鋼橋架設工事	鋼橋等の運搬架設、塗装及び修繕に関する工事において、次に掲げる工事 1. 鋼橋架設工、鋼橋塗装工、鋼橋塗替工、鋼橋桁連結工、橋梁検査路設置工、高欄設置工(鋼製・アルミ等)、橋梁補修工(鋼板接着・増桁)、スノーシェッド(鋼構造)、ロックシェッド(鋼構造)、落橋防止工(RC構造以外)、鋼橋の支承、道路付属物を除く鋼構造物塗替工(水門、樋門、樋管、排水機場等) 2. 簡易組立橋の塗装工事及びこれらに類する工事
PC橋工事	工事現場におけるPC桁の製作(工場製作桁は除く)、架設及び製作架設に関する工事
舗装工事	舗装の新設、修繕工事において、次に掲げる工事 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事 ただし、小規模(パッチング等)な工事で施工箇所が点在する工事は除く

I-2-②-4

表-1 工 種 区 分

工種区分	工 種 内 容
河川工事	河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、護岸工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする
河川・道路 構造物工事	河川における構造物工事及び道路における構造物工事において、次に掲げる工事 1. 樋門(管)工、水(開)門工、サイフォン工、床止(固)工、堰、揚排水機場、ロックシェッド(RC構造)、スノーシェッド(RC構造)、防音(吸音・遮音)壁工、コンクリート橋、簡易組立橋梁、仮橋・仮栈橋、PC橋(工場製作桁の場合)等の工事及びこれらの下部・基礎のみの工事 ただし、河川高潮対策区間における樋門(管)工、水(開)門工については「海岸工事」とする 2. 橋梁の下部工、床版工のみの工事及び橋梁(鋼橋は除く)の修繕、橋台・橋脚補強工事 3. ゴム伸縮継手(新設)、床版打替工、沓座拉幅工、落橋防止工(RC構造)、コンクリート橋の支承、高欄設置工(コンクリート、石材等)、旧橋撤去工(鋼橋コンクリート橋上下部)、トンネル内装工(新設トンネル) 4. 1・2及び3に類する工事 ただし、 工種区分の橋梁保全工事に該当するものは除く。また、門扉等の工場製作及び揚排水機場の上屋は除く
海岸工事	海岸工事において、次に掲げる工事 堤防工、突堤工、離岸堤工、消波根固工、海岸擁壁工、護岸工、樋門(管)工、河口浚渫、水(開)門工、養浜工、堤防地盤処理工及びこれらに類する工事 河川高潮対策区間の河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、樋門(管)工、水(開)門工、光ケーブル配管工、護岸工等の補修及びこれらに類する工事
道路改良工事	道路改良工事において、次に掲げる工事 土工、擁壁工、函(管)渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事
鋼橋架設工事	鋼橋等の運搬架設及び 塗装及び修繕 に関する工事において、次に掲げる工事 1. 鋼橋架設工、鋼橋塗装工、鋼橋塗替工、鋼橋桁連結工、橋梁検査路設置工、高欄設置工(鋼製・アルミ等)、 橋梁補修工(鋼板接着・増桁) スノーシェッド(鋼構造)、ロックシェッド(鋼構造)、落橋防止工(RC構造以外)、鋼橋の支承、道路付属物を除く鋼構造物塗替工(水門、樋門、樋管、排水機場等) 2. 簡易組立橋の塗装工事及びこれらに類する工事 ただし、 工種区分の橋梁保全工事に該当するものは除く。
PC橋工事	工事現場におけるPC桁の製作(工場製作桁は除く)、架設及び製作架設に関する工事
橋梁保全工事	橋梁の保全に関する次に掲げる修繕工事 1. 橋梁(鋼橋は除く)の修繕、橋台・橋脚補強工事 2. 床版打替工、沓座拉幅工、落橋防止工(RC構造)、コンクリート橋の支承 3. 鋼橋等の修繕に関する工事で鋼橋桁連結工、橋梁検査路設置工、高欄設置工(鋼製・アルミ等)、橋梁補修工(鋼板接着・増桁)、落橋防止工(RC構造以外)、鋼橋の支承修繕の工事 4. 伸縮継手補修工、高欄取替工 5. その他、橋梁保全のための修繕等の工事(塗装、舗装打ち替え等は除く)



語句の修正

工種区分の改定

工種区分の改定

工種区分の改定

積算上の注意事項			
----------	--	--	--

工 種	共通仮設費
-----	-------

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行	
---------	------	------------	--

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

工種区分	(1)	工 種 内 容
共同溝等工	(1)	共同溝及び地下立体交差工事(地下駐車場、地下横断歩道等)にあって、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事
	(2)	共同溝及び地下立体交差工事(地下駐車場、地下横断歩道等)にあって、次に掲げる工事 施工方法が開削工法による工事
トンネル工事		トンネルに関する工事にあって、次に掲げる工事 1. トンネル工事 2. 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事 ただし、本工事を完成後別件で照明設備、舗装、側溝等を発注する場合、又は併用開始後の照明設備、吹付け、舗装、修繕工事等は除く
砂防・地すべり等工事		砂防、地すべり工事及び急傾斜地崩壊防止施設工事にあって、次に掲げる工事 堰堤工、流路工、山腹工、抑制工、抑止工、床固工、落石なだれ防止工、集水井工、集排水井ボーリング工、排水トンネル工及びこれらに類する工事
道路維持工事		道路にあって、次に掲げる工事 1. 伸縮継手補修工、道路附属物塗替工、防雪柵設置撤去工 ^{※1} 、トンネル漏水防止工、トンネル内装工(供用トンネル)、路面切削工、高欄取替工、路面工、法面工等の維持・補修 ^{※2} に関する工事 2. 道路標識 ^{※1} 、道路情報施設、電気通信設備、防護柵 ^{※1} 、樹木等及び区画線等の設置 3. 除草、除雪、清掃及び植栽等の緑地管理に関する作業 4. 1、2及び3に類する工事 ※1：局部的新設、復旧・更新を主とする場合に適用 ※2：法面工の補修については局部的な場合に適用
河川維持工事		河川維持工事(河川高潮対策区間の工事を含む)にあって、次に掲げる工事 1. 堤防天端・法面等の補修工事 2. 標識、境界杭、防護柵及び駒止め等の設置 3. 道路における電気通信設備以外の当該設備工事 4. 河川の伐開、除草、清掃、芝養生、水面清掃等の作業 5. 1、2、3及び4に類する工事
下水道工事	(1)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による管渠工事
	(2)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事
	(3)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 ポンプ場工事、処理工事及びこれらに類する工事
公園工事		公園及び緑地の造成整備に関する工事にあって、次に掲げる工事 敷地造成工、園路広場工、植樹工、除草工、芝付工、花壇工、日陰柵工、ベンチ工、池工、遊戯施設工、運動施設工、標識工及びこれらに類する工事
コンクリートダム工事		コンクリートダム本体を主体とする工事
フィルダム工事		フィルタイプでダム本体を主体とする工事
電線共同溝工事		電線共同溝に関する工事
情報ボックス工事		情報ボックスに関する工事(耐火防護も含む)

工種区分	(1)	工 種 内 容
舗装工事	(1)	舗装の新設、修繕工事にあって、次に掲げる工事 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事 ただし、小規模(パッチング等)な工事で施工箇所が点在する工事は除く
	(2)	共同溝及び地下立体交差工事(地下駐車場、地下横断歩道等)にあって、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事
共同溝等工	(1)	共同溝及び地下立体交差工事(地下駐車場、地下横断歩道等)にあって、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事
	(2)	共同溝及び地下立体交差工事(地下駐車場、地下横断歩道等)にあって、次に掲げる工事 施工方法が開削工法による工事
トンネル工事		トンネルに関する工事にあって、次に掲げる工事 1. トンネル工事 2. 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事 ただし、本工事を完成後別件で照明設備、舗装、側溝等を発注する場合、又は併用開始後の照明設備、吹付け、舗装、修繕工事等は除く
砂防・地すべり等工事		砂防、地すべり工事及び急傾斜地崩壊防止施設工事にあって、次に掲げる工事 堰堤工、流路工、山腹工、抑制工、抑止工、床固工、落石なだれ防止工、集水井工、集排水井ボーリング工、排水トンネル工及びこれらに類する工事
道路維持工事		道路にあって、次に掲げる工事 <u>1. 管理を目的とした維持的工事</u> <u>2. 伸縮継手補修工</u> 、道路附属物塗替工、防雪柵設置撤去工 ^{※1} 、トンネル漏水防止工、トンネル内装工(供用トンネル)、路面切削工、 <u>高欄取替工</u> 、路面工、法面工等の維持・補修 ^{※2} に関する工事 <u>3. 道路標識^{※1}、道路情報施設、電気通信設備、防護柵^{※1}、樹木等及び区画線等の設置</u> <u>4. 除草、除雪、清掃及び植栽等の緑地管理に関する作業</u> <u>5. 1、2、3及び4に類する工事</u> ※1：局部的新設、復旧・更新を主とする場合に適用 ※2：法面工の補修については局部的な場合に適用
河川維持工事		河川維持工事(河川高潮対策区間の工事を含む)にあって、次に掲げる工事 <u>1. 管理を目的とした維持的工事</u> <u>2. 堤防天端・法面等の補修工事</u> <u>3. 標識、境界杭、防護柵及び駒止め等の設置</u> <u>4. 道路における電気通信設備以外の当該設備工事</u> <u>5. 河川の伐開、除草、清掃、芝養生、水面清掃等の作業</u> <u>6. 1、2、3、4及び5に類する工事</u> ※1：局部的新設、復旧・更新を主とする場合に適用 ※2：法面工の補修については局部的な場合に適用
下水道工事	(1)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による管渠工事
	(2)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 施工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事
	(3)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 ポンプ場工事、処理工事及びこれらに類する工事
公園工事		公園及び緑地の造成整備に関する工事にあって、次に掲げる工事 敷地造成工、園路広場工、植樹工、除草工、芝付工、花壇工、日陰柵工、ベンチ工、池工、遊戯施設工、運動施設工、標識工及びこれらに類する工事
コンクリートダム工事		コンクリートダム本体を主体とする工事
フィルダム工事		フィルタイプでダム本体を主体とする工事
電線共同溝工事		電線共同溝に関する工事
情報ボックス工事		情報ボックスに関する工事(耐火防護も含む)



工種区分の改定

工種区分の改定

積算上の注意事項	
----------	--

工 種	共通仮設費の率分
-----	----------

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																			
現	行	改 定	備 考																																		
<p>1) 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正及び計算</p> <p>イ) 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正は別表第1（第1表～第4表）の共通仮設費率に下表の補正値を加算するものとする。なお、コンクリートダム、フィルダム及び電線共同溝工事には適用しない。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">市 街 地</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山 間 僻 地 及 び 離 島</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地方部</td> <td>施工場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>施工場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市 街 地：施工地域が人口集中地区（DID地区）及びこれに準ずる地区をいう。 DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島：施工地域が人事院規則における特勤勤務手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地 方 部：施工地区が上記以外の地区をいう。</p> <p>注2) 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通等の影響を受ける場合：①施工場所において、一般交通の影響を受ける場合 ②施工場所において、地下埋設物件の影響を受ける場合 ③施工場所において、50m以内に人家等が連なっている場合</p> <p>注3) 施工地域区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において地域区分が2つ以上となる場合には、補正値の大きい方を適用する。</p> <p>また、以下の施工地域、工事場所及び工種区分の場合における共通仮設費率の補正は別表第1（第1表～第2表）の共通仮設費率に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施工地域・工事場所区分</th> <th>工種区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">市街地</td> <td>鋼橋架設工事</td> <td rowspan="4">1.3</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> </tr> <tr> <td>電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>道路維持工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>ロ) 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費（率分）＝対象額（P）×（共通仮設費率（K r）＋施工地域・工事場所を考慮した補正値） 共通仮設費（率分）＝対象額（P）×（共通仮設費率（K r）×施工地域・工事場所を考慮した補正係数） ただし、共通仮設費率は別表第1の第1表～第4表による。</p> <p>3) その他 設計変更時における共通仮設費率の補正については、工事区間の延長等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正出来ることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。</p>		施工地域・工事場所区分		補正値 (%)	市 街 地		2.0	山 間 僻 地 及 び 離 島		1.0	地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0	施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数	市街地	鋼橋架設工事	1.3	舗装工事	電線共同溝工事	道路維持工事	<p>1) 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正及び計算</p> <p>イ) 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正は別表第1（第1表～第5表）の共通仮設費率に下表の補正値を加算するものとする。なお、コンクリートダム、フィルダム及び電線共同溝工事には適用しない。</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>(注)1. 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市 街 地：施工地域が人口集中地区（DID地区）及びこれに準ずる地区をいう。 DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島：施工地域が人事院規則における特勤勤務手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地 方 部：施工地域が上記以外の地区をいう。</p> <p>2. 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通等の影響を受ける場合：①施工場所において、一般交通の影響を受ける場合 ②施工場所において、地下埋設物件の影響を受ける場合 ③施工場所において、50m以内に人家等が連なっている場合</p> <p>3. 施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合には、補正値の大きい方を適用する。</p> <p>ロ) 以下の施工地域、工事場所及び工種区分の場合における共通仮設費率の補正は別表第1（第1表～第3表）の共通仮設費率に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施工地域・工事場所区分</th> <th>工種区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">市街地</td> <td>鋼橋架設工事</td> <td rowspan="5">1.3</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> </tr> <tr> <td>橋梁保全工事</td> </tr> <tr> <td>電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>道路維持工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>ハ) 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費（率分）＝対象額（P）×（共通仮設費率（K r）＋施工地域・工事場所を考慮した補正値） 共通仮設費（率分）＝対象額（P）×（共通仮設費率（K r）×施工地域・工事場所を考慮した補正係数） ただし、共通仮設費率は別表第1の第1表～第5表による。 ※ イ)及びロ)の補正のどちらも適用できる場合、当該工事の補正については、ロ)の補正を適用するものとする。</p> <p>3) その他 設計変更時における共通仮設費率の補正については、工事区間の延長等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正出来ることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。</p>		施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数	市街地	鋼橋架設工事	1.3	舗装工事	橋梁保全工事	電線共同溝工事	道路維持工事	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>対象工種区分の改定</p> <p>適用の明確化</p>
施工地域・工事場所区分		補正値 (%)																																			
市 街 地		2.0																																			
山 間 僻 地 及 び 離 島		1.0																																			
地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5																																			
	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0																																			
施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数																																			
市街地	鋼橋架設工事	1.3																																			
	舗装工事																																				
	電線共同溝工事																																				
	道路維持工事																																				
施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数																																			
市街地	鋼橋架設工事	1.3																																			
	舗装工事																																				
	橋梁保全工事																																				
	電線共同溝工事																																				
	道路維持工事																																				
積算上の注意事項																																					

工 種	共通仮設費の率分
-----	----------

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																																																																									
現 行		改 定																																																																																									
第3表		第4表																																																																																									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>1,000万円以下</th> <th colspan="2">1,000万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">(2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>b</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">共同溝等工事</td> <td>(1)</td> <td>8.86</td> <td>68.3</td> <td>-0.1267</td> <td>4.53</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>13.79</td> <td>92.5</td> <td>-0.1181</td> <td>7.37</td> </tr> <tr> <td>トンネル工事</td> <td></td> <td>28.71</td> <td>4,164.9</td> <td>-0.3088</td> <td>5.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下水道工事</td> <td>(1)</td> <td>12.85</td> <td>422.4</td> <td>-0.2167</td> <td>4.08</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>13.32</td> <td>485.4</td> <td>-0.2231</td> <td>4.08</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>7.64</td> <td>13.5</td> <td>-0.0353</td> <td>6.34</td> </tr> </tbody> </table>		対象額 適用区分 工種区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	(2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	A	b	共同溝等工事	(1)	8.86	68.3	-0.1267	4.53	(2)	13.79	92.5	-0.1181	7.37	トンネル工事		28.71	4,164.9	-0.3088	5.59	下水道工事	(1)	12.85	422.4	-0.2167	4.08	(2)	13.32	485.4	-0.2231	4.08	(3)	7.64	13.5	-0.0353	6.34	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>1,000万円以下</th> <th colspan="2">1,000万円を超え20億円以下</th> <th>20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">(3)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>b</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">共同溝等工事</td> <td>(1)</td> <td>8.86</td> <td>68.3</td> <td>-0.1267</td> <td>4.53</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>13.79</td> <td>92.5</td> <td>-0.1181</td> <td>7.37</td> </tr> <tr> <td>トンネル工事</td> <td></td> <td>28.71</td> <td>4,164.9</td> <td>-0.3088</td> <td>5.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下水道工事</td> <td>(1)</td> <td>12.85</td> <td>422.4</td> <td>-0.2167</td> <td>4.08</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>13.32</td> <td>485.4</td> <td>-0.2231</td> <td>4.08</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>7.64</td> <td>13.5</td> <td>-0.0353</td> <td>6.34</td> </tr> </tbody> </table>		対象額 適用区分 工種区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする	(3)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	A	b	共同溝等工事	(1)	8.86	68.3	-0.1267	4.53	(2)	13.79	92.5	-0.1181	7.37	トンネル工事		28.71	4,164.9	-0.3088	5.59	下水道工事	(1)	12.85	422.4	-0.2167	4.08	(2)	13.32	485.4	-0.2231	4.08	(3)	7.64	13.5	-0.0353	6.34
対象額 適用区分 工種区分	1,000万円以下		1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																						
	下記の率とする		(2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																						
		A	b																																																																																								
共同溝等工事	(1)	8.86	68.3	-0.1267	4.53																																																																																						
	(2)	13.79	92.5	-0.1181	7.37																																																																																						
トンネル工事		28.71	4,164.9	-0.3088	5.59																																																																																						
下水道工事	(1)	12.85	422.4	-0.2167	4.08																																																																																						
	(2)	13.32	485.4	-0.2231	4.08																																																																																						
	(3)	7.64	13.5	-0.0353	6.34																																																																																						
対象額 適用区分 工種区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																							
	下記の率とする	(3)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																							
		A	b																																																																																								
共同溝等工事	(1)	8.86	68.3	-0.1267	4.53																																																																																						
	(2)	13.79	92.5	-0.1181	7.37																																																																																						
トンネル工事		28.71	4,164.9	-0.3088	5.59																																																																																						
下水道工事	(1)	12.85	422.4	-0.2167	4.08																																																																																						
	(2)	13.32	485.4	-0.2231	4.08																																																																																						
	(3)	7.64	13.5	-0.0353	6.34																																																																																						
第4表		第5表																																																																																									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>3億円以下</th> <th colspan="2">3億円を超え50億円以下</th> <th>50億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">(2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>b</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートダム</td> <td></td> <td>12.29</td> <td>105.2</td> <td>-0.1100</td> <td>9.02</td> </tr> <tr> <td>フィルダム</td> <td></td> <td>7.57</td> <td>43.7</td> <td>-0.0898</td> <td>5.88</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 算定式 $K_c = A \cdot P^b$ ただし K_c : 共通仮設費率(%) P : 対象額(円) A・b : 変数値 注) 1. K_c の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。 2. 対象額の算定にあたっては、「2. 共通仮設費(2)算定方法 1)率計算による部分」及び「2. 共通仮設費(2)算定方法 5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。</p>		対象額 適用区分 工種区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの	下記の率とする	(2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	A	b	コンクリートダム		12.29	105.2	-0.1100	9.02	フィルダム		7.57	43.7	-0.0898	5.88	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">対象額 適用区分 工種区分</th> <th>3億円以下</th> <th colspan="2">3億円を超え50億円以下</th> <th>50億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">(3)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>b</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートダム</td> <td></td> <td>12.29</td> <td>105.2</td> <td>-0.1100</td> <td>9.02</td> </tr> <tr> <td>フィルダム</td> <td></td> <td>7.57</td> <td>43.7</td> <td>-0.0898</td> <td>5.88</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 算定式 $K_c = A \cdot P^b$ ただし K_c : 共通仮設費率(%) P : 対象額(円) A・b : 変数値 注) 1. K_c の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。 2. 対象額の算定にあたっては、「2. 共通仮設費(2)算定方法 1)率計算による部分」及び「2. 共通仮設費(2)算定方法 5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。</p>		対象額 適用区分 工種区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの	下記の率とする	(3)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする	A	b	コンクリートダム		12.29	105.2	-0.1100	9.02	フィルダム		7.57	43.7	-0.0898	5.88																																										
対象額 適用区分 工種区分	3億円以下		3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの																																																																																						
	下記の率とする		(2)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																						
		A	b																																																																																								
コンクリートダム		12.29	105.2	-0.1100	9.02																																																																																						
フィルダム		7.57	43.7	-0.0898	5.88																																																																																						
対象額 適用区分 工種区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの																																																																																							
	下記の率とする	(3)の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による		下記の率とする																																																																																							
		A	b																																																																																								
コンクリートダム		12.29	105.2	-0.1100	9.02																																																																																						
フィルダム		7.57	43.7	-0.0898	5.88																																																																																						
		表番号の修正																																																																																									
		表番号の修正																																																																																									
		章立ての修正																																																																																									
I-2-②-9																																																																																											
積算上の注意事項																																																																																											

工 種	準備費
-----	-----

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考
	現 行	改 定	備 考
	<p>2-3 準備費</p> <p>(1) 準備費の積算 準備費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 準備及び後片付けに要する費用</p> <p>イ 着手時の準備費用</p> <p>ロ 施工期間中における準備、後片付け費用</p> <p>ハ 完成時の後片付け費用</p> <p>2) 調査・測量、丁張等に要する費用</p> <p>イ 工事着手前の基準測量等の費用</p> <p>ロ 縦、横断面図の照査等の費用</p> <p>ハ 用地幅杭等の仮設等の費用</p> <p>ニ 丁張の設置等の費用</p> <p>3) 準備として行うブルドーザ、レーキドーザ、バックホウ等による雑木や小さな樹木、竹などを除去する 伐開、除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用（伐開、除根及び除草は、現場内の集積・積 込み作業を含む。樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。）</p> <p>4) 1)から3)に掲げるもののほか、工事施工に必要な準備に要する費用に要する費用。</p> <p>5) 準備に伴い発生する交通誘導警備員の費用については、安全費に積上げ計上する。</p> <p>(2) 積算方法 準備費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3)とし、積上げ計上す る項目は前記(1)の4)に要する費用とし、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるも のとする。</p> <p>2-4 事業損失防止施設費</p> <p>(1) 事業損失防止施設費の積算 事業損失防止施設費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止す るための仮施設の設置費、撤去費、及び当該仮施設の維持管理等に要する費用</p> <p>2) 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法 事業損失防止施設費の積算は、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。</p>	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>共通仮設費率分の 範囲の明確化</p>
I-2-②-21			
積算上の注意事項			

工 種	安全費
-----	-----

改 定 理 由	基 準 書 の 改 定	改 定 現 行	備 考
	現 行	改 定	備 考
	<p>2-5 安全費</p> <p>(1) 安全費の積算 安全費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 交通管理に要する費用 2) 安全施設等に要する費用 3) 安全管理等に要する費用 4) 1)～3)に掲げるもののほか、工事施工に必要な安全対策等に要する費用</p> <p>(2) 積算方法 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、下記の項目とする。</p> <p>① 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用 ② 不稼働日の保安要員等の費用 ③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、照明等の安全施設等の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料 ④ 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用（大規模な照明設備を必要とする広範な工事（ダム・トンネル工事）は除く） ⑤ 河川、海岸工事における救命艇に要する費用 ⑥ 長大トンネルにおける防火安全対策に要する費用 ⑦ 酸素欠乏症の予防に要する費用 ⑧ 粉塵作業の予防に要する費用（ただし、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備は、仮設工に計上する。） ⑨ 安全用品等の費用 ⑩ 安全委員会等に要する費用</p> <p>上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。</p> <p>① 交通誘導警備員及び機械の誘導員等の交通管理に要する費用 ② 鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入口等に配置する安全管理員等に要する費用 ③ バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等のイメージアップに要する費用（積算方法は、第9章「土木請負工事におけるイメージアップ経費の積算」による） ④ 高圧作業の予防に要する費用 ⑤ 河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要する費用 ⑥ ダム工事における岩石掘削時に必要な発破・監視のための費用 ⑦ トンネル工事における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要する費用 ⑧ その他、現場条件等により積み上げを要する費用</p>	<p>2-5 安全費</p> <p>(1) 安全費の積算 安全費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <p>1) 交通管理に要する費用 <u>1-2) 安全施設等に要する費用</u> <u>2-3) 安全管理等に要する費用</u> <u>3-4) 1)～2-3)に掲げるもののほか、工事施工に必要な安全対策等に要する費用</u></p> <p>(2) 積算方法 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、下記の項目とする。</p> <p>① 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用 ② 不稼働日の保安要員等の費用 ③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、<u>架空線等事故防止対策簡易ゲート</u>、照明等の安全施設等の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料 ④ 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用（大規模な照明設備を必要とする広範な工事（ダム・トンネル工事）は除く） ⑤ 河川、海岸工事における救命艇に要する費用 ⑥ 長大トンネルにおける防火安全対策に要する費用 ⑦ 酸素欠乏症の予防に要する費用 ⑧ 粉塵作業の予防に要する費用（ただし、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備は、仮設工に計上する。） ⑨ 安全用品等の費用 ⑩ 安全委員会等に要する費用</p> <p>上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。</p> <p>① 交通誘導警備員及び機械の誘導員等の交通管理に要する費用 <u>①② 鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入口等に配置する安全管理員等に要する費用</u> <u>②③ バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等のイメージアップに要する費用</u>（積算方法は、第9章「土木請負工事におけるイメージアップ経費の積算」による） <u>③④ 高圧作業の予防に要する費用</u> <u>④⑤ 河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要する費用</u> <u>⑤⑥ ダム工事における岩石掘削時に必要な発破・監視のための費用</u> <u>⑥⑦ トンネル工事における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要する費用</u> <u>⑦⑧ その他、現場条件等により積み上げを要する費用</u></p>	<p>基準書の改定に伴う見直し</p> <p>基準書の改定に伴う見直し</p>
	I-2-②-22		
積算上の注意事項			

工 種	安全費
-----	-----

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

1) 交通誘導警備員の積算
現場条件に応じて、交通誘導警備員の配置人員、作業時間帯、期間を計上する。

表2-1 交通誘導員の計上区分

区分	現 場 条 件	計 算 式	
		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B
1	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	A×必要日数×N	A×必要日数×N
2	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	1.2A×必要日数×N	1.2A×必要日数×N
3	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	1.5A×必要日数×N	1.5A×必要日数×N
4	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	1.8A×必要日数×N	1.8A×必要日数×N
5	24時間勤務 実働 22時間 (交替要員無し)	3.0A×必要日数×N	3.0A×必要日数×N
6	24時間勤務 実働 24時間 (交替要員有り)	3.4A×必要日数×N	3.5A×必要日数×N

(注) 1. A: 交通誘導警備員単価 N: 配置人員
2. 日曜、祝祭日等の休日割増は適用しない。
3. 区分5, 6は2交替制勤務とする。
4. 交替要員有りは、休憩、休憩時間についても交通誘導を行う場合に適用する。
5. 作業時間帯等が異なる場合は、別途積算するものとする。

2) 呼吸用保護具の積算
トンネル建設工事における掘削及び支保工に使用する呼吸用保護具(電動ファン付粉塵用保護具等)の費用として、1工事当り次式「呼吸用保護具等費用」を別途計上するものとする。

呼吸用保護具等費用 = 1,370,000 + 総労務費×0.7% (円)

なお、総労務費とは、1工事当りのトンネル世話役、トンネル特殊工、トンネル作業員の労務費合計額とする。

I-2-②-23

~~1) 交通誘導警備員の積算
現場条件に応じて、交通誘導警備員の配置人員、作業時間帯、期間を計上する。~~

~~表2-1 交通誘導員の計上区分~~

区分	現 場 条 件	計 算 式	
		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B
1	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	A×必要日数×N	A×必要日数×N
2	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	1.2A×必要日数×N	1.2A×必要日数×N
3	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	1.5A×必要日数×N	1.5A×必要日数×N
4	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	1.8A×必要日数×N	1.8A×必要日数×N
5	24時間勤務 実働 22時間 (交替要員無し)	3.0A×必要日数×N	3.0A×必要日数×N
6	24時間勤務 実働 24時間 (交替要員有り)	3.4A×必要日数×N	3.5A×必要日数×N

~~(注) 1. A: 交通誘導警備員単価 N: 配置人員
2. 日曜、祝祭日等の休日割増は適用しない。
3. 区分5, 6は2交替制勤務とする。
4. 交替要員有りは、休憩、休憩時間についても交通誘導を行う場合に適用する。
5. 作業時間帯等が異なる場合は、別途積算するものとする。~~

~~1-2) 呼吸用保護具の積算
トンネル建設工事における掘削及び支保工に使用する呼吸用保護具(電動ファン付粉塵用保護具等)の費用として、1工事当り次式「呼吸用保護具等費用」を別途計上するものとする。~~

~~呼吸用保護具等費用 = 1,370,000 + 総労務費×0.7% (円)~~

なお、総労務費とは、1工事当りのトンネル世話役、トンネル特殊工、トンネル作業員の労務費合計額とする。

基準書の改定に伴う見直し

積算上の注意事項

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考
現	行	改 定	備 考
<p>2-7 技術管理費</p> <p>(1) 技術管理費の積算 技術管理費として積算する内容は次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 品質管理のための試験等に要する費用 2) 出来形管理のための測量等に要する費用 3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用 4) 1)～3)に掲げるもののほか、技術管理上必要な資料の作成に要する費用 <p>(2) 積算方法 技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1), 2), 3)のうち下記項目とする。</p> <p>① 品質管理基準に記載されている項目(必須・その他)に要する費用</p> <p>② 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用</p> <p>③ 工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>④ 完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等(道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く)に要する費用</p> <p>⑤ 建設材料の品質記録保存に要する費用</p> <p>⑥ コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用</p> <p>⑦ コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用</p> <p>⑧ PC上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用</p> <p>⑨ トンネル工(NATM)の計測Aに要する費用</p> <p>⑩ 塗装膜厚施工管理に要する費用</p> <p>⑪ 溶接試験における放射線透過試験に要する費用</p> <p>⑫ 施工管理で使用するOA機器の費用(情報共有システムに係る費用(登録料及び利用料)を含む)</p> <p>⑬ 品質証明に係る費用(品質証明費)</p> <p>上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。</p> <p>(イ) 特殊な品質管理に要する費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土質等試験：品質管理基準に記載されている項目以外の試験 ・地質調査：平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験 <p>(ロ) 現場条件等により積上げを要する費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用 ・試験盛土等の工事に要する費用、トンネル(NATM)の計測Bに要する費用 ・下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要する費用 <p>(ハ) 施工合理化調査、施工形態動向調査及び諸経費動向調査に要する費用</p> <p>(ニ) その他、前記イ、ロに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用</p>		<p>現行どおり</p> <p>① 品質管理基準に記載されている試験項目(必須・その他)に要する費用</p> <p>現行どおり</p> <p>(ロ) 現場条件等により積上げを要する費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用 ・試験盛土等の工事に要する費用、トンネル(NATM)の計測Bに要する費用 ・下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要する費用 ・施工前に既設構造物の配筋状況の確認に用いる特別な機器(鉄筋探査等)に要する費用 <p>(ハ) 施工合理化調査、施工形態動向調査及び諸経費動向調査に要する費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査に要する費用とし、その費用については、間接工事費、一般管理費等の対象とする。 <p>(ニ) その他、前記イ、ロ、ハに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用</p>	<p>語句の追加</p> <p>積上げを要する費用の追記(明確化)</p> <p>語句の修正</p>
I-2-②-25			
積算上の注意事項			

工 種	現場管理費
-----	-------

改 定 理 由	一部改定	改 定 — 現 行																					
現	行	改 定	備 考																				
<p>(2) 現場管理費の算定</p> <p>1) 現場管理費は別表第1（第1表～第4表）の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を、当該純工事費に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p>なお、現場管理費の算定上、対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費（2）算定方法 1）率計算による部分の（ニ）」及び「2. 共通仮設費（2）算定方法 5）間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。</p> <p>2) 2種以上の工種からなる工事については、その主たる工種の現場管理費率を適用するものとし、また、工事条件によっては、工事名にとられることなく工種を選定するものとする。</p> <p>3) 設計変更で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。</p> <p>(3) 現場管理費率の補正</p> <p>現場管理費率の補正については、「1）施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正」及び「2）施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正」により補正を行うものとする。</p> <p>1) 施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正</p> <p>施工時期、工事期間等を考慮して、別表第1の工種別現場管理費率標準値を2%の範囲内で適切に加算することが出来る。ただし重複する場合は、最高2%とする。</p> <p>イ) 積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合</p> <p>a. 積雪寒冷地域の範囲……国家公務員の寒冷地手当に関する法律に規定される寒冷地手当を支給する地域とする。</p> <p>ただし、コンクリートダム、フィルダムの現場管理費率を適用する工事には適用しない。</p> <p>b. 積雪寒冷地臨時施工期間を次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">適用地域</th> <th style="width: 40%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">11月1日～3月31日</td> <td style="text-align: center;">北海道、青森県、秋田県</td> <td style="text-align: center;">積雪地特性を11月中の降雪が5日以上あることとした。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12月1日～3月31日</td> <td style="text-align: center;">上記以外の地域</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>c. 工場製作工事及び冬期条件下で施工することが前提となっている除排雪工事等は適用しない。</p> <p>d. 現場管理費率の補正率は次によるものとする。</p> <p>補正値（%）＝冬期率×補正係数</p> <p>冬期率＝12月1日～3月31日（11月1日～3月31日）までの工事期間／工期</p> <p>ただし、工期については実際に工事を施工するために要する期間で、準備期間と後片付け期間を含めた期間とする。また、冬期工事期間に準備又は後片付けが掛かる場合は、準備期間と後片付け期間を含めた期間とする。</p> <p>補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">積雪寒冷地域の区分</th> <th style="width: 40%;">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 級 地</td> <td style="text-align: center;">1.80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 〃</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 〃</td> <td style="text-align: center;">1.40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 〃</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 冬期率は小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。</p> <p>2. 補正値は小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。</p> <p>3. 施工地域が2つ以上となる場合には、補正係数の大きい方を適用する。</p>			適用地域	備 考	11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上あることとした。	12月1日～3月31日	上記以外の地域		積雪寒冷地域の区分	補正係数	1 級 地	1.80	2 〃	1.60	3 〃	1.40	4 〃	1.20	<p>(2) 現場管理費の算定</p> <p>1) 現場管理費は別表第1（第1表～第5表）の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を、当該純工事費に乗じて得た額の範囲内とする。</p> <p>なお、現場管理費の算定上、対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費（2）算定方法 1）率計算による部分の（ニ）」及び「2. 共通仮設費（2）算定方法 5）間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。</p> <p>2) 2種以上の工種からなる工事については、その主たる工種の現場管理費率を適用するものとし、また、工事条件によっては、工事名にとられることなく工種を選定するものとする。</p> <p>3) 設計変更で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。</p>		語句の修正
	適用地域	備 考																					
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上あることとした。																					
12月1日～3月31日	上記以外の地域																						
積雪寒冷地域の区分	補正係数																						
1 級 地	1.80																						
2 〃	1.60																						
3 〃	1.40																						
4 〃	1.20																						
I-2-②-30		現行どおり																					
積算上の注意事項																							

工 種	現場管理費
-----	-------

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考																																															
<p>ロ) 緊急工事の場合 緊急工事は 2.0%の補正値を加算するものとする。緊急工事とは、昼夜間連続作業が前提となる工事で直轄河川災害復旧事業等事務取扱要綱第9条に示す緊急復旧事業及び直轄道路災害復旧事業事務取扱要綱第10条に示す緊急復旧事業並びにこれと同等の緊急を要する事業とする。</p> <p>3) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正</p> <p>イ) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正は別表第1(第1表~第4表)の現場管理費率標準値に下表の補正値を加算するものとする。 なお、コンクリートダム、フィルダム及び電線共同溝の現場管理費率を適用する工事には適用しない。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">市 街 地</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山 間 僻 地 及 び 離 島</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地方部</td> <td>施工場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>施工場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市 街 地： 施工地域が人口集中地区(DID地区)及びこれに準ずる地区をいう。 DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島： 施工地域が人事院規則における特地勤務手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地 方 部： 施工地域が上記以外の地区をいう。</p> <p>(注2) 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通の影響を受ける場合： ①施工場所において一般交通の影響を受ける場合 ② " 地下埋設物件の影響を受ける場合 ③ " 50m以内に人家等が連なっている場合</p> <p>(注3) 施工地域区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において、地域区分が2つ以上となる場合には、補正値の大きい方を適用する。</p> <p>また、以下の施工地域、工事場所及び工種区分の場合における現場管理費率の補正は別表第1の現場管理費率標準値に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>施工地域・工事場所区分</th> <th>工種区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">市街地</td> <td>鋼橋架設工事</td> <td rowspan="4">1.1</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> </tr> <tr> <td>電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>道路維持工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) その他 設計変更時における現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正出来ることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。</p> <p>(4) 支給品の取扱い 1) 資材等を支給するときは、当該支給品費を純工事費に加算した額を現場管理費算定の対象となる純工事費とする。</p>	施工地域・工事場所区分		補正値 (%)	市 街 地		1.5	山 間 僻 地 及 び 離 島		0.5	地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0	施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数	市街地	鋼橋架設工事	1.1	舗装工事	電線共同溝工事	道路維持工事	<p>ロ) 緊急工事の場合 緊急工事は 2.0%の補正値を加算するものとする。緊急工事とは、昼夜間連続作業が前提となる工事で直轄河川災害復旧事業等事務取扱要綱第9条に示す緊急復旧事業及び直轄道路災害復旧事業事務取扱要綱第10条に示す緊急復旧事業並びにこれと同等の緊急を要する事業とする。</p> <p>3) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正</p> <p>イ) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正は、別表第1(第1表~第5表)の現場管理費率標準値に下表の補正値を加算するものとする。なお、コンクリートダム、フィルダム及び電線共同溝の現場管理費率を適用する工事には適用しない。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">市 街 地</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山 間 僻 地 及 び 離 島</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地方部</td> <td>施工場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>施工場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市 街 地： 施工地域が人口集中地区(DID地区)及びこれに準ずる地区をいう。 DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上でその全体が5,000人以上となっている地域をいう。 山間僻地及び離島： 施工地域が人事院規則における特地勤務手当を支給するために指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。 地 方 部： 施工地域が上記以外の地区をいう。</p> <p>2. 施工場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通の影響を受ける場合： ①施工場所において一般交通の影響を受ける場合 ② " 地下埋設物件の影響を受ける場合 ③ " 50m以内に人家等が連なっている場合</p> <p>3. 施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において、<u>施工地域・工事場所区分</u>が2つ以上となる場合には、補正値の大きい方を適用する。</p> <p>ロ) 以下の施工地域、工事場所及び工種区分の場合における現場管理費率の補正は別表第1の現場管理費率標準値に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>施工地域・工事場所区分</th> <th>工種区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">市街地</td> <td>鋼橋架設工事</td> <td rowspan="5">1.1</td> </tr> <tr> <td><u>橋梁保全工事</u></td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> </tr> <tr> <td>電線共同溝工事</td> </tr> <tr> <td>道路維持工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ イ)及びロ)の補正のどちらも適用できる場合、当該工事の補正については、ロ)の補正を適用するものとする。</p> <p>4) その他 設計変更時における現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正出来ることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。</p> <p>(4) 支給品の取扱い 1) 資材等を支給するときは、当該支給品費を純工事費に加算した額を現場管理費算定の対象となる純工事費とする。</p>	施工地域・工事場所区分		補正値 (%)	市 街 地		1.5	山 間 僻 地 及 び 離 島		0.5	地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0	施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数	市街地	鋼橋架設工事	1.1	<u>橋梁保全工事</u>	舗装工事	電線共同溝工事	道路維持工事	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>対象工種区分の改定</p> <p>適用の明確化</p>
施工地域・工事場所区分		補正値 (%)																																															
市 街 地		1.5																																															
山 間 僻 地 及 び 離 島		0.5																																															
地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0																																															
	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0																																															
施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数																																															
市街地	鋼橋架設工事	1.1																																															
	舗装工事																																																
	電線共同溝工事																																																
	道路維持工事																																																
施工地域・工事場所区分		補正値 (%)																																															
市 街 地		1.5																																															
山 間 僻 地 及 び 離 島		0.5																																															
地方部	施工場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0																																															
	施工場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0																																															
施工地域・工事場所区分	工種区分	補正係数																																															
市街地	鋼橋架設工事	1.1																																															
	<u>橋梁保全工事</u>																																																
	舗装工事																																																
	電線共同溝工事																																																
	道路維持工事																																																

I-2-②-31

積算上の注意事項

工 種	現場管理費
-----	-------

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現	行	改	定	備 考
---	---	---	---	-----

(7) 現場管理費の計算
 1) 施工時期、工事期間、施工地域、工事場所を考慮した計算
 現場管理費=対象純工事費×(現場管理費標準値+補正值)
 対象純工事費:純工事費+支給品費+無償貸与機械等評価額
 ただし、現場管理費率標準値は、別表第1(第1表~第4表)による。
 補正值は、(3)1)施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正及び(3)3)施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正による。

別表第1
第1表

対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの
		(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		
		A	b	
河川工事	42.02	1,169.0	-0.2110	14.75
河川・道路構造物工事	28.22	52.6	-0.0395	23.20
海岸工事	26.90	104.0	-0.0858	17.57
道路改良工事	32.73	80.0	-0.0567	24.71
鋼橋架設工事	39.06	105.6	-0.0631	28.56
P C 橋工事	30.09	113.1	-0.0840	19.84
舗装工事	39.39	622.2	-0.1751	16.52
砂防・地すべり等工事	44.58	1,281.7	-0.2131	15.48
公園工事	41.68	366.3	-0.1379	21.03
電線共同溝工事	58.82	2,235.6	-0.2308	18.72
情報ボックス工事	52.66	1,570.0	-0.2154	18.08

(注) 基礎地盤から堤頂までの高さが20m以上の砂防堰堤は、砂防・地すべり等工事に2%加算する。

第2表

対象額 適用区分 工種区分	200万円以下	200万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの
		(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		
		A	b	
道路維持工事	51.14	316.8	-0.1257	31.27
河川維持工事	41.28	166.7	-0.0962	28.34

I-2-②-33

(7) 現場管理費の計算
 1) 施工時期、工事期間、施工地域、工事場所を考慮した計算
 現場管理費=対象純工事費×(現場管理費標準値+補正值)
 対象純工事費:純工事費+支給品費+無償貸与機械等評価額
 ただし、現場管理費率標準値は、別表第1(第1表~第5表)による。
 補正值は、(3)1)施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正及び(3)3)施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正による。

別表第1
第1表

対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの
		(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		
		A	b	
河川工事	42.02	1,169.0	-0.2110	14.75
河川・道路構造物工事	<u>41.29</u>	<u>420.8</u>	<u>-0.1473</u>	<u>19.88</u>
海岸工事	26.90	104.0	-0.0858	17.57
道路改良工事	32.73	80.0	-0.0567	24.71
鋼橋架設工事	<u>46.66</u>	<u>276.1</u>	<u>-0.1128</u>	<u>26.66</u>
P C 橋工事	30.09	113.1	-0.0840	19.84
舗装工事	39.39	622.2	-0.1751	16.52
砂防・地すべり等工事	44.58	1,281.7	-0.2131	15.48
公園工事	41.68	366.3	-0.1379	21.03
電線共同溝工事	58.82	2,235.6	-0.2308	18.72
情報ボックス工事	52.66	1,570.0	-0.2154	18.08

(注) 基礎地盤から堤頂までの高さが20m以上の砂防堰堤は、砂防・地すべり等工事に2%加算する。

第2表

対象額 適用区分 工種区分	700万円以下	700万円を超え3億円以下		3億円を超えるもの
		(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		
		A	b	
橋梁保全工事	63.10	1,508.7	-0.2014	29.60

語句の修正

工種区分の改定

工種区分の改定

次頁へ移動

積算上の注意事項

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

第3表

工種区分	対象額 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの
		下記の率とする	(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
			A	b	
共同溝等工事	(1)	48.95	367.7	-0.1251	25.23
	(2)	37.50	110.6	-0.0671	26.28
トンネル工事		43.96	203.6	-0.0951	26.56
下水道工事	(1)	33.46	50.8	-0.0259	29.17
	(2)	36.91	213.5	-0.1089	20.73
	(3)	31.58	48.4	-0.0265	27.44

第4表

工種区分	対象額 適用区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの
		下記の率とする	(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
			A	b	
コンクリートダム		22.60	301.3	-0.1327	15.56
フィルダム		33.08	166.5	-0.0828	26.20

(2) 算定式
 $J_o = A \cdot N p^b$ ただし、 J_o :現場管理費率(%)
 $N p$:純工事費(円)
 A, b :変数値

(注) 1. J_o の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする
2. 対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費(2)算定方法 1)率計算による部分(の(ニ))」及び「2. 共通仮設費(2)算定方法 5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

I-2-②-34

第3表

工種区分	対象額 適用区分	200万円以下	200万円を超え1億円以下		1億円を超えるもの
		下記の率とする	(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
			A	b	
道路維持工事		58.61	605.1	-0.1609	31.23
河川維持工事		41.28	166.7	-0.0962	28.34

第4表

工種区分	対象額 適用区分	1,000万円以下	1,000万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの
		下記の率とする	(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
			A	b	
共同溝等工事	(1)	48.95	367.7	-0.1251	25.23
	(2)	37.50	110.6	-0.0671	26.28
トンネル工事		43.96	203.6	-0.0951	26.56
下水道工事	(1)	33.46	50.8	-0.0259	29.17
	(2)	36.91	213.5	-0.1089	20.73
	(3)	31.58	48.4	-0.0265	27.44

第5表

工種区分	対象額 適用区分	3億円以下	3億円を超え50億円以下		50億円を超えるもの
		下記の率とする	(2)の算定式により算出された率とする。 ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
			A	b	
コンクリートダム		22.60	301.3	-0.1327	15.56
フィルダム		33.08	166.5	-0.0828	26.20

(2) 算定式
 $J_o = A \cdot N p^b$ ただし、 J_o :現場管理費率(%)
 $N p$:純工事費(円)
 A, b :変数値

(注) 1. J_o の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする
2. 対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費(2)算定方法 1)率計算による部分(の(ニ))」及び「2. 共通仮設費(2)算定方法 5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

前頁より移動
工種区分の改定

積算上の注意事項

工 種	工事の一時中止に伴う増加費用等の積算
-----	--------------------

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

別表-1

工 種 区 分	係 数 A			係 数 B	係 数 a	係 数 b	
	地方部（一般交通等の影響なし）	地方部（一般交通等影響有） 山間僻地離島	市街地 (D I D地区・ 準ずる地区)				
河川工事	739.2	781.0	807.6	-0.2636	0.3687	0.3311	
河川・道路構造物工事	180.4	190.6	197.2	-0.1562	0.8251	0.3075	
海岸工事	105.5	111.4	115.2	-0.1120	1.6285	0.2498	
道路改良工事	339.5	358.7	370.9	-0.1935	0.4461	0.3348	
鋼橋架設工事	550.3	581.5	601.3	-0.2612	0.0717	0.4607	
P C橋工事	476.3	503.2	520.4	-0.2330	0.8742	0.3058	
舗装工事	453.4	479.0	495.4	-0.2108	0.0761	0.4226	
共同溝等工事	(1)	209.6	221.5	229.1	-0.1448	0.1529	0.4058
	(2)	154.8	163.6	169.1	-0.1153	0.3726	0.3559
トンネル工事	293.8	310.3	321.0	-0.1718	0.0973	0.4252	
砂防・地すべり等工事	151.0	159.5	164.9	-0.1379	0.4267	0.3357	
道路維持工事	96.0	101.4	104.9	-0.0926	0.1699	0.3933	
河川維持工事	439.2	464.0	479.9	-0.2138	0.0144	0.5544	
下水道工事	(1)	437.5	462.4	478.1	-0.2054	0.0812	0.4356
	(2)	135.2	142.9	147.8	-0.1089	0.2598	0.3771
	(3)	106.4	112.6	116.3	-0.1078	0.5988	0.3258
公園工事	244.3	258.1	267.0	-0.1733	0.2026	0.3740	
コンクリートダム工事	351.8	371.8	384.5	-0.1793	11.6225	0.1998	
フィルダム工事	508.1	536.9	555.1	-0.2055	0.0617	0.4440	
電線共同溝工事	256.9	271.4	280.8	-0.1615	8.1264	0.1740	

別表-1

工 種 区 分	係 数 A			係 数 B	係 数 a	係 数 b	
	地方部（一般交通等の影響なし）	地方部（一般交通等影響有） 山間僻地離島	市街地 (D I D地区・ 準ずる地区)				
河川工事	739.2	781.0	807.6	-0.2636	0.3687	0.3311	
河川・道路構造物工事	180.4	190.6	197.2	-0.1562	0.8251	0.3075	
海岸工事	105.5	111.4	115.2	-0.1120	1.6285	0.2498	
道路改良工事	339.5	358.7	370.9	-0.1935	0.4461	0.3348	
鋼橋架設工事	550.3	581.5	601.3	-0.2612	0.0717	0.4607	
P C橋工事	476.3	503.2	520.4	-0.2330	0.8742	0.3058	
舗装工事	453.4	479.0	495.4	-0.2108	0.0761	0.4226	
舗装保全工事	180.4	190.6	197.2	-0.1562	0.8251	0.3075	
舗装工事	453.4	479.0	495.4	-0.2108	0.0761	0.4226	
共同溝等工事	(1)	209.6	221.5	229.1	-0.1448	0.1529	0.4058
	(2)	154.8	163.6	169.1	-0.1153	0.3726	0.3559
トンネル工事	293.8	310.3	321.0	-0.1718	0.0973	0.4252	
砂防・地すべり等工事	151.0	159.5	164.9	-0.1379	0.4267	0.3357	
道路維持工事	96.0	101.4	104.9	-0.0926	0.1699	0.3933	
河川維持工事	439.2	464.0	479.9	-0.2138	0.0144	0.5544	
下水道工事	(1)	437.5	462.4	478.1	-0.2054	0.0812	0.4356
	(2)	135.2	142.9	147.8	-0.1089	0.2598	0.3771
	(3)	106.4	112.6	116.3	-0.1078	0.5988	0.3258
公園工事	244.3	258.1	267.0	-0.1733	0.2026	0.3740	
コンクリートダム工事	351.8	371.8	384.5	-0.1793	11.6225	0.1998	
フィルダム工事	508.1	536.9	555.1	-0.2055	0.0617	0.4440	
電線共同溝工事	256.9	271.4	280.8	-0.1615	8.1264	0.1740	

工種区分の新設に伴う修正

I-10-①-3

積算上の注意事項		
----------	--	--

改 定 理 由	基準書の改定	改 定 現 行																															
現 行	改 定	備 考																															
	<p style="text-align: center;">安全費より移動</p>	<p>⑳交通誘導警備員</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、交通誘導警備員及び機械の誘導員等の交通管理を行う場合に適用する。</p> <p>2. 計 上 区 分 現場条件に応じて、交通誘導警備員の配置人員、作業時間帯、期間を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 交通誘導員の計上区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">現 場 条 件</th> <th colspan="2">計 算 式</th> </tr> <tr> <th>交通誘導警備員A</th> <th>交通誘導警備員B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 8時間 (交替要員無し)</td> <td>$A \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$A \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 9時間 (交替要員有り)</td> <td>$1.2A \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.2A \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 8時間 (交替要員無し)</td> <td>$1.5A \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.5A \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 9時間 (交替要員有り)</td> <td>$1.8A \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$1.8A \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>24時間勤務 実働 22時間 (交替要員無し)</td> <td>$3.0A \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$3.0A \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>24時間勤務 実働 24時間 (交替要員有り)</td> <td>$3.4A \times \text{必要日数} \times N$</td> <td>$3.5A \times \text{必要日数} \times N$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. A : 交通誘導警備員単価 N : 配置人員 2. 日曜、祝祭日等の休日割増は適用しない。 3. 区分5、6は2交替制勤務とする。 4. 交替要員有りは、休憩、休憩時間についても交通誘導を行う場合に適用する。 5. 作業時間帯等が異なる場合は、別途積算するものとする。</p>	区分	現 場 条 件	計 算 式		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B	1	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	$A \times \text{必要日数} \times N$	$A \times \text{必要日数} \times N$	2	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	$1.2A \times \text{必要日数} \times N$	$1.2A \times \text{必要日数} \times N$	3	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	$1.5A \times \text{必要日数} \times N$	$1.5A \times \text{必要日数} \times N$	4	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	$1.8A \times \text{必要日数} \times N$	$1.8A \times \text{必要日数} \times N$	5	24時間勤務 実働 22時間 (交替要員無し)	$3.0A \times \text{必要日数} \times N$	$3.0A \times \text{必要日数} \times N$	6	24時間勤務 実働 24時間 (交替要員有り)	$3.4A \times \text{必要日数} \times N$	$3.5A \times \text{必要日数} \times N$	<p>基準書の改定に伴う見直し (項目の新設)</p>
区分	現 場 条 件	計 算 式																															
		交通誘導警備員A	交通誘導警備員B																														
1	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	$A \times \text{必要日数} \times N$	$A \times \text{必要日数} \times N$																														
2	昼間勤務 (8:00~17:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	$1.2A \times \text{必要日数} \times N$	$1.2A \times \text{必要日数} \times N$																														
3	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 8時間 (交替要員無し)	$1.5A \times \text{必要日数} \times N$	$1.5A \times \text{必要日数} \times N$																														
4	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 9時間 (交替要員有り)	$1.8A \times \text{必要日数} \times N$	$1.8A \times \text{必要日数} \times N$																														
5	24時間勤務 実働 22時間 (交替要員無し)	$3.0A \times \text{必要日数} \times N$	$3.0A \times \text{必要日数} \times N$																														
6	24時間勤務 実働 24時間 (交替要員有り)	$3.4A \times \text{必要日数} \times N$	$3.5A \times \text{必要日数} \times N$																														
積算上の注意事項																																	

工 種	鉄筋工(太径鉄筋含む)
-----	-------------

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考					
<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">第2章 市場単価</p> <p>① 鉄 筋 工</p> <p>①-1 鉄筋工(太径鉄筋含む)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による鉄筋工に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 河川、海岸、道路、水路、コンクリート橋梁、鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版（PC床版は除く）等の鉄筋構造物の加工・組立、及び、差筋（削孔等を行うあと施工アンカーは除く）、場所打杭の鉄筋かごの加工・組立。</p> <p>(2) 鉄筋径は、D10（φ9）以上D51（φ51）以下とする。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 土木工事積算基準書等により別途積算するもの。</p> <p>1) 表1.1に示す工種。</p> <p>2) ダム本体工事における鉄筋工。</p> <p>(2) 特別調査等別途考慮するもの。</p> <p>1) 表1.2に示す工種。</p> <p>2) 鉄筋加工、もしくは、鉄筋組立のみ。</p> <p>3) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合。</p> <p>4) 場所打杭の鉄筋かごで、無溶接工法にて加工・組立を行う場合。</p> <p>5) 25t吊以下のトラッククレーン及びラフテレンクレーン以外のクレーンを使用する場合。</p> <p>6) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 土木工事積算基準書等により別途積算するもの</p> <table border="1" data-bbox="349 933 860 1098"> <tr> <td> コンクリートブロック積（張）の連結ブロック等の連結用鉄筋工 コンクリート舗装工 道路維持修繕の橋梁地覆補修工 ポストテンション桁製作 PC橋架設工 ポストテンション場所打ホロスラブ橋 ポストテンション場所打箱桁橋 伸縮装置工 </td> <td style="text-align: center;">基準書による</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表1.2 特別調査によるもの</p> <table border="1" data-bbox="349 1114 860 1204"> <tr> <td> コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 無溶接工法にて加工・組立を行う場所打杭の鉄筋かご その他（特に加工・組立が困難な構造物） </td> <td style="text-align: center;">特別調査等 別途考慮</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">VI-1-①-1</p>	コンクリートブロック積（張）の連結ブロック等の連結用鉄筋工 コンクリート舗装工 道路維持修繕の橋梁地覆補修工 ポストテンション桁製作 PC橋架設工 ポストテンション場所打ホロスラブ橋 ポストテンション場所打箱桁橋 伸縮装置工	基準書による	コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 無溶接工法にて加工・組立を行う場所打杭の鉄筋かご その他（特に加工・組立が困難な構造物）	特別調査等 別途考慮	<p style="text-align: center;">改 定</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 土木工事積算基準書等により別途積算するもの。</p> <p>1) 表1.1に示す工種。</p> <p>2) ダム本体工事における鉄筋工。</p> <p>(2) 特別調査等別途考慮するもの。</p> <p>1) 表1.2に示す工種。</p> <p>2) 鉄筋加工、もしくは、鉄筋組立のみ。</p> <p>3) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合。</p> <p>4) 場所打杭の鉄筋かごで、無溶接工法にて加工・組立を行う場合。</p> <p>4) 25t吊以下のトラッククレーン及びラフテレンクレーン以外のクレーンを使用する場合。</p> <p>5) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p style="text-align: center;">表1.2 特別調査によるもの</p> <table border="1" data-bbox="1256 1129 1767 1197"> <tr> <td> コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 無溶接工法にて加工・組立を行う場所打杭の鉄筋かご その他（特に加工・組立が困難な構造物） </td> <td style="text-align: center;">特別調査等 別途考慮</td> </tr> </table>	コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 無溶接工法にて加工・組立を行う場所打杭の鉄筋かご その他（特に加工・組立が困難な構造物）	特別調査等 別途考慮	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">改 定 に 伴 い 削 除</p> <p style="text-align: center;">改 定 に 伴 い 削 除</p>
コンクリートブロック積（張）の連結ブロック等の連結用鉄筋工 コンクリート舗装工 道路維持修繕の橋梁地覆補修工 ポストテンション桁製作 PC橋架設工 ポストテンション場所打ホロスラブ橋 ポストテンション場所打箱桁橋 伸縮装置工	基準書による							
コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 無溶接工法にて加工・組立を行う場所打杭の鉄筋かご その他（特に加工・組立が困難な構造物）	特別調査等 別途考慮							
コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 無溶接工法にて加工・組立を行う場所打杭の鉄筋かご その他（特に加工・組立が困難な構造物）	特別調査等 別途考慮							
積算上の注意事項								

工 種	鉄筋工(太径鉄筋含む)
-----	-------------

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																																																																					
<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2">工 種</td> <td colspan="3">市場単価</td> <td rowspan="2">荷 卸 し</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">小 運 搬</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">加 工</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">小 運 搬</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">組 立</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>労</td> <td>材</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 単価は材料費を含まない。ただし、結束線、スペーサーなどの副資材を含む。また、25 t 吊以下のトラッククレーン及びラフテレーンクレーンを必要とする場合の賃料を含む。</p> <p>2. ガス圧接費、及び機械継手費を含まない。</p> <p>2-2 市場単価の規格・仕様</p> <p>鉄筋工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 規格・仕様区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>規 格 ・ 仕 様</th> <th>適 用 基 準</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般構造物</td> <td>構造物の鉄筋の加工・組立</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>場所打杭用かご筋</td> <td>場所打杭用鉄筋かごの加工・組立</td> <td>t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーン使用を標準とする。</p> <p>2. 規格・仕様区分における「場所打杭用かご筋」は、かご筋をあらかじめ掘削孔内以外において組立てる場合に適用し、掘削孔内でかご状に組立てる場合については「一般構造物」を適用する。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-①-2</p>	工 種	市場単価			荷 卸 し	→	小 運 搬	→	加 工	→	小 運 搬	→	組 立	機	労	材	鉄筋工	○	○	×										規 格 ・ 仕 様	適 用 基 準	単 位	一般構造物	構造物の鉄筋の加工・組立	t	場所打杭用かご筋	場所打杭用鉄筋かごの加工・組立	t	<p style="text-align: center;">改 定</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2">工 種</td> <td colspan="3">市場単価</td> <td rowspan="2">荷 卸 し</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">小 運 搬</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">加 工</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">小 運 搬</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">組 立</td> </tr> <tr> <td>機</td> <td>労</td> <td>材</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 単価は材料費を含まない。ただし、結束線、スペーサーなどの副資材を含む。<u>場所打杭用かご筋は、補強材及びスペーサーに異形棒鋼または丸鋼以外を使用する場合、補強材及びスペーサーの材料費を含まない。</u>また、25 t 吊以下のトラッククレーン及びラフテレーンクレーンを必要とする場合の賃料を含む。</p> <p>2. ガス圧接費、及び機械継手費を含まない。</p> <p>3. <u>場所打杭用かご筋の場合、固定金具の材料費については別途計上すること。また、補強材及びスペーサーの計上区分は次表による。</u></p> <p style="text-align: center;">表2.1 場所打杭用かご筋の計上区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>異形棒鋼または丸鋼を使用</th> <th>左記以外を使用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強材(補強リング)</td> <td>鉄筋材料費に含む</td> <td>材料費・加工費を別途計上</td> </tr> <tr> <td>スペーサー</td> <td>鉄筋材料費に含む</td> <td>材料費を別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-2 市場単価の規格・仕様</p> <p>鉄筋工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 規格・仕様区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>規 格 ・ 仕 様</th> <th>適 用 基 準</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般構造物</td> <td>構造物の鉄筋の加工・組立</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>場所打杭用かご筋</td> <td>場所打杭用鉄筋かごの加工・組立</td> <td>t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーン使用を標準とする。</p> <p>2. 規格・仕様区分における「場所打杭用かご筋」は、かご筋をあらかじめ掘削孔内以外において組立てる場合に適用し、掘削孔内でかご状に組立てる場合については「一般構造物」を適用する。</p> <p>3. <u>場所打杭用かご筋は、固定金具、補強材及びスペーサーの重量は含めない。ただし、補強材及びスペーサーに異形棒鋼または丸鋼を使用する場合は、補強材及びスペーサーの重量を加算する。</u></p>	工 種	市場単価			荷 卸 し	→	小 運 搬	→	加 工	→	小 運 搬	→	組 立	機	労	材	鉄筋工	○	○	×										区 分	異形棒鋼または丸鋼を使用	左記以外を使用	補強材(補強リング)	鉄筋材料費に含む	材料費・加工費を別途計上	スペーサー	鉄筋材料費に含む	材料費を別途計上	規 格 ・ 仕 様	適 用 基 準	単 位	一般構造物	構造物の鉄筋の加工・組立	t	場所打杭用かご筋	場所打杭用鉄筋かごの加工・組立	t	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p>計上区分の明確化</p> <p>計上区分の明確化</p> <p>計上区分の明確化</p>
工 種		市場単価												荷 卸 し	→	小 運 搬	→	加 工	→	小 運 搬	→	組 立																																																																	
	機	労	材																																																																																				
鉄筋工	○	○	×																																																																																				
規 格 ・ 仕 様	適 用 基 準	単 位																																																																																					
一般構造物	構造物の鉄筋の加工・組立	t																																																																																					
場所打杭用かご筋	場所打杭用鉄筋かごの加工・組立	t																																																																																					
工 種	市場単価			荷 卸 し	→	小 運 搬	→	加 工	→	小 運 搬	→	組 立																																																																											
	機	労	材																																																																																				
鉄筋工	○	○	×																																																																																				
区 分	異形棒鋼または丸鋼を使用	左記以外を使用																																																																																					
補強材(補強リング)	鉄筋材料費に含む	材料費・加工費を別途計上																																																																																					
スペーサー	鉄筋材料費に含む	材料費を別途計上																																																																																					
規 格 ・ 仕 様	適 用 基 準	単 位																																																																																					
一般構造物	構造物の鉄筋の加工・組立	t																																																																																					
場所打杭用かご筋	場所打杭用鉄筋かごの加工・組立	t																																																																																					
積算上の注意事項																																																																																							

改 定 理 由	一部改定	改 定 <hr/> 現 行																																																																																																																																												
現 行	改 定	備 考																																																																																																																																												
<p>2-3 加算率、補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.2 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加算率 施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td>全体数量</td> </tr> <tr> <td>1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。</td> <td>S₁</td> <td>全体数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 補正係数1 (必要条件を選択)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正係数1</th> <th>時間的制約を受ける場合</th> <th>夜間作業</th> <th>トンネル内作業</th> <th>法面作業</th> <th>太径鉄筋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。</td> <td>勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が10%以上20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が20%以上40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K₁</td> <td>K₂</td> <td>K₃</td> <td>K₄</td> <td>K₅ K₆ K₇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象構造物別数量 対象構造物別数量 対象構造物別数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 補正係数2 (1項目を選択)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正係数2</th> <th>切梁のある構造物</th> <th>地下構造物</th> <th>橋梁用床版</th> <th>R C場所打ホロースラブ橋</th> <th>差筋及び杭頭処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工の場合、単価を係数で補正する。(H₁)<(H₂)×2</td> <td>地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>鋼橋用及びコンクリート橋(PCコンボ橋、PC合成桁橋)用床版(PC床版は除く)の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>R C場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>T₁</td> <td>T₂</td> <td>T₃</td> <td>T₄</td> <td>T₅</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 太径鉄筋(D38以上D51以下)の割合が10%以上の場合は、係数で補正する。ただし、太径鉄筋の割合が10%未満の場合は、係数の補正は行わない。 2. 太径鉄筋の補正係数は、一単位当り構造物の単価を係数で補正する。 3. 太径鉄筋の割合は、以下の方法で計算する。 太径鉄筋の割合 = $\frac{1 \text{ 単位当り構造物の設計太径鉄筋質量}}{1 \text{ 単位当り構造物の設計鉄筋質量}}$</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.3 加算率の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>記号</th> <th colspan="2">1工事当りの全体数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加算率</td> <td>施工規模 S₀</td> <td>10 t 以上</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>施工規模 S₁</td> <td>10 t 未満</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">VI-1-①-4</p>	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量	1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量	補正係数1	時間的制約を受ける場合	夜間作業	トンネル内作業	法面作業	太径鉄筋		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。	勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。	1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が10%以上20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が20%以上40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K ₁	K ₂	K ₃	K ₄	K ₅ K ₆ K ₇		対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象構造物別数量 対象構造物別数量 対象構造物別数量	補正係数2	切梁のある構造物	地下構造物	橋梁用床版	R C場所打ホロースラブ橋	差筋及び杭頭処理		切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工の場合、単価を係数で補正する。(H ₁)<(H ₂)×2	地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。	鋼橋用及びコンクリート橋(PCコンボ橋、PC合成桁橋)用床版(PC床版は除く)の場合、単価を係数で補正する。	R C場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。	差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。		T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	T ₅		対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	区分	記号	1工事当りの全体数量		加算率	施工規模 S ₀	10 t 以上	0%	施工規模 S ₁	10 t 未満	15%	<p>2-3 加算率、補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.3 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加算率 施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td>全体数量</td> </tr> <tr> <td>1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。</td> <td>S₁</td> <td>全体数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 補正係数1 (必要条件を選択)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正係数1</th> <th>時間的制約を受ける場合</th> <th>夜間作業</th> <th>トンネル内作業</th> <th>法面作業</th> <th>太径鉄筋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。</td> <td>勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が10%以上20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が20%以上40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K₁</td> <td>K₂</td> <td>K₃</td> <td>K₄</td> <td>K₅ K₆ K₇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象構造物別数量 対象構造物別数量 対象構造物別数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 補正係数2 (1項目を選択)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補正係数2</th> <th>切梁のある構造物</th> <th>地下構造物</th> <th>橋梁用床版</th> <th>R C場所打ホロースラブ橋</th> <th>差筋及び杭頭処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工の場合、単価を係数で補正する。(H₁)<(H₂)×2</td> <td>地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>鋼橋用及びコンクリート橋(PCコンボ橋、PC合成桁橋)用床版(PC床版は除く)の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>R C場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。</td> <td>差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>T₁</td> <td>T₂</td> <td>T₃</td> <td>T₄</td> <td>T₅</td> </tr> <tr> <td></td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 太径鉄筋(D38以上D51以下)の割合が10%以上の場合は、係数で補正する。ただし、太径鉄筋の割合が10%未満の場合は、係数の補正は行わない。 2. 太径鉄筋の補正係数は、一単位当り構造物の単価を係数で補正する。 3. 太径鉄筋の割合は、以下の方法で計算する。 太径鉄筋の割合 = $\frac{1 \text{ 単位当り構造物の設計太径鉄筋質量}}{1 \text{ 単位当り構造物の設計鉄筋質量}}$</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.4 加算率の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>記号</th> <th colspan="2">1工事当りの全体数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加算率</td> <td>施工規模 S₀</td> <td>10 t 以上</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>施工規模 S₁</td> <td>10 t 未満</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量	1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量	補正係数1	時間的制約を受ける場合	夜間作業	トンネル内作業	法面作業	太径鉄筋		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。	勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。	1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が10%以上20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が20%以上40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K ₁	K ₂	K ₃	K ₄	K ₅ K ₆ K ₇		対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象構造物別数量 対象構造物別数量 対象構造物別数量	補正係数2	切梁のある構造物	地下構造物	橋梁用床版	R C場所打ホロースラブ橋	差筋及び杭頭処理		切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工の場合、単価を係数で補正する。(H ₁)<(H ₂)×2	地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。	鋼橋用及びコンクリート橋(PCコンボ橋、PC合成桁橋)用床版(PC床版は除く)の場合、単価を係数で補正する。	R C場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。	差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。		T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	T ₅		対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	区分	記号	1工事当りの全体数量		加算率	施工規模 S ₀	10 t 以上	0%	施工規模 S ₁	10 t 未満	15%	<p>表番号の修正</p> <p>表番号の修正</p>
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																																											
加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																																																											
	1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量																																																																																																																																											
補正係数1	時間的制約を受ける場合	夜間作業	トンネル内作業	法面作業	太径鉄筋																																																																																																																																									
	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。	勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。	1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が10%以上20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が20%以上40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。																																																																																																																																									
	K ₁	K ₂	K ₃	K ₄	K ₅ K ₆ K ₇																																																																																																																																									
	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象構造物別数量 対象構造物別数量 対象構造物別数量																																																																																																																																									
補正係数2	切梁のある構造物	地下構造物	橋梁用床版	R C場所打ホロースラブ橋	差筋及び杭頭処理																																																																																																																																									
	切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工の場合、単価を係数で補正する。(H ₁)<(H ₂)×2	地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。	鋼橋用及びコンクリート橋(PCコンボ橋、PC合成桁橋)用床版(PC床版は除く)の場合、単価を係数で補正する。	R C場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。	差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。																																																																																																																																									
	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	T ₅																																																																																																																																									
	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量																																																																																																																																									
区分	記号	1工事当りの全体数量																																																																																																																																												
加算率	施工規模 S ₀	10 t 以上	0%																																																																																																																																											
	施工規模 S ₁	10 t 未満	15%																																																																																																																																											
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																																											
加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																																																											
	1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量																																																																																																																																											
補正係数1	時間的制約を受ける場合	夜間作業	トンネル内作業	法面作業	太径鉄筋																																																																																																																																									
	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。	勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。	1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が10%以上20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が20%以上40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。 1単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。																																																																																																																																									
	K ₁	K ₂	K ₃	K ₄	K ₅ K ₆ K ₇																																																																																																																																									
	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象構造物別数量 対象構造物別数量 対象構造物別数量																																																																																																																																									
補正係数2	切梁のある構造物	地下構造物	橋梁用床版	R C場所打ホロースラブ橋	差筋及び杭頭処理																																																																																																																																									
	切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工の場合、単価を係数で補正する。(H ₁)<(H ₂)×2	地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。	鋼橋用及びコンクリート橋(PCコンボ橋、PC合成桁橋)用床版(PC床版は除く)の場合、単価を係数で補正する。	R C場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。	差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。																																																																																																																																									
	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	T ₅																																																																																																																																									
	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量	対象数量																																																																																																																																									
区分	記号	1工事当りの全体数量																																																																																																																																												
加算率	施工規模 S ₀	10 t 以上	0%																																																																																																																																											
	施工規模 S ₁	10 t 未満	15%																																																																																																																																											
積算上の注意事項																																																																																																																																														

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																																																																																								
現	行	改	定																																																																																																							
<p style="text-align: center;">表2.4 補正係数の数値</p> <p>1) 補正係数1 (必要条件を選択)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">補正係数1</th> <th colspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記 号</th> <th rowspan="2">一般構造物,場所打杭用かご筋</th> </tr> <tr> <th>時間的制約を受ける場合</th> <th>夜間作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">1</td> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₂</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₃</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₄</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₅</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大 径 鉄 筋</td> <td></td> <td></td> <td>K₆</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>K₇</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S_i) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K_i) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 規格・仕様区分において場所打杭用かご筋を適用する場合は、トンネル内作業の補正、法面作業の補正を行わない。 3. トンネル内作業は、時間的制約を受ける場合の補正、夜間作業の補正を行わない。</p> <p>2) 補正係数2 (1項目を選択)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">補正係数2</th> <th colspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記 号</th> <th rowspan="2">一般構造物</th> </tr> <tr> <th>切梁のある構造物</th> <th>地下構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">1</td> <td>橋梁用床版</td> <td>R C 場所打ホロースラブ橋</td> <td>T₁</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>橋梁用床版</td> <td>R C 場所打ホロースラブ橋</td> <td>T₂</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>橋梁用床版</td> <td>R C 場所打ホロースラブ橋</td> <td>T₃</td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td>橋梁用床版</td> <td>R C 場所打ホロースラブ橋</td> <td>T₄</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>橋梁用床版</td> <td>R C 場所打ホロースラブ橋</td> <td>T₅</td> <td>0.95</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 項目の選択は、3. 適用にあたっての留意事項 (8) フロー図による。 2. K₃, K₄ を適用する場合、補正係数2は適用しない。 3. K₃, K₆, K₇ を適用する場合は、T₃, T₄ は適用しない。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価 (注1) ×設計数量+材料費 (注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価 × (1 + S₀ or S₁ / 100) × (K₁ × K₂ × …… × K₇) × (T₁ or T₂ or …… or T₅) ※ T₁ ~ T₅ は1項目を選択 (注2) 材料費の計上は次による。 材料費=設計質量 × 1.03 (ロス分) × 鉄筋材料単価</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一条件とし、市場単価の区分はしない。 (2) 鉄筋強度、長さは問わない。 (3) 鉄筋工の継手は、重ね継手を標準とし、機械継手の場合は、機械継手の材料費・設置手間を別途計上する。 また、ガス圧接の場合は、土木工事標準積算基準書第VI編第2章①-2鉄筋工 (ガス圧接工) によるものとする。 (4) フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費、鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 (5) 場所打杭用かご筋にフレアー溶接を行う場合も適用できる。ただし、場所打杭用かご筋以外でフレアー溶接を行う場合は、フレアー溶接費用を別途計上する。 (6) 架台を必要とする場合は、架台の製作・組立費用を別途計上する。 (7) 組立鋼材 (形鋼) を必要とする場合は、組立鋼材 (形鋼) の材料費・設置手間 (クレーン等による組立鋼材 (形鋼) 設置、組立鋼材 (形鋼) とライナープレートなどの接合費用等) を別途計上 (特別調査等) する。</p>		補正係数1	区 分		記 号	一般構造物,場所打杭用かご筋	時間的制約を受ける場合	夜間作業	1	トンネル内作業	法面作業	K ₁	1.10	トンネル内作業	法面作業	K ₂	1.25	トンネル内作業	法面作業	K ₃	1.10	トンネル内作業	法面作業	K ₄	1.15	トンネル内作業	法面作業	K ₅	0.9	大 径 鉄 筋			K ₆	0.8			K ₇	0.7	補正係数2	区 分		記 号	一般構造物	切梁のある構造物	地下構造物	1	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₁	1.00	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₂	1.10	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₃	0.85	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₄	1.15	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₅	0.95	<p style="text-align: center;">表2.5 補正係数の数値</p> <p>1) 補正係数1 (必要条件を選択)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">補正係数1</th> <th colspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記 号</th> <th rowspan="2">一般構造物,場所打杭用かご筋</th> </tr> <tr> <th>時間的制約を受ける場合</th> <th>夜間作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">1</td> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₂</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₃</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₄</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>トンネル内作業</td> <td>法面作業</td> <td>K₅</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">太 径 鉄 筋</td> <td></td> <td></td> <td>K₆</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>K₇</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(4) フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費、鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 (5) <u>場所打杭用かご筋にフレアー溶接を行う場合も適用できる。ただし、場所打杭用かご筋以外でフレアー溶接を行う場合は、フレアー溶接費用を別途計上する。</u></p>		補正係数1	区 分		記 号	一般構造物,場所打杭用かご筋	時間的制約を受ける場合	夜間作業	1	トンネル内作業	法面作業	K ₁	1.10	トンネル内作業	法面作業	K ₂	1.25	トンネル内作業	法面作業	K ₃	1.10	トンネル内作業	法面作業	K ₄	1.15	トンネル内作業	法面作業	K ₅	0.9	太 径 鉄 筋			K ₆	0.8			K ₇	0.7	<p>備考</p> <p>表番号の修正</p> <p>別途計上項目の見直し</p>
補正係数1	区 分		記 号	一般構造物,場所打杭用かご筋																																																																																																						
	時間的制約を受ける場合	夜間作業																																																																																																								
1	トンネル内作業	法面作業	K ₁	1.10																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₂	1.25																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₃	1.10																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₄	1.15																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₅	0.9																																																																																																						
大 径 鉄 筋			K ₆	0.8																																																																																																						
			K ₇	0.7																																																																																																						
	補正係数2	区 分		記 号	一般構造物																																																																																																					
切梁のある構造物		地下構造物																																																																																																								
1	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₁	1.00																																																																																																						
	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₂	1.10																																																																																																						
	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₃	0.85																																																																																																						
	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₄	1.15																																																																																																						
	橋梁用床版	R C 場所打ホロースラブ橋	T ₅	0.95																																																																																																						
補正係数1	区 分		記 号	一般構造物,場所打杭用かご筋																																																																																																						
	時間的制約を受ける場合	夜間作業																																																																																																								
1	トンネル内作業	法面作業	K ₁	1.10																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₂	1.25																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₃	1.10																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₄	1.15																																																																																																						
	トンネル内作業	法面作業	K ₅	0.9																																																																																																						
太 径 鉄 筋			K ₆	0.8																																																																																																						
			K ₇	0.7																																																																																																						
	積算上の注意事項																																																																																																									

VI-1-①-5

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行										
現 行		改 定										
<p>(8) 一工事に複数の補正係数2(タイプ)に該当する場合は、それぞれの「補正係数2」毎の単価を適用する。ただし、施工規模加算率の判定は一工事全体の合計数量で判定する。</p> <p>(9) 規格・仕様区分及び補正係数2の適用は次に示すフローによる。</p> <pre> graph TD START([START]) --> Q1{規格・仕様 一般構造物である。} Q1 --> Q2{場所打杭用かご筋である。} Q2 --> T5([T 5(差筋及び抗頭処理)]) Q1 --> Q3{補正係数2 差筋もしくは抗頭処理である。} Q3 -- YES --> T5 Q3 -- NO --> Q4{RC場所打ちホースラブである。} Q4 -- YES --> T4([T 4(RC場所打ちホースラブ輸)]) Q4 -- NO --> Q5{橋梁用床版である。} Q5 -- YES --> T3([T 3(橋梁用床版)]) Q5 -- NO --> Q6{覆工板を外さず施工する。} Q6 -- YES --> T2([T 2(地下構造物)]) Q6 -- NO --> Q7{切梁がある。} Q7 -- YES --> Q8{H1 < 2 H2である。 H1が存在しない。} Q8 -- YES --> T1([T 1(切梁のある構造物)]) Q8 -- NO --> End([補正なし]) Q7 -- NO --> End </pre>		<p>(6) 場所打杭用かご筋の場合、固定金具の材料費については別途計上すること。また、補強材及びスベーパーは下記計上区分による。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 場所打杭用かご筋の計上区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>異形棒鋼または丸鋼を使用</th> <th>左記以外を使用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強材(補強リング)</td> <td>鉄筋材料費を含む</td> <td>材料費・加工費を別途計上</td> </tr> <tr> <td>スベーパー</td> <td>鉄筋材料費を含む</td> <td>材料費を別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 架台を必要とする場合は、架台の製作・組立費用を別途計上する。</p> <p>(8) 組立鋼材(形鋼)を必要とする場合は、組立鋼材(形鋼)の材料費・設置手間(クレーン等による組立鋼材(形鋼)設置、組立鋼材(形鋼)とライナープレートなどの接合費用等)を別途計上(特別調査等)する。</p> <p>(9) 一工事に複数の補正係数2(タイプ)に該当する場合は、それぞれの「補正係数2」毎の単価を適用する。ただし、施工規模加算率の判定は一工事全体の合計数量で判定する。</p> <p>(10) 規格・仕様区分及び補正係数2の適用は次に示すフローによる。</p>	区分	異形棒鋼または丸鋼を使用	左記以外を使用	補強材(補強リング)	鉄筋材料費を含む	材料費・加工費を別途計上	スベーパー	鉄筋材料費を含む	材料費を別途計上	計上区分の明確化
区分	異形棒鋼または丸鋼を使用	左記以外を使用										
補強材(補強リング)	鉄筋材料費を含む	材料費・加工費を別途計上										
スベーパー	鉄筋材料費を含む	材料費を別途計上										
<p>(10) 使用クレーンの規格は、25 t吊り以下のトラッククレーン及びラフテレーンクレーンとする。また、30 t吊り以上のトラッククレーン、ラフテレーンクレーン、ケーブルクレーン及びタワークレーンを使用する場合は別途特別調査等による。</p> <p>(11) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱い、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p>		<p>(11) 使用クレーンの規格は、25 t吊り以下のトラッククレーン及びラフテレーンクレーンとする。また、30 t吊り以上のトラッククレーン、ラフテレーンクレーン、ケーブルクレーン及びタワークレーンを使用する場合は別途特別調査等による。</p> <p>(12) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱い、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p> <p>(13) エボキシ塗装鉄筋の場合も、適用できる。</p>	適用範囲の明確化									
積算上の注意事項	VI-1-①-6											

工 種	区画線工
-----	------

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行													
現	行	改 定	備 考												
<p>3. 区画線消去（ウォータージェット式）の施工規模は1工事の全体数量で判定する。ただし、交通規制等の制約により、1日当たりの施工数量が標準施工規模に満たない場合については、1日当たりの施工数量で施工規模を判定する。</p> <p>4. 排水性舗装に施工する場合の補正係数（K_p）は、溶融式（手動）による施工及び排水性舗装用に開発された工法・材料等による施工のどちらにも適用出来る。また、ペイント式は舗装の種類に関係なく適用できる。</p> <p>5. ペイント式の区画線を消去する場合の補正係数（K_p）は、標準施工規模に満たない場合（一式価格を適用する場合）には適用しない。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価（注1）×設計数量 （注1）設計単価=標準の市場単価×（1+S₀ or S₁ or S₂ or S₃ / 100）×（K₁×K₂×……×K_n）</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 （1）区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取扱いは、下表のとおりとする。</p> <table border="1"> <caption>表3.1</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>工 事 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供 用 区 間</td> <td>維持修繕工事:維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等:現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種):交差点改良, 停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種):現道の区画線の補修工事</td> </tr> <tr> <td>未 供 用 区 間</td> <td>バイパス工事等:バイパス新設など未供用区間の区画線工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）仮区画線を施工する場合、区画線工と規格・仕様と同じであれば、適用出来る。 （3）歩道部、駐車場に区画線を設置する場合、区画線工と規格・仕様と同じであれば、適用できる。 （4）コンクリート舗装に区画線を設置する場合、区画線工と規格・仕様と同じであれば、適用できる。 （5）溶融式（手動）における横断線はゼブラを適用する。 （6）溶融式（手動）の矢印・文字・記号における「所要材料換算長」とは、重複施工する部分を平均20%と見込み、これを施工実延長に加えた値で、換算長の算出は次式による。 所要材料換算長(m)=設計数量(塗布面積(m²))÷0.15×1.20(重複施工ロス分) ただし、構成する線幅が10cm未満の場合は適用出来ない。 （7）区画線設置のうち、減速・速度抑制等を目的とした破線(平行四辺形)は適用できない。 （8）水性型ペイント式については、気温5℃以上、湿度85%未満での施工を標準とする。また、新設舗装上に施工する場合は、養生期間を経て、路面上の水分、軽質油成分が消滅した後での施工を標準とする。 （9）随意契約による調整を行う追加工事の取扱い、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p>		区 分	工 事 種 別	供 用 区 間	維持修繕工事:維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等:現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種):交差点改良, 停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種):現道の区画線の補修工事	未 供 用 区 間	バイパス工事等:バイパス新設など未供用区間の区画線工事	<p>現行どおり</p> <table border="1"> <caption>表3.1 施工場所区分</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>工 事 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供 用 区 間</td> <td>維持修繕工事:維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等:現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種):交差点改良, 停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種):現道の区画線の補修工事</td> </tr> <tr> <td>未 供 用 区 間</td> <td>バイパス工事等:バイパス新設など未供用区間の区画線工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	区 分	工 事 種 別	供 用 区 間	維持修繕工事:維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等:現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種):交差点改良, 停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種):現道の区画線の補修工事	未 供 用 区 間	バイパス工事等:バイパス新設など未供用区間の区画線工事	表タイトルの追記
区 分	工 事 種 別														
供 用 区 間	維持修繕工事:維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等:現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種):交差点改良, 停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種):現道の区画線の補修工事														
未 供 用 区 間	バイパス工事等:バイパス新設など未供用区間の区画線工事														
区 分	工 事 種 別														
供 用 区 間	維持修繕工事:維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等:現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種):交差点改良, 停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種):現道の区画線の補修工事														
未 供 用 区 間	バイパス工事等:バイパス新設など未供用区間の区画線工事														
積算上の注意事項	VI-1-②-4														

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考																																												
現	行	改 定	備 考																																												
<p>⑤-1 防護柵設置工(ガードレール)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工(ガードレール)に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲 (1) 新設・更新、撤去工事。 (2) 部材設置、部材撤去。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 橋梁建込の場合。 (2) 土木工事標準積算基準等により別途積算するもの。 1) 事故後の復旧工事(設置・撤去)。 (3) 特別調査等別途考慮するもの。 1) ベースプレート式の設置の場合。 2) 2-2市場単価の規格・仕様(表2.1~2.8)以外の製品の場合 3) S種、A種で標準支柱より長い場合や曲げ支柱の場合。 4) 標準型ガードレールに根巻きコンクリートを設置する場合。 5) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合。 6) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 市場単価に対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <p>① 防護柵設置</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">市場単価</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>土中建込</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </table> <p>(注) 1. 土中建込には、床掘り・埋戻し及び穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト、砂〔労務費・材料費〕)が必要な場合の作業を含む。ただし、支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。 2. 耐雪型については、根巻きコンクリート(労務費・材料費)を含む。 3. 耐雪型においてビーム補強金具が必要となる場合の材料費は含まない。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">市場単価</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>コンクリート建込</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </table> <p>(注) 1. 支柱建込箇所がコンクリートなどの場合の穴あけ費用は含まない。ただし、充填材(ブロンアスファルト、砂〔労務費・材料費〕)を含む。 2. 耐雪型(コンクリート建込)においてビーム補強金具が必要となる場合の材料費は含まない。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-⑤-1</p>		工 種	市場単価			機	労	材	土中建込	○	○	○	工 種	市場単価			機	労	材	コンクリート建込	○	○	○	<p>現行どおり</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 市場単価に対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <p>① 防護柵設置</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">市場単価</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>土中建込</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </table> <p>(注) 1. 土中建込には、床掘り・埋戻し及び穴あけ後の充填材(ブロンアスファルト、砂〔労務費・材料費〕)が必要な場合の作業を含む。ただし、支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用及び舗装版の撤去・復旧費用は含まない。 2. 耐雪型については、根巻きコンクリート(労務費・材料費)を含む。 3. 耐雪型においてビーム補強金具が必要となる場合の材料費は含まない。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">市場単価</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>コンクリート建込</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </table> <p>(注) 1. 支柱建込箇所がコンクリートなどの場合の穴あけ費用は含まない。ただし、充填材(ブロンアスファルト、砂〔労務費・材料費〕)を含む。 2. 耐雪型(コンクリート建込)においてビーム補強金具が必要となる場合の材料費は含まない。</p>	工 種	市場単価			機	労	材	土中建込	○	○	○	工 種	市場単価			機	労	材	コンクリート建込	○	○	○	<p>語句の修正</p>
工 種	市場単価																																														
	機	労	材																																												
土中建込	○	○	○																																												
工 種	市場単価																																														
	機	労	材																																												
コンクリート建込	○	○	○																																												
工 種	市場単価																																														
	機	労	材																																												
土中建込	○	○	○																																												
工 種	市場単価																																														
	機	労	材																																												
コンクリート建込	○	○	○																																												
積算上の注意事項																																															

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行	
---------	------	------------	--

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

② 部材設置

1) レール設置

工 種	市場単価		
	機	労	材
レール設置	○	○	※ ×

(注) 1. 標準型・耐雪型に関わらず適用できる。
2. 耐雪型におけるビーム補強金具の有無に関わらず適用できる。

③ 防護柵撤去・部材撤去

1) 防護柵撤去

工 種	市場単価		
	機	労	材
防護柵撤去	○	○	/

(注) 1. 撤去後における仮置き（現場内）の有無に関わらず適用できる。
2. 耐雪型におけるビーム補強金具の有無に関わらず適用できる。

2) レール撤去

工 種	市場単価		
	機	労	材
レール撤去	○	○	/

(注) 1. 標準型・耐雪型に関わらず適用できる。
2. 撤去後における仮置き（現場内）の有無に関わらず適用できる。
3. 耐雪型におけるビーム補強金具の有無に関わらず適用できる。

2-2 市場単価の規格・仕様
防護柵設置工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。

表2.1 土中建込

区 分	規 格	仕 様	単 位
土中建込	塗 装 品	Gr-A-4E	m
		Gr-B-4E	m
		Gr-C-4E	m
		Gr-Am-4E	m
	メ ッ キ 品	Gr-Bm-4E	m
		Gr-A-4E	m
		Gr-B-4E	m
		Gr-Am-4E	m
	Gr-Bm-4E	m	

VI-1-⑤-2

② 部材設置

1) レール設置

工 種	市場単価		
	機	労	材
レール設置	○	○	※ ×

(注) 1. 標準型・耐雪型に関わらず適用できる。
2. 耐雪型におけるビーム補強金具の有無に関わらず適用できる。

③ 防護柵撤去・部材撤去

1) 防護柵撤去

工 種	市場単価		
	機	労	材
防護柵撤去	○	○	/

(注) 1. 撤去後における仮置き（現場内）の有無に関わらず適用できる。
2. 耐雪型におけるビーム補強金具の有無に関わらず適用できる。

2) レール撤去

工 種	市場単価		
	機	労	材
レール撤去	○	○	/

(注) 1. 標準型・耐雪型に関わらず適用できる。
2. 撤去後における仮置き（現場内）の有無に関わらず適用できる。
3. 耐雪型におけるビーム補強金具の有無に関わらず適用できる。

2-2 市場単価の規格・仕様
防護柵設置工(ガードレール)の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。

現行どおり

語句の修正

語句の修正

積算上の注意事項

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行	
---------	------	------------	--

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.9 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂	
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量
	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量
	曲線部	曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.10 加算率・補正係数の数値

区分	記号	防護柵設置		部材設置	防護柵	部材撤去
		土中埋込	コンクリート埋込	レールのみ	撤去	レールのみ
加算率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	-	-
		S ₁	50m以上 100m未満 10%	100m未満 20%	-	-
		S ₂	50m未満 20%	-	-	-
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.20	1.35	1.35
	夜間作業	K ₂	1.10	1.20	1.50	1.50
	曲線部	K ₃	1.10	1.10	1.15	-

(注) 施工規模加算率(S₁)又は(S₂)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。

2-4 加算額
(1) 加算額の適用基準

表2.11 加算額の適用基準

規格・仕様		適用基準	単位	備考
加算額	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	m	対象数量
		支柱間隔3m		
		支柱間隔2m		
	曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m		
		支柱間隔3m		
		支柱間隔2m		

支柱を長くする必要がある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。
対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。

VI-1-⑤-6

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.9 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S₃	
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量
	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量
	曲線部	曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.10 加算率・補正係数の数値

区分	記号	防護柵設置		部材設置	防護柵	部材撤去
		土中埋込	コンクリート埋込	レールのみ	撤去	レールのみ
加算率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	-	-
		S ₁	50m以上 100m未満 10%	100m未満 20%	-	-
		S ₂	50m未満 20%	-	-	-
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.20	1.35	1.35
	夜間作業	K ₂	1.10	1.20	1.50	1.50
	曲線部	K ₃	1.10	1.10	1.15	-

(注) 1. 施工規模加算率(S₁)、(S₂)又は(S₃)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。
2. 防護柵設置の施工規模は、土中埋込、コンクリート埋込それぞれ1工事の全体数量で判断する。

次ページへ移行

小規模加算率の見直しに伴う改定

小規模加算率の見直しに伴う改定

積算上の注意事項

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																					
現 行	改 定	備 考																					
<p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂×K₃) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費_材 ※曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費+曲げ加工費)とする。</p> <p>(2) 景観に配慮した塗装(景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等)を施した製品を用いる場合は、材料を含まない設置手間(機・労)を算出の上、材料費を別途計上する。</p> <p>(3) 耐雪型ガードレールの設置において、ガードレールB種・積雪ランク5、ガードレールC種・積雪ランク4及び5は、上級種別の規格を適用する。</p> <p>(4) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間=(撤去単価(標準の市場単価)×補正係数) + {設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費_材} ※曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費+曲げ加工費)とする。</p> <p>(5) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p> <p>(6) 耐雪型ガードレールにおける根巻きコンクリートは、プレキャストコンクリートブロック、現場打設を問わず適用可能。</p> <p>(7) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。</p>	<p>2-4 加算額 (1) 加算額の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.11 加算額の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">加算額</th> <th colspan="2">規 格 ・ 仕 様</th> <th>適 用 基 準</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)</th> <th>曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">加算額</td> <td rowspan="2">標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)</td> <td>支柱間隔4m</td> <td rowspan="6">支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td rowspan="6">m</td> <td rowspan="6">対象数量</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔3m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)</td> <td>支柱間隔4m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔3m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔2m</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂ or S₃/100)×(K₁×K₂×K₃) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費_{材(1)}} ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費_{材(2)}}+曲げ加工費)とする。 また、21m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額(土中建設の場合は標準材料費_{材(3)}}を40%割増、コンクリート建設の場合には標準材料費_{材(3)}}を30%割増)を控除すること。 ※(2) 21m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費(m単価)を指す。</p> <p>(2) 景観色の設置手間(機・労・材)の算出は、次式による。 (景観色とは、景観に配慮した塗装(景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等)を施した製品)を用いる場合は、材料を含まない設置手間(機・労)を算出の上、材料費を別途計上する。 設置手間={設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数}-材料費_{材(1)}}+材料費(景観色)_{材(3)}} ※(3) 21m未満の材工価格を算出する場合には、別途計上する材料費(景観色)に施工規模を考慮した材料費相当額(土中建設の場合は標準材料費_{材(3)}}を40%割増、コンクリート建設の場合には標準材料費_{材(3)}}を30%割増)を加算すること。</p> <p>(3) 耐雪型ガードレールの設置において、ガードレールB種・積雪ランク5、ガードレールC種・積雪ランク4及び5は、上級種別の規格を適用する。</p> <p>(4) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間=(撤去単価(標準の市場単価)×補正係数) + {設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費_{材(1)}}} ※曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費+曲げ加工費)とする。</p> <p>(5) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p> <p>(6) 耐雪型ガードレールにおける根巻きコンクリートは、プレキャストコンクリートブロック、現場打設を問わず適用可能。</p> <p>(7) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。</p>	加算額	規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	単 位	備 考	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)		加算額	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量	支柱間隔3m	支柱間隔2m	曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	支柱間隔3m	支柱間隔2m	<p style="text-align: right;">小規模加算率の見直しに伴う改定</p>
加算額	規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	単 位	備 考																		
	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)																					
加算額	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量																		
		支柱間隔3m																					
	支柱間隔2m																						
	曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m																					
		支柱間隔3m																					
		支柱間隔2m																					
積算上の注意事項	VI-1-⑤-7																						

工 種	防護柵設置工(ガードパイプ)
-----	----------------

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																																																																																																																																																		
現 行	改 定		備 考																																																																																																																																																																	
<p style="text-align: center;">表2.4 パイプ設置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区 分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">パイプ設置</td> <td>歩車道境界用 Ap・Bp・Cp 種</td> <td rowspan="2">m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表2.5 パイプ撤去</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区 分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">パイプ撤去</td> <td>歩車道境界用 Ap・Bp・Cp 種</td> <td rowspan="2">m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> </tr> </table> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表2.6 加算率・補正係数の適用基準</caption> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="2">施 工 規 模</td> <td>標準</td> <td>S₀ 全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ 全体数量 S₂ 数量</td> </tr> <tr> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁ 対象数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補正係数</td> <td>夜 間 作 業</td> <td>通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂ 対象数量</td> </tr> <tr> <td>曲 線 部</td> <td>曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₃ 対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表2.7 加算率・補正係数の数値</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="2">防 護 柵 設 置</th> <th>部材設置</th> <th>防護柵</th> <th>部材撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th>コンクリート建込</th> <th>パイプのみ</th> <th>撤 去</th> <th>パイプのみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率</td> <td rowspan="4">施 工 規 模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 10%</td> <td>100m未満 20%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>20m以上 50m未満 20%</td> <td>20m未満 50%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td>20m未満 50%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>曲線部</td> <td>K₃</td> <td>1.25</td> <td>1.30</td> <td>1.15</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率(S₁)又は(S₂)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 防護柵設置の施工規模は、土中建込、コンクリート建込それぞれ1工事の全体数量で判断する。</p>		区 分	規格・仕様	単位	パイプ設置	歩車道境界用 Ap・Bp・Cp 種	m	支柱間隔 2m	区 分	規格・仕様	単位	パイプ撤去	歩車道境界用 Ap・Bp・Cp 種	m	支柱間隔 2m	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率	施 工 規 模	標準	S ₀ 全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ 全体数量 S ₂ 数量	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁ 対象数量	補正係数	夜 間 作 業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂ 対象数量	曲 線 部	曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃ 対象数量	区 分	記号	防 護 柵 設 置		部材設置	防護柵	部材撤去	土中建込	コンクリート建込	パイプのみ	撤 去	パイプのみ	加算率	施 工 規 模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 10%	100m未満 20%	—	—	S ₂	20m以上 50m未満 20%	20m未満 50%	—	—	S ₃	20m未満 50%	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.20	1.35	1.35	夜間作業	K ₂	1.10	1.20	1.50	1.50	曲線部	K ₃	1.25	1.30	1.15	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表2.6 加算率・補正係数の適用基準</caption> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="2">施 工 規 模</td> <td>標準</td> <td>S₀ 全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ 全体数量 S₂ 数量</td> </tr> <tr> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁ 対象数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補正係数</td> <td>夜 間 作 業</td> <td>通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂ 対象数量</td> </tr> <tr> <td>曲 線 部</td> <td>曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₃ 対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表2.7 加算率・補正係数の数値</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="2">防 護 柵 設 置</th> <th>部材設置</th> <th>防護柵</th> <th>部材撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th>コンクリート建込</th> <th>パイプのみ</th> <th>撤 去</th> <th>パイプのみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率</td> <td rowspan="4">施 工 規 模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 10%</td> <td>100m未満 20%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>20m以上 50m未満 20%</td> <td>20m未満 50%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td>20m未満 50%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>曲線部</td> <td>K₃</td> <td>1.25</td> <td>1.30</td> <td>1.15</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率(S₁),(S₂)又は(S₃)又は(S₃)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 防護柵設置の施工規模は、土中建込、コンクリート建込それぞれ1工事の全体数量で判断する。</p>		規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率	施 工 規 模	標準	S ₀ 全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ 全体数量 S ₂ 数量	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁ 対象数量	補正係数	夜 間 作 業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂ 対象数量	曲 線 部	曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃ 対象数量	区 分	記号	防 護 柵 設 置		部材設置	防護柵	部材撤去	土中建込	コンクリート建込	パイプのみ	撤 去	パイプのみ	加算率	施 工 規 模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 10%	100m未満 20%	—	—	S ₂	20m以上 50m未満 20%	20m未満 50%	—	—	S ₃	20m未満 50%	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.20	1.35	1.35	夜間作業	K ₂	1.10	1.20	1.50	1.50	曲線部	K ₃	1.25	1.30	1.15	—	<p style="text-align: center;">施工規模加算率の見直しに伴う改定</p> <p style="text-align: center;">施工規模加算率の見直しに伴う改定</p>
区 分	規格・仕様	単位																																																																																																																																																																		
パイプ設置	歩車道境界用 Ap・Bp・Cp 種	m																																																																																																																																																																		
	支柱間隔 2m																																																																																																																																																																			
区 分	規格・仕様	単位																																																																																																																																																																		
パイプ撤去	歩車道境界用 Ap・Bp・Cp 種	m																																																																																																																																																																		
	支柱間隔 2m																																																																																																																																																																			
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																																																																	
加算率	施 工 規 模	標準	S ₀ 全体数量																																																																																																																																																																	
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ 全体数量 S ₂ 数量																																																																																																																																																																	
	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁ 対象数量																																																																																																																																																																	
補正係数	夜 間 作 業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂ 対象数量																																																																																																																																																																	
	曲 線 部	曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃ 対象数量																																																																																																																																																																	
区 分	記号	防 護 柵 設 置		部材設置	防護柵	部材撤去																																																																																																																																																														
		土中建込	コンクリート建込	パイプのみ	撤 去	パイプのみ																																																																																																																																																														
加算率	施 工 規 模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—																																																																																																																																																														
		S ₁	50m以上 100m未満 10%	100m未満 20%	—	—																																																																																																																																																														
		S ₂	20m以上 50m未満 20%	20m未満 50%	—	—																																																																																																																																																														
		S ₃	20m未満 50%	—	—	—																																																																																																																																																														
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.20	1.35	1.35																																																																																																																																																														
	夜間作業	K ₂	1.10	1.20	1.50	1.50																																																																																																																																																														
	曲線部	K ₃	1.25	1.30	1.15	—																																																																																																																																																														
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																																																																	
加算率	施 工 規 模	標準	S ₀ 全体数量																																																																																																																																																																	
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ 全体数量 S ₂ 数量																																																																																																																																																																	
	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁ 対象数量																																																																																																																																																																	
補正係数	夜 間 作 業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂ 対象数量																																																																																																																																																																	
	曲 線 部	曲線部(半径30m以下)の場合は、曲線部の延長に対して対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃ 対象数量																																																																																																																																																																	
区 分	記号	防 護 柵 設 置		部材設置	防護柵	部材撤去																																																																																																																																																														
		土中建込	コンクリート建込	パイプのみ	撤 去	パイプのみ																																																																																																																																																														
加算率	施 工 規 模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—																																																																																																																																																														
		S ₁	50m以上 100m未満 10%	100m未満 20%	—	—																																																																																																																																																														
		S ₂	20m以上 50m未満 20%	20m未満 50%	—	—																																																																																																																																																														
		S ₃	20m未満 50%	—	—	—																																																																																																																																																														
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.20	1.35	1.35																																																																																																																																																														
	夜間作業	K ₂	1.10	1.20	1.50	1.50																																																																																																																																																														
	曲線部	K ₃	1.25	1.30	1.15	—																																																																																																																																																														
積算上の注意事項																																																																																																																																																																				

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																							
現	行	改	定																						
<p style="text-align: center;">表2.8 加算率・補正係数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>施工規模</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土 中 建 込</td> <td>100 m 以上</td> </tr> <tr> <td>50 m 以上 100 m 未満</td> </tr> <tr> <td>50 m 未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コ ン ク リ ー ト 建 込</td> <td>100 m 以上</td> </tr> <tr> <td>100 m 未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-4 加算額 (1) 加算額の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.9 加算額の適用基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加算額 標準支柱より長い場合 B・C種</td> <td>支柱間隔 2m 支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に 対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td>m</td> <td>対象 数量</td> </tr> <tr> <td>加算額 曲げ支柱の場合 B・C種</td> <td>支柱間隔 2m 対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td>m</td> <td>対象 数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂×K₃) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費_材 ※曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費+曲げ加工費)とする。</p> <p>(2) 景観に配慮した塗装色を用いる場合は、材料費を含まない設置手間(機・労)を算出のうえ、材料費を別途計上する。</p> <p>(3) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間=(撤去単価(標準の市場単価)×補正係数)+(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費_材) ※曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費+曲げ加工費)とする。</p> <p>(4) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。</p> <p>(5) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p>		区 分	施工規模	土 中 建 込	100 m 以上	50 m 以上 100 m 未満	50 m 未満	コ ン ク リ ー ト 建 込	100 m 以上	100 m 未満	規格・仕様	適用基準	単位	備考	加算額 標準支柱より長い場合 B・C種	支柱間隔 2m 支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に 対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象 数量	加算額 曲げ支柱の場合 B・C種	支柱間隔 2m 対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象 数量	<p>現行どおり</p> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂ or S₂/100)×(K₁×K₂×K₃) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費_材 ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費_材+曲げ加工費)とする。 また、20m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額(土中建込の場合、<u>コンクリート建込の場合ともに標準材料費_材を30%割増)を控除すること。</u> ※(2) 20m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費(m単価)を指す。 (2) 景観色の設置手間(機・労・材)の算出は、次式による。 (<u>景観色とは、景観に配慮した塗装(景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等)を施した製品</u>)<u>景観に配慮した塗装色を用いる場合は、材料費を含まない設置手間(機・労)を算出のうえ、材料費を別途計上する。</u> 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費_材+材料費(景観色)_景 ※(3) 20m未満の材工共価格を算出する場合には、別途計上する材料費(景観色)に施工規模を考慮した材料費相当額(土中建込の場合、<u>コンクリート建込の場合ともに標準材料費_材を30%割増)を加算すること。</u></p> <p>(3) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間=(撤去単価(標準の市場単価)×補正係数)+(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費_材) ※<u>曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費+曲げ加工費)とする。</u></p> <p>(4) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。</p> <p>(5) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p>		<p>施工規模加算率の見直しに伴う改定</p> <p>施工規模加算率の見直しに伴う改定</p>
区 分	施工規模																								
土 中 建 込	100 m 以上																								
	50 m 以上 100 m 未満																								
	50 m 未満																								
コ ン ク リ ー ト 建 込	100 m 以上																								
	100 m 未満																								
規格・仕様	適用基準	単位	備考																						
加算額 標準支柱より長い場合 B・C種	支柱間隔 2m 支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に 対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象 数量																						
加算額 曲げ支柱の場合 B・C種	支柱間隔 2m 対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象 数量																						
積算上の注意事項																									


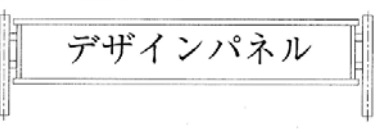
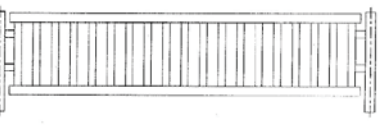
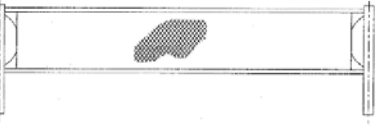

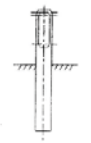
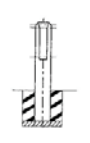
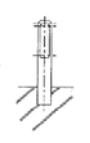
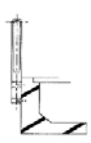


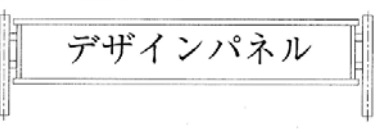
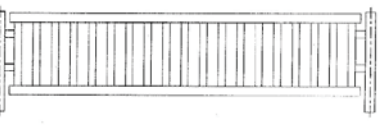
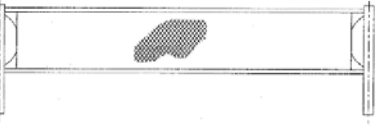

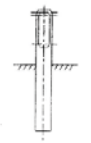
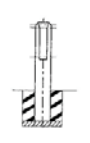
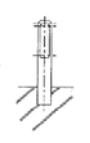
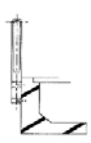


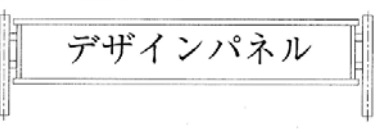
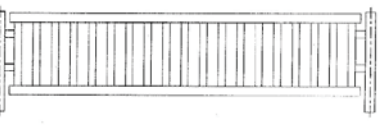
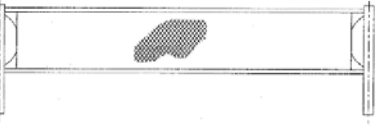

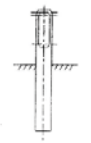
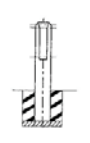
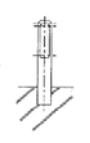
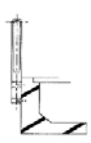

工 種	防護柵設置工(横断・転落防止柵)
-----	------------------

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定		備 考																																																																																																																																				
		現 行	現 行																																																																																																																																					
	<p>⑤-3 防護柵設置工 (横断・転落防止柵)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、柵高70cm以上125cm以下の防護柵設置工(横断・転落防止柵)に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲</p> <p>(1) 新設・更新、撤去工事。</p> <p>(2) 部材設置、部材撤去工事。</p> <p>1-2 市場単価が適用出来ない範囲</p> <p>(1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの。</p> <p>1) 事故後の復旧工事(設置・撤去)。</p> <p>(2) 特別調査等別途考慮するもの。</p> <p>1) 防護柵(P種)〔横断・転落防止柵〕以外の製品の場合。</p> <p>2) 高さが125cm超の場合。</p> <p>3) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。</p> <p>4) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。</p> <p>5) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合。</p> <p>6) その他、規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <p>① 防護柵(横断・転落防止柵)設置</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> <th rowspan="2">小 運</th> <th rowspan="2">支 柱 建 込</th> <th rowspan="2">根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置</th> <th rowspan="2">ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>土中建込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注)1. 土中建込には、床掘り・埋戻し及び穴あけ後の充填材(労務費・材料費)が必要な場合の作業を含む。ただし、支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。</p> <p>2. 根巻きコンクリート設置は、必要に応じて計上すること。</p> <p>① 防護柵(横断・転落防止柵)設置</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> <th rowspan="2">現 場 内 小 運 搬</th> <th rowspan="2">支 柱 建 込</th> <th rowspan="2">根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置</th> <th rowspan="2">ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>土中建込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注)1. 土中建込には、床掘り・埋戻し及び穴あけ後の充填材(労務費・材料費)が必要な場合の作業を含む。ただし、支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。</p> <p>2. 根巻きコンクリート設置は、必要に応じて計上すること。</p> <p>① 防護柵(横断・転落防止柵)設置</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">床 掘 り</th> <th rowspan="2">小 運</th> <th rowspan="2">ブ ロ ク 据 付</th> <th rowspan="2">埋 戻 し</th> <th rowspan="2">支 柱 建 込</th> <th rowspan="2">充 填</th> <th rowspan="2">ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置</th> <th rowspan="2">残 土 の 積 込 み</th> <th rowspan="2">残 土 の 運 搬・処 分</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>プレキャストコン クリートブロック建込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注)1. 支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。</p> <p>ただし、プレキャストコンクリートブロック材料費及び充填材(労務費・材料費)を含む。</p> <p>2. プレキャストコンクリートブロックは、100kg未満に適用する。</p>	工 種	市場単価			機	労	材	小 運	支 柱 建 込	根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置	機	労	材	土中建込	○	○	×								工 種	市場単価			機	労	材	現 場 内 小 運 搬	支 柱 建 込	根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置	機	労	材	土中建込	○	○	×								工 種	市場単価			床 掘 り	小 運	ブ ロ ク 据 付	埋 戻 し	支 柱 建 込	充 填	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置	残 土 の 積 込 み	残 土 の 運 搬・処 分	機	労	材	プレキャストコン クリートブロック建込	○	○	×										<p>現行どおり</p> <p>5) 階段部、法面に設置する場合。</p> <p>5.6) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合。</p> <p>5.7) その他、規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <p>① 防護柵(横断・転落防止柵)設置</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> <th rowspan="2">現 場 内 小 運 搬</th> <th rowspan="2">支 柱 建 込</th> <th rowspan="2">根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置</th> <th rowspan="2">ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>土中建込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注)1. 土中建込には、床掘り・埋戻し及び穴あけ後の充填材(労務費・材料費)が必要な場合の作業を含む。ただし、支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。</p> <p>2. 根巻きコンクリート設置は、必要に応じて計上すること。</p> <p>① 防護柵(横断・転落防止柵)設置</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">床 掘 り</th> <th rowspan="2">現 場 内 小 運 搬</th> <th rowspan="2">ブ ロ ク 据 付</th> <th rowspan="2">埋 戻 し</th> <th rowspan="2">支 柱 建 込</th> <th rowspan="2">充 填</th> <th rowspan="2">ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置</th> <th rowspan="2">残 土 の 積 込 み</th> <th rowspan="2">残 土 の 運 搬・処 分</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>プレキャストコン クリートブロック建込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注)1. 支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。</p> <p>ただし、プレキャストコンクリートブロック材料費及び充填材(労務費・材料費)を含む。</p> <p>2. プレキャストコンクリートブロックは、100kg未満に適用する。</p>	工 種	市場単価			機	労	材	現 場 内 小 運 搬	支 柱 建 込	根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置	機	労	材	土中建込	○	○	×								工 種	市場単価			床 掘 り	現 場 内 小 運 搬	ブ ロ ク 据 付	埋 戻 し	支 柱 建 込	充 填	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置	残 土 の 積 込 み	残 土 の 運 搬・処 分	機	労	材	プレキャストコン クリートブロック建込	○	○	×										<p>適用範囲の追記</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
工 種	市場単価			機	労								材	小 運	支 柱 建 込	根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置																																																																																																																							
	機	労	材																																																																																																																																					
土中建込	○	○	×																																																																																																																																					
工 種	市場単価			機	労	材	現 場 内 小 運 搬	支 柱 建 込	根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置																																																																																																																														
	機	労	材																																																																																																																																					
土中建込	○	○	×																																																																																																																																					
工 種	市場単価			床 掘 り	小 運	ブ ロ ク 据 付	埋 戻 し	支 柱 建 込	充 填	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置	残 土 の 積 込 み	残 土 の 運 搬・処 分																																																																																																																												
	機	労	材																																																																																																																																					
プレキャストコン クリートブロック建込	○	○	×																																																																																																																																					
工 種	市場単価			機	労	材	現 場 内 小 運 搬	支 柱 建 込	根 巻 き コ ン ク リ ー ト 設 置	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置																																																																																																																														
	機	労	材																																																																																																																																					
土中建込	○	○	×																																																																																																																																					
工 種	市場単価			床 掘 り	現 場 内 小 運 搬	ブ ロ ク 据 付	埋 戻 し	支 柱 建 込	充 填	ビ ム 又 は パ ネ ル の 設 置	残 土 の 積 込 み	残 土 の 運 搬・処 分																																																																																																																												
	機	労	材																																																																																																																																					
プレキャストコン クリートブロック建込	○	○	×																																																																																																																																					
積算上の注意事項																																																																																																																																								

VI-1-⑤-12

工 種	防護柵設置工(横断・転落防止柵)
-----	------------------

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考																																																						
	現 行	改 定																																																							
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">コンクリート基礎</th> <th rowspan="2">小運搬</th> <th rowspan="2">支柱</th> <th rowspan="2">充</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>コンクリート建込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 支柱建込箇所のコンクリートの穴あけ費用は含まない。ただし、充填材(労務費・材料費)を含む。</p>	工 種	市場単価			コンクリート基礎	小運搬	支柱	充	ビーム又はパネルの設置	機	労	材	コンクリート建込	○	○	×						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">コンクリート基礎</th> <th rowspan="2">現場内小運搬</th> <th rowspan="2">支柱</th> <th rowspan="2">充</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>コンクリート建込</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 支柱建込箇所のコンクリートの穴あけ費用は含まない。ただし、充填材(労務費・材料費)を含む。</p>	工 種	市場単価			コンクリート基礎	現場内小運搬	支柱	充	ビーム又はパネルの設置	機	労	材	コンクリート建込	○	○	×						語句の修正												
工 種	市場単価			コンクリート基礎	小運搬						支柱	充	ビーム又はパネルの設置																																												
	機	労	材																																																						
コンクリート建込	○	○	×																																																						
工 種	市場単価			コンクリート基礎	現場内小運搬	支柱	充	ビーム又はパネルの設置																																																	
	機	労	材																																																						
コンクリート建込	○	○	×																																																						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">小運搬</th> <th rowspan="2">アンカーボルト固定</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>アンカーボルト固定</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. アンカーボルトの材料費及び穿孔費用を含む。</p>	工 種	市場単価			小運搬	アンカーボルト固定	ビーム又はパネルの設置	機	労	材	アンカーボルト固定	○	○	×				<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">現場内小運搬</th> <th rowspan="2">アンカーボルト固定</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>アンカーボルト固定</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. アンカーボルトの材料費及び穿孔費用を含む。</p>	工 種	市場単価			現場内小運搬	アンカーボルト固定	ビーム又はパネルの設置	機	労	材	アンカーボルト固定	○	○	×				語句の修正																				
工 種	市場単価			小運搬	アンカーボルト固定				ビーム又はパネルの設置																																																
	機	労	材																																																						
アンカーボルト固定	○	○	×																																																						
工 種	市場単価			現場内小運搬	アンカーボルト固定	ビーム又はパネルの設置																																																			
	機	労	材																																																						
アンカーボルト固定	○	○	×																																																						
	<p>② 防護柵(横断・転落防止柵)部材設置</p> <p>1) ビーム又はパネルの設置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">小運搬</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>ビーム又はパネルの設置</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 種	市場単価			小運搬	ビーム又はパネルの設置	機	労	材	ビーム又はパネルの設置	○	○	×			<p>② 防護柵(横断・転落防止柵)部材設置</p> <p>1) ビーム又はパネルの設置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">現場内小運搬</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>ビーム又はパネルの設置</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 種	市場単価			現場内小運搬	ビーム又はパネルの設置	機	労	材	ビーム又はパネルの設置	○	○	×			語句の修正																								
工 種	市場単価			小運搬	ビーム又はパネルの設置																																																				
	機	労	材																																																						
ビーム又はパネルの設置	○	○	×																																																						
工 種	市場単価			現場内小運搬	ビーム又はパネルの設置																																																				
	機	労	材																																																						
ビーム又はパネルの設置	○	○	×																																																						
	<p>2) 根巻きコンクリート設置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">床掘り</th> <th rowspan="2">小運搬</th> <th rowspan="2">支柱</th> <th rowspan="2">根巻きコンクリート設置</th> <th rowspan="2">埋</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> <th rowspan="2">残土の積み込み</th> <th rowspan="2">残土の運搬・処分</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>根巻きコンクリート設置</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 床掘り・埋戻しの有無にかかわらず適用出来る。</p>	工 種	市場単価			床掘り	小運搬	支柱	根巻きコンクリート設置	埋	ビーム又はパネルの設置	残土の積み込み	残土の運搬・処分	機	労	材	根巻きコンクリート設置	○	○	○									<p>2) 根巻きコンクリート設置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">床掘り</th> <th rowspan="2">現場内小運搬</th> <th rowspan="2">支柱</th> <th rowspan="2">根巻きコンクリート設置</th> <th rowspan="2">埋</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの設置</th> <th rowspan="2">残土の積み込み</th> <th rowspan="2">残土の運搬・処分</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>根巻きコンクリート設置</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 床掘り・埋戻しの有無にかかわらず適用出来る。</p>	工 種	市場単価			床掘り	現場内小運搬	支柱	根巻きコンクリート設置	埋	ビーム又はパネルの設置	残土の積み込み	残土の運搬・処分	機	労	材	根巻きコンクリート設置	○	○	○									語句の修正
工 種	市場単価			床掘り	小運搬									支柱	根巻きコンクリート設置	埋	ビーム又はパネルの設置	残土の積み込み	残土の運搬・処分																																						
	機	労	材																																																						
根巻きコンクリート設置	○	○	○																																																						
工 種	市場単価			床掘り	現場内小運搬	支柱	根巻きコンクリート設置	埋	ビーム又はパネルの設置	残土の積み込み	残土の運搬・処分																																														
	機	労	材																																																						
根巻きコンクリート設置	○	○	○																																																						
	<p>③ 防護柵(横断・転落防止柵)撤去</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">ビーム又はパネルの撤去</th> <th rowspan="2">支柱</th> <th rowspan="2">積込・運搬・処分</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>防護柵撤去</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>/</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 撤去後における仮置き(現場内)の有無にかかわらず適用出来る。 2. プレキャストコンクリートブロック建込および根巻きコンクリート設置の防護柵の場合、コンクリートブロックの撤去を含む。 3. コンクリートブロックと支柱を分離する費用は含まない。</p>	工 種	市場単価			ビーム又はパネルの撤去	支柱	積込・運搬・処分	機	労	材	防護柵撤去	○	○	/				<p>③ 防護柵(横断・転落防止柵)撤去</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">現場内小運搬</th> <th rowspan="2">支柱</th> <th rowspan="2">積込・運搬・処分</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>防護柵撤去</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>/</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 撤去後における仮置き(現場内)の有無にかかわらず適用出来る。 2. プレキャストコンクリートブロック建込とは及び根巻きコンクリート設置の防護柵の場合、コンクリートブロックの撤去を含む。 3. コンクリートブロックと支柱を分離する費用は含まない。</p>	工 種	市場単価			現場内小運搬	支柱	積込・運搬・処分	機	労	材	防護柵撤去	○	○	/				語句の修正																				
工 種	市場単価			ビーム又はパネルの撤去	支柱				積込・運搬・処分																																																
	機	労	材																																																						
防護柵撤去	○	○	/																																																						
工 種	市場単価			現場内小運搬	支柱	積込・運搬・処分																																																			
	機	労	材																																																						
防護柵撤去	○	○	/																																																						
	IV-1-⑤-13																																																								
積算上の注意事項																																																									

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行	備 考																	
	現 行	改 定	備 考																	
	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> <p>横断・転落防止柵参考例</p> <table border="1"> <tr> <td>ビーム型</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">パネル型</td> <td>デザインパネル </td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>門型</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎形状</td> <td>土中建込用 </td> </tr> <tr> <td>プレキャストコンクリート ブロック建込用 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート建込 用 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカーボルト固定 用 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>横巻きコンクリート ブロック </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">IV-1-⑤-17</p> </div>	ビーム型		パネル型	デザインパネル 			門型		基礎形状	土中建込用 	プレキャストコンクリート ブロック建込用 		コンクリート建込 用 		アンカーボルト固定 用 		横巻きコンクリート ブロック 	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> <p>4. 参考資料</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の追記</p>
ビーム型																				
パネル型	デザインパネル 																			
																				
																				
門型																				
基礎形状	土中建込用 																			
	プレキャストコンクリート ブロック建込用 																			
	コンクリート建込 用 																			
	アンカーボルト固定 用 																			
	横巻きコンクリート ブロック 																			
積算上の注意事項																				

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考																																																																																																																																																										
現	行	改 定	備 考																																																																																																																																																										
	<p style="text-align: center;">表2.3 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中塗り塗装</td> <td rowspan="2">長油性フタル酸樹脂塗料</td> <td>赤系</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふっ素樹脂塗料</td> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>濃彩</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装(3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上塗り塗装</td> <td rowspan="2">長油性フタル酸樹脂塗料</td> <td>赤系</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふっ素樹脂塗料</td> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>濃彩</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.5 塗替塗装(1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">素地調整</td> <td>清掃・水洗い</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>1種ケレン(プラスト法)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>2種ケレン(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>3種ケレンA(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>3種ケレンB(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>3種ケレンC(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>4種ケレン(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2.6 塗替塗装(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">下塗り塗装</td> <td>弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料</td> <td rowspan="2">はけ・ローラー</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)</td> <td>スプレー</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント(2層)</td> <td>はけ・ローラー</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>はけ・ローラーⅠ</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)</td> <td>はけ・ローラーⅡ</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>スプレー</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>無溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)</td> <td>はけ・ローラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. はけ・ローラーⅠは、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、その他の旧塗膜を全面除去した場合、はけ・ローラーⅡは、旧塗膜を全面除去した場合である。 2. はけ・ローラーⅡは、必要厚が1回では得られないので、2回塗りとしている。 3. 2層は、1層の塗装を行った後、適正な塗装間隔を空けてさらに1層の塗装を行うものである。 4. 各塗料の単価は、1層当りの塗布回数、層数を考慮した1㎡当りのものである。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-⑧-3</p>	区分	規格・仕様		単位	中塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²	淡彩	m ²	ふっ素樹脂塗料	淡彩	m ²	濃彩	m ²	区分	規格・仕様		単位	上塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²	淡彩	m ²	ふっ素樹脂塗料	淡彩	m ²	濃彩	m ²	区分	規格・仕様	単位	素地調整	清掃・水洗い	m ²	1種ケレン(プラスト法)	m ²	2種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²	3種ケレンA(動力工具と手工具の併用)	m ²	3種ケレンB(動力工具と手工具の併用)	m ²	3種ケレンC(動力工具と手工具の併用)	m ²	4種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²	区分	規格・仕様		単位	下塗り塗装	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	はけ・ローラー	m ²	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	スプレー	m ²	鉛・クロムフリーさび止めペイント(2層)	はけ・ローラー	有機ジンクリッチペイント	はけ・ローラーⅠ	m ²	有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)	はけ・ローラーⅡ	有機ジンクリッチペイント	スプレー	m ²	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	はけ・ローラー	<p style="text-align: center;">表2.3 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中塗り塗装</td> <td rowspan="2">長油性フタル酸樹脂塗料</td> <td>赤系</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふっ素樹脂塗料</td> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>濃彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふっ素樹脂塗料</td> <td>赤系</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>濃彩</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装(3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">上塗り塗装</td> <td rowspan="2">長油性フタル酸樹脂塗料</td> <td>赤系</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふっ素樹脂塗料</td> <td>赤系</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>淡彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふっ素樹脂塗料</td> <td>濃彩</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>濃彩</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.5 塗替塗装(1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">素地調整</td> <td>清掃・水洗い</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>1種ケレン(プラスト法)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>2種ケレン(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>3種ケレンA(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>3種ケレンB(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>3種ケレンC(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>4種ケレン(動力工具と手工具の併用)</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2.6 塗替塗装(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">下塗り塗装</td> <td>弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料</td> <td rowspan="2">はけ・ローラー</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)</td> <td>スプレー</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント(2層)</td> <td>はけ・ローラー</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>はけ・ローラーⅠ</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)</td> <td>はけ・ローラーⅡ</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>スプレー</td> <td rowspan="2">m²</td> </tr> <tr> <td>無溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)</td> <td>はけ・ローラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. はけ・ローラーⅠは、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、その他の旧塗膜を全面除去した場合、はけ・ローラーⅡは、旧塗膜を全面除去した場合である。 2. はけ・ローラーⅡは、必要厚が1回では得られないので、2回塗りとしている。 3. 2層は、1層の塗装を行った後、適正な塗装間隔を空けてさらに1層の塗装を行うものである。 4. 各塗料の単価は、1層当りの塗布回数、層数を考慮した1㎡当りのものである。</p>	区分	規格・仕様		単位	中塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²	淡彩	m ²	ふっ素樹脂塗料	淡彩	m ²	濃彩	m ²	ふっ素樹脂塗料	赤系	m ²	濃彩	m ²	区分	規格・仕様		単位	上塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²	淡彩	m ²	ふっ素樹脂塗料	赤系	m ²	淡彩	m ²	ふっ素樹脂塗料	濃彩	m ²	濃彩	m ²	区分	規格・仕様	単位	素地調整	清掃・水洗い	m ²	1種ケレン(プラスト法)	m ²	2種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²	3種ケレンA(動力工具と手工具の併用)	m ²	3種ケレンB(動力工具と手工具の併用)	m ²	3種ケレンC(動力工具と手工具の併用)	m ²	4種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²	区分	規格・仕様		単位	下塗り塗装	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	はけ・ローラー	m ²	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	スプレー	m ²	鉛・クロムフリーさび止めペイント(2層)	はけ・ローラー	有機ジンクリッチペイント	はけ・ローラーⅠ	m ²	有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)	はけ・ローラーⅡ	有機ジンクリッチペイント	スプレー	m ²	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	はけ・ローラー	<p>語句の修正 赤系の追加</p>
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																										
中塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²																																																																																																																																																										
		淡彩	m ²																																																																																																																																																										
	ふっ素樹脂塗料	淡彩	m ²																																																																																																																																																										
		濃彩	m ²																																																																																																																																																										
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																										
上塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²																																																																																																																																																										
		淡彩	m ²																																																																																																																																																										
	ふっ素樹脂塗料	淡彩	m ²																																																																																																																																																										
		濃彩	m ²																																																																																																																																																										
区分	規格・仕様	単位																																																																																																																																																											
素地調整	清掃・水洗い	m ²																																																																																																																																																											
	1種ケレン(プラスト法)	m ²																																																																																																																																																											
	2種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																											
	3種ケレンA(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																											
	3種ケレンB(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																											
3種ケレンC(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																												
4種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																												
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																										
下塗り塗装	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	はけ・ローラー	m ²																																																																																																																																																										
	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)																																																																																																																																																												
	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	スプレー	m ²																																																																																																																																																										
	鉛・クロムフリーさび止めペイント(2層)	はけ・ローラー																																																																																																																																																											
	有機ジンクリッチペイント	はけ・ローラーⅠ	m ²																																																																																																																																																										
	有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)	はけ・ローラーⅡ																																																																																																																																																											
	有機ジンクリッチペイント	スプレー	m ²																																																																																																																																																										
	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	はけ・ローラー																																																																																																																																																											
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																										
中塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²																																																																																																																																																										
		淡彩	m ²																																																																																																																																																										
	ふっ素樹脂塗料	淡彩	m ²																																																																																																																																																										
		濃彩	m ²																																																																																																																																																										
	ふっ素樹脂塗料	赤系	m ²																																																																																																																																																										
		濃彩	m ²																																																																																																																																																										
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																										
上塗り塗装	長油性フタル酸樹脂塗料	赤系	m ²																																																																																																																																																										
		淡彩	m ²																																																																																																																																																										
	ふっ素樹脂塗料	赤系	m ²																																																																																																																																																										
		淡彩	m ²																																																																																																																																																										
	ふっ素樹脂塗料	濃彩	m ²																																																																																																																																																										
		濃彩	m ²																																																																																																																																																										
区分	規格・仕様	単位																																																																																																																																																											
素地調整	清掃・水洗い	m ²																																																																																																																																																											
	1種ケレン(プラスト法)	m ²																																																																																																																																																											
	2種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																											
	3種ケレンA(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																											
	3種ケレンB(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																											
3種ケレンC(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																												
4種ケレン(動力工具と手工具の併用)	m ²																																																																																																																																																												
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																										
下塗り塗装	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	はけ・ローラー	m ²																																																																																																																																																										
	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)																																																																																																																																																												
	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	スプレー	m ²																																																																																																																																																										
	鉛・クロムフリーさび止めペイント(2層)	はけ・ローラー																																																																																																																																																											
	有機ジンクリッチペイント	はけ・ローラーⅠ	m ²																																																																																																																																																										
	有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)	はけ・ローラーⅡ																																																																																																																																																											
	有機ジンクリッチペイント	スプレー	m ²																																																																																																																																																										
	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料(2層)	はけ・ローラー																																																																																																																																																											
積算上の注意事項																																																																																																																																																													

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																																																																																																																																																																									
現	行	改	定																																																																																																																																																																																								
<p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.10 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装</th> <th colspan="3">塗 替 塗 装</th> </tr> <tr> <th>継 手 部 素地調整</th> <th>準備・補修 塗装作業</th> <th>塗 装 作 業</th> <th>清 掃 ・ 水 洗 い</th> <th>素地調整</th> <th>塗 装 作 業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>—</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>—</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>—</td> <td>500 m²未満 20%</td> <td>500 m²未満 20%</td> <td>500 m²未満 20%</td> <td>500 m²未満 20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.45</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>箱桁構造の密閉部</td> <td>K₃</td> <td>1.40</td> <td>—</td> <td>1.40</td> <td>1.40</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋</td> <td>K₄</td> <td>—</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>側道橋</td> <td>K₅</td> <td>—</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>高欄部単独施工</td> <td>K₆</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.50</td> <td>2.60</td> </tr> <tr> <td>新橋継手部現場塗装</td> <td>K₇</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.45</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>床版補強鋼板現場塗装</td> <td>K₈</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.35</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模は、新橋現場塗装、新橋継手部現場塗装、塗替塗装、それぞれの1工事における塗装対象面積（一層）で判断する。また、1工事中に複数の橋がある場合は、新橋現場塗装、塗替塗装別の塗装対象面積（複数橋の合計）で判断する。 2. 施工規模加算率（S₁）又は（S₂）と時間的制約の補正係数（K₁）が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 3. 新橋継手部現場塗装の補正と重複適用出来るのは、補正係数（K₁）、（K₂）の2項目である。他の加算率、補正係数は、重複して適用しない。 4. 横断歩道橋、側道橋、新橋継手部現場塗装、補強鋼板現場塗装及び高欄の単独施工の場合は、施工規模による加算率を重複して適用しない。 5. 横断歩道橋、側道橋で箱桁構造の場合は、箱桁構造の密閉部（K₃）のみを適用し、横断歩道橋（K₄）、側道橋（K₅）を重複して適用しない。 6. 新橋現場塗装における継手部への中・上塗りには、新橋継手部現場塗装の補正（K₇）は適用しない。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価（注1）×設計数量 （注1） 設計単価＝標準の市場単価×（1+S₀ or S₁ or S₂/100）×K₁×K₂×…×K_n</p>		区 分	記号	新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装			塗 替 塗 装			継 手 部 素地調整	準備・補修 塗装作業	塗 装 作 業	清 掃 ・ 水 洗 い	素地調整	塗 装 作 業	加算率	施工規模	S ₀	—	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	—	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	S ₂	—	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.10	1.10	1.15	夜間作業	K ₂	1.45	1.35	1.35	1.35	1.45	箱桁構造の密閉部	K ₃	1.40	—	1.40	1.40	1.80	横断歩道橋	K ₄	—	1.20	1.20	1.20	1.20	側道橋	K ₅	—	1.20	1.20	1.20	1.20	高欄部単独施工	K ₆	—	—	—	1.50	2.60	新橋継手部現場塗装	K ₇	—	—	1.45	—	—	床版補強鋼板現場塗装	K ₈	—	—	1.35	—	—	<p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.10 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装</th> <th colspan="3">塗 替 塗 装</th> </tr> <tr> <th>継 手 部 素地調整</th> <th>準備・補修 塗装作業</th> <th>塗 装 作 業</th> <th>清 掃 ・ 水 洗 い</th> <th>素地調整</th> <th>塗 装 作 業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>—</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>—</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> <td>500 m²～ 1,000 m² 10%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>—</td> <td>500 m²未満 20%</td> <td>500 m²未満 20%</td> <td>500 m²未満 20%</td> <td>500 m²未満 20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.45</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>箱桁構造の密閉部</td> <td>K₃</td> <td>1.40</td> <td>—</td> <td>1.40</td> <td>1.40</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋</td> <td>K₄</td> <td>—</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>側道橋</td> <td>K₅</td> <td>—</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>高欄部単独施工</td> <td>K₆</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.50</td> <td>2.60</td> </tr> <tr> <td>新橋継手部現場塗装</td> <td>K₇</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.45</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>床版補強鋼板現場塗装</td> <td>K₈</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.35</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模は、新橋現場塗装、新橋継手部現場塗装、塗替塗装、それぞれの1工事における塗装対象面積（一層）で判断する。また、1工事中に複数の橋がある場合は、新橋現場塗装、塗替塗装別の塗装対象面積（複数橋の合計）で判断する。 2. 施工規模加算率（S₁）又は（S₂）と時間的制約の補正係数（K₁）が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 3. 新橋継手部現場塗装の補正と重複適用出来るのは、補正係数（K₁）、（K₂）の2項目である。他の加算率、補正係数は、重複して適用しない。 4. 横断歩道橋、側道橋、新橋継手部現場塗装、補強鋼板現場塗装及び高欄の単独施工の場合は、施工規模による加算率を重複して適用しない。 5. 横断歩道橋、側道橋で箱桁構造の場合は、箱桁構造の密閉部（K₃）のみを適用し、横断歩道橋（K₄）、側道橋（K₅）を重複して適用しない。 6. 新橋現場塗装における継手部への中・上塗りには、新橋継手部現場塗装の補正（K₇）は適用しない。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価（注1）×設計数量 （注1） 設計単価＝標準の市場単価×（1+S₀ or S₁ or S₂/100）×K₁×K₂×…×K_n</p>		区 分	記号	新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装			塗 替 塗 装			継 手 部 素地調整	準備・補修 塗装作業	塗 装 作 業	清 掃 ・ 水 洗 い	素地調整	塗 装 作 業	加算率	施工規模	S ₀	—	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	—	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	S ₂	—	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.10	1.10	1.15	夜間作業	K ₂	1.45	1.35	1.35	1.35	1.45	箱桁構造の密閉部	K ₃	1.40	—	1.40	1.40	1.80	横断歩道橋	K ₄	—	1.20	1.20	1.20	1.20	側道橋	K ₅	—	1.20	1.20	1.20	1.20	高欄部単独施工	K ₆	—	—	—	1.50	2.60	新橋継手部現場塗装	K ₇	—	—	1.45	—	—	床版補強鋼板現場塗装	K ₈	—	—	1.35	—	—	<p style="font-size: 2em;">→</p>	<p>係数の削除</p>
区 分	記号			新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装			塗 替 塗 装																																																																																																																																																																																				
		継 手 部 素地調整	準備・補修 塗装作業	塗 装 作 業	清 掃 ・ 水 洗 い	素地調整	塗 装 作 業																																																																																																																																																																																				
加算率	施工規模	S ₀	—	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																																																																																																																				
		S ₁	—	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%																																																																																																																																																																																				
		S ₂	—	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%																																																																																																																																																																																				
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.10	1.10	1.15																																																																																																																																																																																				
	夜間作業	K ₂	1.45	1.35	1.35	1.35	1.45																																																																																																																																																																																				
	箱桁構造の密閉部	K ₃	1.40	—	1.40	1.40	1.80																																																																																																																																																																																				
	横断歩道橋	K ₄	—	1.20	1.20	1.20	1.20																																																																																																																																																																																				
	側道橋	K ₅	—	1.20	1.20	1.20	1.20																																																																																																																																																																																				
	高欄部単独施工	K ₆	—	—	—	1.50	2.60																																																																																																																																																																																				
	新橋継手部現場塗装	K ₇	—	—	1.45	—	—																																																																																																																																																																																				
	床版補強鋼板現場塗装	K ₈	—	—	1.35	—	—																																																																																																																																																																																				
区 分	記号	新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装			塗 替 塗 装																																																																																																																																																																																						
		継 手 部 素地調整	準備・補修 塗装作業	塗 装 作 業	清 掃 ・ 水 洗 い	素地調整	塗 装 作 業																																																																																																																																																																																				
加算率	施工規模	S ₀	—	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																																																																																																																				
		S ₁	—	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%	500 m ² ～ 1,000 m ² 10%																																																																																																																																																																																				
		S ₂	—	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%	500 m ² 未満 20%																																																																																																																																																																																				
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.10	1.10	1.15																																																																																																																																																																																				
	夜間作業	K ₂	1.45	1.35	1.35	1.35	1.45																																																																																																																																																																																				
	箱桁構造の密閉部	K ₃	1.40	—	1.40	1.40	1.80																																																																																																																																																																																				
	横断歩道橋	K ₄	—	1.20	1.20	1.20	1.20																																																																																																																																																																																				
	側道橋	K ₅	—	1.20	1.20	1.20	1.20																																																																																																																																																																																				
	高欄部単独施工	K ₆	—	—	—	1.50	2.60																																																																																																																																																																																				
	新橋継手部現場塗装	K ₇	—	—	1.45	—	—																																																																																																																																																																																				
	床版補強鋼板現場塗装	K ₈	—	—	1.35	—	—																																																																																																																																																																																				
VI-1-⑧-5																																																																																																																																																																																											
積算上の注意事項																																																																																																																																																																																											

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考																																																																																																	
現	行	改 定	備 考																																																																																																	
<p>3. 適用にあたっての留意事項</p> <p>市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 鋼橋の現場での塗装作業に適用する。</p> <p>(2) 市場単価の設定でいう濃彩とは、青、緑系及びオレンジ系のことであり、赤系、濃彩以外を淡彩とする。</p> <p>(3) 適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。</p> <p>板桁構造……プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。 箱桁構造……単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。</p> <p>弦材を有する構造……トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。 横断歩道橋……各種横断歩道橋。 側道橋……各種側道橋。</p> <p>(4) 素地調整（ケレン）工に伴う塗膜の劣化面積と素地調整種別は、次のとおりとする。</p> <p>1) さびが発生している場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>発錆面積 (%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。</td> </tr> <tr> <td>2 種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。</td> <td>30 以上</td> <td>旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。</td> </tr> <tr> <td>3 種 A</td> <td>点錆がかなり点在している。</td> <td>15 ~ 30</td> <td>活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3 種 B</td> <td>点錆が少し点在している。</td> <td>5 ~ 15</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>3 種 C</td> <td>点錆がほんの少し点在している。</td> <td>5 以下</td> <td>同 上</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>塗膜異常面積 (%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 種 A</td> <td>発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。</td> <td>30 以上</td> <td>活膜は残すが、不良部は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3 種 B</td> <td>同 上</td> <td>15 ~ 30</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>3 種 C</td> <td>同 上</td> <td>5 ~ 15</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>4 種</td> <td>同 上</td> <td>5 以下</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>4 種</td> <td>白亜化・変退色の著しい場合。</td> <td></td> <td>粉化物・汚れ等を除去する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 鋼橋架設の新橋継手部の素地調整は動力工具処理又はブラスト処理により行う作業をいう。</p> <p>(6) 3種ケレンについては、補修塗装作業を含むものとする。なお、2種及び4種ケレンについては、補修塗装作業を含まないものとする。</p> <p>(7) 2種ケレン、3種ケレン、4種ケレンは動力工具処理及び手工具により行う作業とし、ブラスト処理により行う作業は適用外とする。</p> <p>(8) ケレン（ブラスト処理を含む）及びスプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(9) 準備・補修における補修塗装作業とは、橋梁架設時に行う下塗り塗膜破損箇所の補修作業である。</p> <p>(10) ブラスト処理による素地調整工で発生したケレンかす、及び研掃材の処理に要する費用は含まない。</p> <p>(11) 準備・補修及び清掃・水洗い作業における水洗い作業の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(12) 準備・補修における下塗り損傷箇所の補修塗り、素地調整3種ケレンにおける鋼材露出部への簡易的な部分塗り（タッチアップ作業）の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(13) 随意契約による調整を行う追加工事の扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p>		素地調整種別	さびの状態	発錆面積 (%)	素地調整内容	1 種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。	2 種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30 以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。	3 種 A	点錆がかなり点在している。	15 ~ 30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。	3 種 B	点錆が少し点在している。	5 ~ 15	同 上	3 種 C	点錆がほんの少し点在している。	5 以下	同 上	素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積 (%)	素地調整内容	3 種 A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30 以上	活膜は残すが、不良部は除去する。	3 種 B	同 上	15 ~ 30	同 上	3 種 C	同 上	5 ~ 15	同 上	4 種	同 上	5 以下	同 上	4 種	白亜化・変退色の著しい場合。		粉化物・汚れ等を除去する。	<p>3. 適用にあたっての留意事項</p> <p>市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 鋼橋の現場での塗装作業に適用する。</p> <p>(2) 市場単価の設定でいう濃彩とは、青、緑系及びオレンジ系のことであり、赤系、濃彩以外を淡彩とする。</p> <p>(3) 適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。</p> <p>板桁構造……プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。 箱桁構造……単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。</p> <p>弦材を有する構造……トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。 横断歩道橋……各種横断歩道橋。 側道橋……各種側道橋。</p> <p>(4) 素地調整（ケレン）工に伴う塗膜の劣化面積と素地調整種別は、次のとおりとする。</p> <p>1) さびが発生している場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>発錆面積 (%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。</td> </tr> <tr> <td>2 種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。</td> <td>30 以上</td> <td>旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。</td> </tr> <tr> <td>3 種 A</td> <td>点錆がかなり点在している。</td> <td>15 ~ 30</td> <td>活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3 種 B</td> <td>点錆が少し点在している。</td> <td>5 ~ 15</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>3 種 C</td> <td>点錆がほんの少し点在している。</td> <td>5 以下</td> <td>同 上</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>塗膜異常面積 (%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 種 A</td> <td>発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。</td> <td>30 以上</td> <td>活膜は残すが、不良部は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3 種 B</td> <td>同 上</td> <td>15 ~ 30</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>3 種 C</td> <td>同 上</td> <td>5 ~ 15</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>4 種</td> <td>同 上</td> <td>5 以下</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>4 種</td> <td>白亜化・変退色の著しい場合。</td> <td></td> <td>粉化物・汚れ等を除去する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 鋼橋架設の新橋継手部の素地調整は動力工具処理又はブラスト処理により行う作業をいう。</p> <p>(6) 3種ケレンについては、補修塗装作業を含むものとする。なお、2種及び4種ケレンについては、補修塗装作業を含まないものとする。</p> <p>(7) 2種ケレン、3種ケレン、4種ケレンは動力工具処理及び手工具により行う作業とし、ブラスト処理により行う作業は適用外とする。</p> <p>(8) ケレン（ブラスト処理を含む）及びスプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(9) 準備・補修における補修塗装作業とは、橋梁架設時に行う下塗り塗膜破損箇所の補修作業である。</p> <p>(10) ブラスト処理による素地調整工で発生したケレンかす、及び研掃材の処理に要する費用は含まない。</p> <p>(11) 準備・補修及び清掃・水洗い作業における水洗い作業の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(12) 準備・補修における下塗り損傷箇所の補修塗り、素地調整3種ケレンにおける鋼材露出部への簡易的な部分塗り（タッチアップ作業）の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(13) 随意契約による調整を行う追加工事の扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p> <p><u>(14) 高力ボルト連結部の塗装仕様に関して、防せい処理ボルトの使用の有無に関わらず適用できる。</u></p>		素地調整種別	さびの状態	発錆面積 (%)	素地調整内容	1 種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。	2 種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30 以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。	3 種 A	点錆がかなり点在している。	15 ~ 30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。	3 種 B	点錆が少し点在している。	5 ~ 15	同 上	3 種 C	点錆がほんの少し点在している。	5 以下	同 上	素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積 (%)	素地調整内容	3 種 A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30 以上	活膜は残すが、不良部は除去する。	3 種 B	同 上	15 ~ 30	同 上	3 種 C	同 上	5 ~ 15	同 上	4 種	同 上	5 以下	同 上	4 種	白亜化・変退色の著しい場合。		粉化物・汚れ等を除去する。	<p>語句の追記</p>
素地調整種別	さびの状態	発錆面積 (%)	素地調整内容																																																																																																	
1 種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																																	
2 種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30 以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																																	
3 種 A	点錆がかなり点在している。	15 ~ 30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。																																																																																																	
3 種 B	点錆が少し点在している。	5 ~ 15	同 上																																																																																																	
3 種 C	点錆がほんの少し点在している。	5 以下	同 上																																																																																																	
素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積 (%)	素地調整内容																																																																																																	
3 種 A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30 以上	活膜は残すが、不良部は除去する。																																																																																																	
3 種 B	同 上	15 ~ 30	同 上																																																																																																	
3 種 C	同 上	5 ~ 15	同 上																																																																																																	
4 種	同 上	5 以下	同 上																																																																																																	
4 種	白亜化・変退色の著しい場合。		粉化物・汚れ等を除去する。																																																																																																	
素地調整種別	さびの状態	発錆面積 (%)	素地調整内容																																																																																																	
1 種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																																	
2 種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30 以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																																	
3 種 A	点錆がかなり点在している。	15 ~ 30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。																																																																																																	
3 種 B	点錆が少し点在している。	5 ~ 15	同 上																																																																																																	
3 種 C	点錆がほんの少し点在している。	5 以下	同 上																																																																																																	
素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積 (%)	素地調整内容																																																																																																	
3 種 A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30 以上	活膜は残すが、不良部は除去する。																																																																																																	
3 種 B	同 上	15 ~ 30	同 上																																																																																																	
3 種 C	同 上	5 ~ 15	同 上																																																																																																	
4 種	同 上	5 以下	同 上																																																																																																	
4 種	白亜化・変退色の著しい場合。		粉化物・汚れ等を除去する。																																																																																																	
<p>VI-1-⑧-6</p>																																																																																																				
積算上の注意事項																																																																																																				

改 定 理 由		一 部 改 定		改 定 現 行		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
現 行				改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p><参考資料> ◆市場準拠適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">製 作 社 名</th> <th rowspan="2">伸 縮 装 置 名 称</th> <th rowspan="2">伸 縮 装 置 型 番</th> <th colspan="4">【 用 途 関 係 】</th> <th colspan="10">【 構 造 関 係 】</th> <th rowspan="2">特 殊 型 格 子 組 合 用</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>歩 車 道 区 分</th> <th>積 雪 地 帯 対 応</th> <th>設 置 方 向</th> <th>道 路 横 断 方 向</th> <th>伸 縮 量 (mm)</th> <th>非 排 水 構 造</th> <th>補 強 筋 重 量 (kg/m)</th> <th>※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)</th> <th>分 類</th> <th>本 体 後 継 ぎ 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ア ナ カ ワ 工 業</td> <td rowspan="3">エースジョイント</td> <td>B-50, 80, 120, 50R, 70R</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>50~120</td> <td>○</td> <td>14.9~15.2</td> <td>52.0~180.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MF-35, 50-I</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~50</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>39.1~39.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MF-60, 70, 80, 100, 120, 135-I</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~135</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>54.0~86.7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">橋 梁 メ カ ニ カ ス</td> <td rowspan="3">KMS ジョイント</td> <td>KMS II-20, 35, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~50</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>63.0~86.4</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>誘導板別途</td> </tr> <tr> <td>KMA-60, 80, 110, 160</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~160</td> <td>○</td> <td>9.4~13.5</td> <td>61.9~180.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>KMA II-60, 80, 110, 160</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~160</td> <td>○</td> <td>14.1~29.1</td> <td>51.1~165.1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">シーベックジョイント</td> <td>SP-60, 80, 110, 160KMA</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~160</td> <td>○</td> <td>13.4~14.4</td> <td>104.4~180.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TR-50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>50</td> <td>○</td> <td>2.0</td> <td>13.9</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SS-V ジョイント</td> <td>SS-20V, 30V</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>55.0~56.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">ST ジョイント</td> <td>SS-40V</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>40</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>67.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ST-20N, 30N, 40N, 50N, 60N, 80N</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~80</td> <td>○</td> <td>6.2~9.4</td> <td>54.2~156.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ST-80G</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>80</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>162.3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>誘導板付き</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">グライディングジョイント</td> <td>GLH-20, 30, 40, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~50</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>140.5~166.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>SMJ-20, 30, 50, 70, 100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~100</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>61.1~129.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>VM ジョイント</td> <td>VM</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>31.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉛直伸縮量 20mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">SS-V ジョイント(歩道用)</td> <td>SS-V, SS-20V, 30V</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>37.8~39.3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AI ジョイント</td> <td>AIJ-20, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>42.3~44.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SBH ジョイント</td> <td>SBH-40</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>40</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>40.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SBH ジョイント</td> <td>SBH-60, 80</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~80</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>53.8~60.1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。</p>				製 作 社 名	伸 縮 装 置 名 称	伸 縮 装 置 型 番	【 用 途 関 係 】				【 構 造 関 係 】										特 殊 型 格 子 組 合 用	備 考	歩 車 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応	設 置 方 向	道 路 横 断 方 向	伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	分 類	本 体 後 継 ぎ 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	ア ナ カ ワ 工 業	エースジョイント	B-50, 80, 120, 50R, 70R	○		○	○	50~120	○	14.9~15.2	52.0~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		MF-35, 50-I	○		○	○	35~50	○	9.4	39.1~39.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		MF-60, 70, 80, 100, 120, 135-I	○		○	○	60~135	○	9.4	54.0~86.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		橋 梁 メ カ ニ カ ス	KMS ジョイント	KMS II-20, 35, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	63.0~86.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板別途	KMA-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	9.4~13.5	61.9~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	KMA II-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	14.1~29.1	51.1~165.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	シ ョ ー ボ ン ド 建 設	シーベックジョイント	SP-60, 80, 110, 160KMA	○	○	○	○	60~160	○	13.4~14.4	104.4~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		TR-50	○	○	○	○	50	○	2.0	13.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		SS-V ジョイント	SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	55.0~56.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		シ ョ ー ボ ン ド 建 設	ST ジョイント	SS-40V	○	○	○	○	40	○	6.2	67.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		ST-20N, 30N, 40N, 50N, 60N, 80N	○	○	○	○	20~80	○	6.2~9.4	54.2~156.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		ST-80G	○	○	○	○	80	○	9.4	162.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板付き	シ ョ ー ボ ン ド 建 設	グライディングジョイント	GLH-20, 30, 40, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	140.5~166.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	SMJ-20, 30, 50, 70, 100	○	○	○	○	20~100	○	6.2	61.1~129.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	VM ジョイント	VM	○	○	○	○	20	○	6.2	31.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鉛直伸縮量 20mm	シ ョ ー ボ ン ド 建 設	SS-V ジョイント(歩道用)	SS-V, SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	37.8~39.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		AI ジョイント	AIJ-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	4.0	42.3~44.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		SBH ジョイント	SBH-40	○	○	○	○	40	○	4.0	40.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		SBH ジョイント	SBH-60, 80	○	○	○	○	60~80	○	4.0	53.8~60.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p><参考資料> ◆市場準拠適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">製 作 社 名</th> <th rowspan="2">伸 縮 装 置 名 称</th> <th rowspan="2">伸 縮 装 置 型 番</th> <th colspan="4">【 用 途 関 係 】</th> <th colspan="10">【 構 造 関 係 】</th> <th rowspan="2">特 殊 型 格 子 組 合 用</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>歩 車 道 区 分</th> <th>積 雪 地 帯 対 応</th> <th>設 置 方 向</th> <th>道 路 横 断 方 向</th> <th>伸 縮 量 (mm)</th> <th>非 排 水 構 造</th> <th>補 強 筋 重 量 (kg/m)</th> <th>※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)</th> <th>分 類</th> <th>本 体 後 継 ぎ 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> <th>本 体 溶 接 済 型 形 式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ア ナ カ ワ 工 業</td> <td rowspan="3">エースジョイント</td> <td>B-50, 80, 120, 50R, 70R</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>50~120</td> <td>○</td> <td>14.9~15.2</td> <td>52.0~180.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MF-35, 50-I</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~50</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>39.1~39.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MF-60, 70, 80, 100, 120, 135-I</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~135</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>54.0~86.7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">橋 梁 メ カ ニ カ ス</td> <td rowspan="3">KMS ジョイント</td> <td>KMS II-20, 35, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~50</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>63.0~86.4</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>誘導板別途</td> </tr> <tr> <td>KMA-60, 80, 110, 160</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~160</td> <td>○</td> <td>9.4~13.5</td> <td>61.9~180.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>KMA II-60, 80, 110, 160</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~160</td> <td>○</td> <td>14.1~29.1</td> <td>51.1~165.1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">シーベックジョイント</td> <td>SP-60, 80, 110, 160KMA</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~160</td> <td>○</td> <td>13.4~14.4</td> <td>104.4~180.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TR-50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>50</td> <td>○</td> <td>2.0</td> <td>13.9</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SS-V ジョイント</td> <td>SS-20V, 30V</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>55.0~56.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">ST ジョイント</td> <td>SS-40V</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>40</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>67.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ST-20N, 30N, 40N, 50N, 60N, 80N</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~80</td> <td>○</td> <td>6.2~9.4</td> <td>54.2~156.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ST-80G</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>80</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>162.3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>誘導板付き</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">グライディングジョイント</td> <td>GLH-20, 30, 40, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~50</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>140.5~166.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>SMJ-20, 30, 50, 70, 100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~100</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>61.1~129.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>VM ジョイント</td> <td>VM</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>31.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉛直伸縮量 20mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シ ョ ー ボ ン ド 建 設</td> <td rowspan="3">SS-V ジョイント(歩道用)</td> <td>SS-V, SS-20V, 30V</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>37.8~39.3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AI ジョイント</td> <td>AIJ-20, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>42.3~44.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SBH ジョイント</td> <td>SBH-40</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>40</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>40.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SBH ジョイント</td> <td>SBH-60, 80</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~80</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>53.8~60.1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。</p>				製 作 社 名	伸 縮 装 置 名 称	伸 縮 装 置 型 番	【 用 途 関 係 】				【 構 造 関 係 】										特 殊 型 格 子 組 合 用	備 考	歩 車 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応	設 置 方 向	道 路 横 断 方 向	伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	分 類	本 体 後 継 ぎ 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	ア ナ カ ワ 工 業	エースジョイント	B-50, 80, 120, 50R, 70R	○		○	○	50~120	○	14.9~15.2	52.0~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		MF-35, 50-I	○		○	○	35~50	○	9.4	39.1~39.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		MF-60, 70, 80, 100, 120, 135-I	○		○	○	60~135	○	9.4	54.0~86.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		橋 梁 メ カ ニ カ ス	KMS ジョイント	KMS II-20, 35, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	63.0~86.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板別途	KMA-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	9.4~13.5	61.9~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	KMA II-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	14.1~29.1	51.1~165.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	シ ョ ー ボ ン ド 建 設	シーベックジョイント	SP-60, 80, 110, 160KMA	○	○	○	○	60~160	○	13.4~14.4	104.4~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		TR-50	○	○	○	○	50	○	2.0	13.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		SS-V ジョイント	SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	55.0~56.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		シ ョ ー ボ ン ド 建 設	ST ジョイント	SS-40V	○	○	○	○	40	○	6.2	67.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		ST-20N, 30N, 40N, 50N, 60N, 80N	○	○	○	○	20~80	○	6.2~9.4	54.2~156.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		ST-80G	○	○	○	○	80	○	9.4	162.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板付き	シ ョ ー ボ ン ド 建 設	グライディングジョイント	GLH-20, 30, 40, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	140.5~166.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	SMJ-20, 30, 50, 70, 100	○	○	○	○	20~100	○	6.2	61.1~129.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#	VM ジョイント	VM	○	○	○	○	20	○	6.2	31.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鉛直伸縮量 20mm	シ ョ ー ボ ン ド 建 設	SS-V ジョイント(歩道用)	SS-V, SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	37.8~39.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		AI ジョイント	AIJ-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	4.0	42.3~44.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		SBH ジョイント	SBH-40	○	○	○	○	40	○	4.0	40.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		SBH ジョイント	SBH-60, 80	○	○	○	○	60~80	○	4.0	53.8~60.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>メーカー規格変更に伴う表の修正</p>			
製 作 社 名	伸 縮 装 置 名 称	伸 縮 装 置 型 番	【 用 途 関 係 】				【 構 造 関 係 】										特 殊 型 格 子 組 合 用	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			歩 車 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応	設 置 方 向	道 路 横 断 方 向	伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	分 類	本 体 後 継 ぎ 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式			本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ア ナ カ ワ 工 業	エースジョイント	B-50, 80, 120, 50R, 70R	○		○	○	50~120	○	14.9~15.2	52.0~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		MF-35, 50-I	○		○	○	35~50	○	9.4	39.1~39.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		MF-60, 70, 80, 100, 120, 135-I	○		○	○	60~135	○	9.4	54.0~86.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
橋 梁 メ カ ニ カ ス	KMS ジョイント	KMS II-20, 35, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	63.0~86.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		KMA-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	9.4~13.5	61.9~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		KMA II-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	14.1~29.1	51.1~165.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	シーベックジョイント	SP-60, 80, 110, 160KMA	○	○	○	○	60~160	○	13.4~14.4	104.4~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		TR-50	○	○	○	○	50	○	2.0	13.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		SS-V ジョイント	SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	55.0~56.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	ST ジョイント	SS-40V	○	○	○	○	40	○	6.2	67.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		ST-20N, 30N, 40N, 50N, 60N, 80N	○	○	○	○	20~80	○	6.2~9.4	54.2~156.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		ST-80G	○	○	○	○	80	○	9.4	162.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	グライディングジョイント	GLH-20, 30, 40, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	140.5~166.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		SMJ-20, 30, 50, 70, 100	○	○	○	○	20~100	○	6.2	61.1~129.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		VM ジョイント	VM	○	○	○	○	20	○	6.2	31.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鉛直伸縮量 20mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	SS-V ジョイント(歩道用)	SS-V, SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	37.8~39.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		AI ジョイント	AIJ-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	4.0	42.3~44.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		SBH ジョイント	SBH-40	○	○	○	○	40	○	4.0	40.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
SBH ジョイント	SBH-60, 80	○	○	○	○	60~80	○	4.0	53.8~60.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
製 作 社 名	伸 縮 装 置 名 称	伸 縮 装 置 型 番	【 用 途 関 係 】				【 構 造 関 係 】										特 殊 型 格 子 組 合 用	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			歩 車 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応	設 置 方 向	道 路 横 断 方 向	伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構 造	補 強 筋 重 量 (kg/m)	※ 本 体 重 量 (kg/1.8m)	分 類	本 体 後 継 ぎ 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式			本 体 溶 接 済 型 形 式	本 体 溶 接 済 型 形 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ア ナ カ ワ 工 業	エースジョイント	B-50, 80, 120, 50R, 70R	○		○	○	50~120	○	14.9~15.2	52.0~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		MF-35, 50-I	○		○	○	35~50	○	9.4	39.1~39.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		MF-60, 70, 80, 100, 120, 135-I	○		○	○	60~135	○	9.4	54.0~86.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
橋 梁 メ カ ニ カ ス	KMS ジョイント	KMS II-20, 35, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	63.0~86.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		KMA-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	9.4~13.5	61.9~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		KMA II-60, 80, 110, 160	○	○	○	○	60~160	○	14.1~29.1	51.1~165.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	シーベックジョイント	SP-60, 80, 110, 160KMA	○	○	○	○	60~160	○	13.4~14.4	104.4~180.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		TR-50	○	○	○	○	50	○	2.0	13.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		SS-V ジョイント	SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	55.0~56.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	ST ジョイント	SS-40V	○	○	○	○	40	○	6.2	67.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		ST-20N, 30N, 40N, 50N, 60N, 80N	○	○	○	○	20~80	○	6.2~9.4	54.2~156.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		ST-80G	○	○	○	○	80	○	9.4	162.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	誘導板付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	グライディングジョイント	GLH-20, 30, 40, 50	○	○	○	○	20~50	○	6.2	140.5~166.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		SMJ-20, 30, 50, 70, 100	○	○	○	○	20~100	○	6.2	61.1~129.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		VM ジョイント	VM	○	○	○	○	20	○	6.2	31.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鉛直伸縮量 20mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
シ ョ ー ボ ン ド 建 設	SS-V ジョイント(歩道用)	SS-V, SS-20V, 30V	○	○	○	○	20~30	○	6.2	37.8~39.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		AI ジョイント	AIJ-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	4.0	42.3~44.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		SBH ジョイント	SBH-40	○	○	○	○	40	○	4.0	40.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
SBH ジョイント	SBH-60, 80	○	○	○	○	60~80	○	4.0	53.8~60.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
積算上の注意事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

改 定 理 由	一 部 改 定		改 定		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	現	行	改	定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
積算上の注意事項	<p style="text-align: center;"><参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">製 作 社 名</th> <th colspan="2">伸 縮 装 置</th> <th colspan="4">【 用 途 関 係 】</th> <th rowspan="2">伸 縮 量 (mm)</th> <th rowspan="2">非 排 水 構造 (kg/m)</th> <th rowspan="2">補 強 鉄 筋 重量 (kg/1.8m)</th> <th colspan="3">【 構 造 関 係 】</th> <th rowspan="2">特 殊 型 格 使用</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>型 番</th> <th>歩 道 区 分</th> <th>積 雪 地 帯 対 応</th> <th>設 置 方 向</th> <th>遊 歩 部 状 態</th> <th>分 類</th> <th>形 式</th> <th>本 体 材 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">中 外 道 路</td> <td>ボイスワイドジョイント</td> <td>SP-20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~220</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>82.8~118.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>スーパーサイドアップジョイント</td> <td>SP-20, 25, 30, 35, 40</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~80</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>50.4~70.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>スーパーサイドアップジョイント R型</td> <td>SP-80, 125, 150, 175, 200</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>100~200</td> <td>○</td> <td>12.5</td> <td>82.8~169.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>スーパーサイドアップジョイント R型</td> <td>SP-80, 125, 150, 175, 200</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~80</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>50.4~70.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルガーゴイルジョイント</td> <td>MT-60R1, 80R1, 100R1, 120R1, 150R1, 180R1, 200R1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~70</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>59.4~138.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>メタルガーゴイルジョイント</td> <td>MT-60R1, 80R1, 100R1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~100</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>73.8~167.4</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>NAジョイント</td> <td>NA-30F, 35F</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>52.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>C.G.スチールジョイント</td> <td>SC-30F, 35F, 40F, 50F, 60F</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~60</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>50.4~79.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルプレートジョイント</td> <td>MP-35, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~50</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>79.2~82.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルプレートジョイント</td> <td>MP-35, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~60</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>72.0~84.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">秩 父 産 業</td> <td>ダブルスジョイント</td> <td>DB-20, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~60</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>41.4~46.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>ダブルスジョイント</td> <td>DB-20</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>36.7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>P.C.継ぎ目ジョイント</td> <td>PC-20, 25, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~35</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>41.4~45.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30, 40, 50, 60, 70 (1/2スリット)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~70</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>85.2~177.4</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ゴム補付き</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~60</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>88.9~151.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>片側誘導板・ゴム補付き</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~60</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>92.5~154.9</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>両側誘導板・ゴム補付き</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>41.4~42.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30, 40, 50, 60, 70</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~70</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>54.6~101.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 120, 150</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~150</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>82.7~139.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-40, 50, 60, 70, 80, 90</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>40~170</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>77.5~105.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。</p>		製 作 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】				伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構造 (kg/m)	補 強 鉄 筋 重量 (kg/1.8m)	【 構 造 関 係 】			特 殊 型 格 使用	備 考	名 称	型 番	歩 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応	設 置 方 向	遊 歩 部 状 態	分 類	形 式	本 体 材 質	中 外 道 路	ボイスワイドジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85	○	○	○	○	20~220	○	4.0	82.8~118.8	○	○	○	橋渡板別途	スーパーサイドアップジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	100~200	○	12.5	82.8~169.2	○	○	○	#	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1, 120R1, 150R1, 180R1, 200R1	○	○	○	○	20~70	○	8.0	59.4~138.6	○	○	○	橋渡板別途	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1	○	○	○	○	60~100	○	8.0	73.8~167.4	○	○	○	#	NAジョイント	NA-30F, 35F	○	○	○	○	20~30	○	4.0	52.2	○	○	○	#	C.G.スチールジョイント	SC-30F, 35F, 40F, 50F, 60F	○	○	○	○	20~60	○	8.0	50.4~79.2	○	○	○	#	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~50	○	9.4	79.2~82.8	○	○	○	#	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~60	○	9.4	72.0~84.6	○	○	○	#	秩 父 産 業	ダブルスジョイント	DB-20, 30	○	○	○	○	35~60	○	4.0	41.4~46.8	○	○	○	橋渡板別途	ダブルスジョイント	DB-20	○	○	○	○	20	○	4.0	36.7	○	○	○	#	P.C.継ぎ目ジョイント	PC-20, 25, 30	○	○	○	○	20~35	○	4.0	41.4~45.0	○	○	○	#	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70 (1/2スリット)	○	○	○	○	20~70	○	6.2	85.2~177.4	○	○	○	ゴム補付き	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	88.9~151.2	○	○	○	片側誘導板・ゴム補付き	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	92.5~154.9	○	○	○	両側誘導板・ゴム補付き	メタルジョイント	MC-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	6.2	41.4~42.6	○	○	○	#	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70	○	○	○	○	20~70	○	6.2	54.6~101.2	○	○	○	橋渡板別途	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 120, 150	○	○	○	○	20~150	○	6.2	82.7~139.0	○	○	○	#	メタルジョイント	MC-40, 50, 60, 70, 80, 90	○	○	○	○	40~170	○	6.2	77.5~105.8	○	○	○	#	<p style="text-align: center;"><参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">製 作 社 名</th> <th colspan="2">伸 縮 装 置</th> <th colspan="4">【 用 途 関 係 】</th> <th rowspan="2">伸 縮 量 (mm)</th> <th rowspan="2">非 排 水 構造 (kg/m)</th> <th rowspan="2">補 強 鉄 筋 重量 (kg/1.8m)</th> <th colspan="3">【 構 造 関 係 】</th> <th rowspan="2">特 殊 型 格 使用</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>型 番</th> <th>歩 道 区 分</th> <th>積 雪 地 帯 対 応</th> <th>設 置 方 向</th> <th>遊 歩 部 状 態</th> <th>分 類</th> <th>形 式</th> <th>本 体 材 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">中 外 道 路</td> <td>ボイスワイドジョイント</td> <td>SP-20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~220</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>82.8~118.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>スーパーサイドアップジョイント</td> <td>SP-20, 25, 30, 35, 40</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~80</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>50.4~70.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>スーパーサイドアップジョイント R型</td> <td>SP-80, 125, 150, 175, 200</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>100~200</td> <td>○</td> <td>12.5</td> <td>82.8~169.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>スーパーサイドアップジョイント R型</td> <td>SP-80, 125, 150, 175, 200</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~80</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>50.4~70.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルガーゴイルジョイント</td> <td>MT-60R1, 80R1, 100R1, 120R1, 150R1, 180R1, 200R1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~70</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>59.4~138.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>メタルガーゴイルジョイント</td> <td>MT-60R1, 80R1, 100R1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>60~100</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>73.8~167.4</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>NAジョイント</td> <td>NA-30F, 35F</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>52.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>C.G.スチールジョイント</td> <td>SC-30F, 35F, 40F, 50F, 60F</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~60</td> <td>○</td> <td>8.0</td> <td>50.4~79.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルプレートジョイント</td> <td>MP-35, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~50</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>79.2~82.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルプレートジョイント</td> <td>MP-35, 50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~60</td> <td>○</td> <td>9.4</td> <td>72.0~84.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">秩 父 産 業</td> <td>ダブルスジョイント</td> <td>DB-20, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>35~60</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>41.4~46.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>ダブルスジョイント</td> <td>DB-20</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>36.7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>P.C.継ぎ目ジョイント</td> <td>PC-20, 25, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~35</td> <td>○</td> <td>4.0</td> <td>41.4~45.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30, 40, 50, 60, 70 (1/2スリット)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~70</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>85.2~177.4</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ゴム補付き</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~60</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>88.9~151.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>片側誘導板・ゴム補付き</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~60</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>92.5~154.9</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>両側誘導板・ゴム補付き</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~30</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>41.4~42.6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30, 40, 50, 60, 70</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~70</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>54.6~101.2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>橋渡板別途</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 120, 150</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>20~150</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>82.7~139.0</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>メタルジョイント</td> <td>MC-40, 50, 60, 70, 80, 90</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>40~170</td> <td>○</td> <td>6.2</td> <td>77.5~105.8</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。</p>		製 作 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】				伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構造 (kg/m)	補 強 鉄 筋 重量 (kg/1.8m)	【 構 造 関 係 】			特 殊 型 格 使用	備 考	名 称	型 番	歩 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応	設 置 方 向	遊 歩 部 状 態	分 類	形 式	本 体 材 質	中 外 道 路	ボイスワイドジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85	○	○	○	○	20~220	○	4.0	82.8~118.8	○	○	○	橋渡板別途	スーパーサイドアップジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	100~200	○	12.5	82.8~169.2	○	○	○	#	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1, 120R1, 150R1, 180R1, 200R1	○	○	○	○	20~70	○	8.0	59.4~138.6	○	○	○	橋渡板別途	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1	○	○	○	○	60~100	○	8.0	73.8~167.4	○	○	○	#	NAジョイント	NA-30F, 35F	○	○	○	○	20~30	○	4.0	52.2	○	○	○	#	C.G.スチールジョイント	SC-30F, 35F, 40F, 50F, 60F	○	○	○	○	20~60	○	8.0	50.4~79.2	○	○	○	#	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~50	○	9.4	79.2~82.8	○	○	○	#	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~60	○	9.4	72.0~84.6	○	○	○	#	秩 父 産 業	ダブルスジョイント	DB-20, 30	○	○	○	○	35~60	○	4.0	41.4~46.8	○	○	○	橋渡板別途	ダブルスジョイント	DB-20	○	○	○	○	20	○	4.0	36.7	○	○	○	#	P.C.継ぎ目ジョイント	PC-20, 25, 30	○	○	○	○	20~35	○	4.0	41.4~45.0	○	○	○	#	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70 (1/2スリット)	○	○	○	○	20~70	○	6.2	85.2~177.4	○	○	○	ゴム補付き	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	88.9~151.2	○	○	○	片側誘導板・ゴム補付き	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	92.5~154.9	○	○	○	両側誘導板・ゴム補付き	メタルジョイント	MC-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	6.2	41.4~42.6	○	○	○	#	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70	○	○	○	○	20~70	○	6.2	54.6~101.2	○	○	○	橋渡板別途	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 120, 150	○	○	○	○	20~150	○	6.2	82.7~139.0	○	○	○	#	メタルジョイント	MC-40, 50, 60, 70, 80, 90	○	○	○	○	40~170	○	6.2	77.5~105.8	○	○	○	#	<p style="text-align: center;">メーカー規格変更に伴う表の修正</p>
				製 作 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】						伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構造 (kg/m)	補 強 鉄 筋 重量 (kg/1.8m)			【 構 造 関 係 】			特 殊 型 格 使用	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
名 称	型 番	歩 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応		設 置 方 向	遊 歩 部 状 態	分 類	形 式	本 体 材 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
中 外 道 路	ボイスワイドジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85	○	○	○	○	20~220	○	4.0	82.8~118.8	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	スーパーサイドアップジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	100~200	○	12.5	82.8~169.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1, 120R1, 150R1, 180R1, 200R1	○	○	○	○	20~70	○	8.0	59.4~138.6	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1	○	○	○	○	60~100	○	8.0	73.8~167.4	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	NAジョイント	NA-30F, 35F	○	○	○	○	20~30	○	4.0	52.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	C.G.スチールジョイント	SC-30F, 35F, 40F, 50F, 60F	○	○	○	○	20~60	○	8.0	50.4~79.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~50	○	9.4	79.2~82.8	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~60	○	9.4	72.0~84.6	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
秩 父 産 業	ダブルスジョイント	DB-20, 30	○	○	○	○	35~60	○	4.0	41.4~46.8	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	ダブルスジョイント	DB-20	○	○	○	○	20	○	4.0	36.7	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	P.C.継ぎ目ジョイント	PC-20, 25, 30	○	○	○	○	20~35	○	4.0	41.4~45.0	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70 (1/2スリット)	○	○	○	○	20~70	○	6.2	85.2~177.4	○	○	○	ゴム補付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	88.9~151.2	○	○	○	片側誘導板・ゴム補付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	92.5~154.9	○	○	○	両側誘導板・ゴム補付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	6.2	41.4~42.6	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70	○	○	○	○	20~70	○	6.2	54.6~101.2	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 120, 150	○	○	○	○	20~150	○	6.2	82.7~139.0	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-40, 50, 60, 70, 80, 90	○	○	○	○	40~170	○	6.2	77.5~105.8	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
製 作 社 名	伸 縮 装 置		【 用 途 関 係 】				伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構造 (kg/m)	補 強 鉄 筋 重量 (kg/1.8m)	【 構 造 関 係 】			特 殊 型 格 使用	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	名 称	型 番	歩 道 区 分	積 雪 地 帯 対 応	設 置 方 向	遊 歩 部 状 態				分 類	形 式	本 体 材 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
中 外 道 路	ボイスワイドジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85	○	○	○	○	20~220	○	4.0	82.8~118.8	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	スーパーサイドアップジョイント	SP-20, 25, 30, 35, 40	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	100~200	○	12.5	82.8~169.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	スーパーサイドアップジョイント R型	SP-80, 125, 150, 175, 200	○	○	○	○	20~80	○	8.0	50.4~70.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1, 120R1, 150R1, 180R1, 200R1	○	○	○	○	20~70	○	8.0	59.4~138.6	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルガーゴイルジョイント	MT-60R1, 80R1, 100R1	○	○	○	○	60~100	○	8.0	73.8~167.4	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	NAジョイント	NA-30F, 35F	○	○	○	○	20~30	○	4.0	52.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	C.G.スチールジョイント	SC-30F, 35F, 40F, 50F, 60F	○	○	○	○	20~60	○	8.0	50.4~79.2	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~50	○	9.4	79.2~82.8	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルプレートジョイント	MP-35, 50	○	○	○	○	35~60	○	9.4	72.0~84.6	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
秩 父 産 業	ダブルスジョイント	DB-20, 30	○	○	○	○	35~60	○	4.0	41.4~46.8	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	ダブルスジョイント	DB-20	○	○	○	○	20	○	4.0	36.7	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	P.C.継ぎ目ジョイント	PC-20, 25, 30	○	○	○	○	20~35	○	4.0	41.4~45.0	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70 (1/2スリット)	○	○	○	○	20~70	○	6.2	85.2~177.4	○	○	○	ゴム補付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	88.9~151.2	○	○	○	片側誘導板・ゴム補付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20R, 30R, 40R, 50R, 60R (1/2スリット)	○	○	○	○	20~60	○	6.2	92.5~154.9	○	○	○	両側誘導板・ゴム補付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30	○	○	○	○	20~30	○	6.2	41.4~42.6	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70	○	○	○	○	20~70	○	6.2	54.6~101.2	○	○	○	橋渡板別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 120, 150	○	○	○	○	20~150	○	6.2	82.7~139.0	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	メタルジョイント	MC-40, 50, 60, 70, 80, 90	○	○	○	○	40~170	○	6.2	77.5~105.8	○	○	○	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
積算上の注意事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																																		
現 行	改 定	備 考																																																		
<p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.3 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>記 号</th> <th>樹脂モルタル 舗 装 工 (100㎡以上)</th> <th>景観透水性 舗 装 工 (100㎡以上)</th> <th>樹脂系すべり 止め舗装工 (200㎡以上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加 算 率</td> <td>S₀</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>(50㎡以上～ 100㎡未満) 5%</td> <td>(50㎡以上～ 100㎡未満) 5%</td> <td>(100㎡以上～ 200㎡未満) 5%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>(50㎡未満) 20%</td> <td>(50㎡未満) 20%</td> <td>(100㎡未満) 20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補 正 係 数</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>K₂</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>K₃</td> <td>1.25</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K₄</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>K₅</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K_i) が重複する場合は、施工規模加算率のみ対象とする。 2. 階段ステップ部の補正を行った場合は、施工規模加算率は適用しない。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価 (注) ×設計数量 (注)設計単価＝標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂×……×K_n)</p> </div> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 共通事項 1) 各区分の工法は次のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 工法の内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>目 地 模 様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂モルタル 舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。</td> </tr> <tr> <td>景観透水性 舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を使用し、モルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。</td> </tr> <tr> <td>樹脂系すべり 止め舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 下地は標準状態とし、はつり、サンダー掛け、錆落とし及び不陸整正のための下地調整を含まないものとする。下地調整を必要とする場合は、別途計上する。(下地処理とは、施工面にあるゴミ・泥・ほこりなどを除去する簡単な作業をいう。) 3) 斜路部の施工は、階段ステップ部の補正を適用しない。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-⑩-3</p>				区 分	記 号	樹脂モルタル 舗 装 工 (100㎡以上)	景観透水性 舗 装 工 (100㎡以上)	樹脂系すべり 止め舗装工 (200㎡以上)	加 算 率	S ₀	0%	0%	0%	S ₁	(50㎡以上～ 100㎡未満) 5%	(50㎡以上～ 100㎡未満) 5%	(100㎡以上～ 200㎡未満) 5%	S ₂	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%	補 正 係 数	K ₁	1.05	1.05	1.05	K ₂	1.10	1.10	1.10	K ₃	1.25	—	—	K ₄	—	—	0.90	K ₅	—	—	1.10	区 分	目 地 模 様	樹脂モルタル 舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。	景観透水性 舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を使用し、モルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。	樹脂系すべり 止め舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。	<p>現行どおり</p> <p>3. 既設アスファルト舗装面の施工 (K4) の補正は、既設アスファルト面に薄層カラー舗装を施工する場合であり、切削オーバーレイや打ち換え等、舗装面が施工直後の場合、補正を行わない。</p> <p>現行どおり</p>	<p>適用の範囲を追加</p>
区 分	記 号	樹脂モルタル 舗 装 工 (100㎡以上)	景観透水性 舗 装 工 (100㎡以上)	樹脂系すべり 止め舗装工 (200㎡以上)																																																
加 算 率	S ₀	0%	0%	0%																																																
	S ₁	(50㎡以上～ 100㎡未満) 5%	(50㎡以上～ 100㎡未満) 5%	(100㎡以上～ 200㎡未満) 5%																																																
	S ₂	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%																																																
補 正 係 数	K ₁	1.05	1.05	1.05																																																
	K ₂	1.10	1.10	1.10																																																
	K ₃	1.25	—	—																																																
	K ₄	—	—	0.90																																																
	K ₅	—	—	1.10																																																
区 分	目 地 模 様																																																			
樹脂モルタル 舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。																																																			
景観透水性 舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を使用し、モルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。																																																			
樹脂系すべり 止め舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。																																																			
積算上の注意事項																																																				

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行																																																																							
現	行	改	定																																																																						
<p>⑫ 道路標識設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、市場単価方式による道路標識設置工に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 道路標識の標識柱設置、標識板設置及びコンクリート基礎設置工事 (2) 道路標識の標識柱撤去、標識板撤去及びコンクリート基礎撤去工事 (3) 道路標識の更新工事 <p>1-2 市場単価を適用できない範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの 1) 内部照明式の標識板の設置及び撤去工事 2) 外部照明式の標識板と照明設備の設置及び撤去工事 3) 道路標識における基礎工事のうち基礎杭の設置及び撤去工事 (2) 特別調査等別途考慮するもの 1) 道路管理者以外が行う標識工事 2) 着雪防止板の設置及び撤去 3) 標識柱・基礎設置（路側式）で、白色、景観色（標準3色）以外の塗装色製品を購入し設置する場合 4) 道路標識における基礎工事のうち岩掘削を必要とする工事 5) 標識柱の基礎がコンクリート以外（鋼管基礎など）の場合 6) 道路照明柱を設け、撤去する場合 7) 標識板設置において、部分補修（リベット止め、シール貼りなど）の場合 8) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合 9) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合 <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機労材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> <th rowspan="2">床 掘り</th> <th rowspan="2">基 礎 砕 石</th> <th rowspan="2">型 枠 鉄 筋</th> <th rowspan="2">建 柱</th> <th rowspan="2">ア ン カ ー ボ ルト 設 置</th> <th rowspan="2">コ ン ク リ ート 打 設</th> <th rowspan="2">埋 戻 し</th> <th rowspan="2">建 柱</th> <th rowspan="2">標 識 板 取 付</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>標識柱・基礎設置 (路側式) [単柱式・複柱式]</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 型枠は、スバイラル形式を含む。 2. 舗装版破砕及び撤去、土留に要する費用、舗装版復旧、残土運搬及び残土処分等は含まない。 3. 特殊養生、雪寒囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> <th rowspan="2">床 掘り</th> <th rowspan="2">基 礎 砕 石</th> <th rowspan="2">型 枠 鉄 筋</th> <th rowspan="2">ア ン カ ー ボ ルト 設 置</th> <th rowspan="2">コ ン ク リ ート 打 設</th> <th rowspan="2">埋 戻 し</th> <th rowspan="2">建 柱</th> <th rowspan="2">標 識 板 取 付</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>標識柱設置 (片持式・門型式)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. アンカーボルトの設置手間は含むが、材料費は加算額を加算する。</p>		工 種	市場単価			機	労	材	床 掘り	基 礎 砕 石	型 枠 鉄 筋	建 柱	ア ン カ ー ボ ルト 設 置	コ ン ク リ ート 打 設	埋 戻 し	建 柱	標 識 板 取 付	機	労	材	標識柱・基礎設置 (路側式) [単柱式・複柱式]	○	○	○	○	○	○											工 種	市場単価			機	労	材	床 掘り	基 礎 砕 石	型 枠 鉄 筋	ア ン カ ー ボ ルト 設 置	コ ン ク リ ート 打 設	埋 戻 し	建 柱	標 識 板 取 付	機	労	材	標識柱設置 (片持式・門型式)	○	○	×	○	○	○									<p>⑫ 道路標識設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、市場単価方式による道路標識設置工に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 道路標識の標識柱設置、標識板設置及びコンクリート基礎設置工事 (2) 道路標識の標識柱撤去、標識板撤去及びコンクリート基礎撤去工事 (3) 道路標識の更新工事 <p>1-2 市場単価を適用できない範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの 1) 内部照明式の標識板の設置及び撤去工事 2) 外部照明式の標識板と照明設備の設置及び撤去工事 3) 道路標識における基礎工事のうち基礎杭の設置及び撤去工事 (2) 特別調査等別途考慮するもの 1) 道路管理者以外が行う標識工事 2) 着雪防止板の設置及び撤去 3) 標識柱・基礎設置（路側式）で、白色、景観色（標準3色）以外の塗装色製品を購入し設置する場合 4) 道路標識における基礎工事のうち岩掘削を必要とする工事 5) 標識柱の基礎がコンクリート以外（鋼管基礎など）の場合 6) 道路照明柱を設置、撤去する場合 7) 標識板設置において、撤去構造で固定する標識板の場合 8) 標識板設置において、部分補修（リベット止め、シール貼りなど）の場合 9) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合 10) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合 	<p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p>	<p>適用範囲の明確化</p>
工 種	市場単価			機	労													材	床 掘り	基 礎 砕 石	型 枠 鉄 筋	建 柱	ア ン カ ー ボ ルト 設 置	コ ン ク リ ート 打 設	埋 戻 し	建 柱	標 識 板 取 付																																														
	機	労	材																																																																						
標識柱・基礎設置 (路側式) [単柱式・複柱式]	○	○	○	○	○	○																																																																			
工 種	市場単価			機	労	材	床 掘り	基 礎 砕 石	型 枠 鉄 筋	ア ン カ ー ボ ルト 設 置	コ ン ク リ ート 打 設	埋 戻 し	建 柱	標 識 板 取 付																																																											
	機	労	材																																																																						
標識柱設置 (片持式・門型式)	○	○	×	○	○	○																																																																			
積算上の注意事項																																																																									

改 定 理 由	一部改定	改 定 — 現 行	
---------	------	-----------------	--

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

2. 型枠は、スパイラル形式を含む。
 3. 舗装版破砕及び撤去、土留に要する費用、舗装版復旧、残土運搬及び残土処分等は含まない。
 4. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。

工 種	市場単価	機 労 材			標 識 板 取 付
		機	労	材	
案内標識 〔〔路線番号除く〕〕	○ ○ ○	○	○	○	
標識板設置 警戒・規制・指示・ 路線番号標識	○ ○ ×	○	○	×	

(注) 1. 案内標識板設置で、クランプ型ブラケットを使用する場合は、材料費を別途計上すること。
 2. 路線番号は、国道番号(118)、都道府県番号(118の2)に適用する。なお、「118、118の2」は「道路標識設置基準・同解説(社団法人 日本道路協会)」による。

工 種	市場単価	機 労 材			金 具 取 付	標 識 板 取 付
		機	労	材		
添架式標識板 照明柱	○ ○ ○	○	○	○		
取付金具設置 既設標識柱	○ ○ ×	○	○	×		
歩道橋	○ ○ ×	○	○	×		

(注) 既設標識柱への設置は、支柱部に設置する場合のみ適用する。

工 種	市場単価	機 労 材			床 掘り	標識柱撤去	基礎コンクリート撤去	埋 戻し
		機	労	材				
標識柱・基礎撤去 (単柱式・複柱式)	○ ○ /	○	○	/				

(注) 1. 撤去後において、撤去柱は仮置きまで、撤去コンクリートは積みみまでとし、ともに処分費は含まない。
 2. 舗装版破砕及び撤去、土留に要する費用、舗装版復旧、残土運搬及び残土処分等は含まない。

工 種	市場単価	機 労 材			床 掘り	標識柱撤去	基礎コンクリート撤去	埋 戻し
		機	労	材				
標識柱撤去 (片持式・門型式)	○ ○ /	○	○	/				

(注) 撤去後において、撤去柱は仮置きまでとし、処分費は含まない。

工 種	市場単価	機 労 材			床 掘り	標識柱撤去	基礎コンクリート撤去	埋 戻し
		機	労	材				
標識基礎撤去 (片持式・門型式)	○ ○ /	○	○	/				

(注) 1. 撤去後において、撤去コンクリートは積みみまでとし、処分費は含まない。
 2. 舗装版破砕及び撤去、土留に要する費用、舗装版復旧、残土運搬及び残土処分等は含まない。

VI-1-⑫-2

現行どおり

工 種	市場単価	機 労 材			標 識 板 取 付
		機	労	材	
案内標識 (新設) 〔〔路線番号除く〕〕	○ ○ ○	○	○	○	
案内標識 (移設) 〔〔路線番号除く〕〕	○ ○ ×	○	○	×	
警戒・規制・指示・ 路線番号標識	○ ○ ×	○	○	×	

(注) 1. 案内標識 (新設)〔〔路線番号除く〕〕で、クランプ型ブラケットを使用する場合は、材料費を別途計上すること。
 2. 路線番号は、国道番号(118)、都道府県番号(118の2)に適用する。なお、「118、118の2」は「道路標識設置基準・同解説(公益社団法人 日本道路協会)」による。

移設する場合の単価を設定

積算上の注意事項			
----------	--	--	--

改 定 理 由	一部改定	改 定 — 現 行																																																																						
現	行	改	定																																																																					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th colspan="2">工 種</th> <th colspan="2">市場単価</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">標識板撤去</td> <td>案内標識 ((路線番号除く))</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>警戒・規制・指示 ・路線番号標識</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>(注) 撤去後において、撤去板は仮置きまでとし、処分費は含まない。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th colspan="2">工 種</th> <th colspan="2">市場単価</th> <th rowspan="2">標識板撤去</th> <th rowspan="2">金 具 撤 去</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">標識板撤去</td> <td>案内標識 ((路線番号除く))</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>案内標識 ((路線番号除く))</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 撤去後において、撤去板及び撤去金具は仮置きまでとし、処分費は含まない。</p> </div> </div> <p>2-2 市場単価の規格・仕様</p>		工 種		市場単価		標識板撤去	案内標識 ((路線番号除く))	○	○	警戒・規制・指示 ・路線番号標識	○	○	工 種		市場単価		標識板撤去	金 具 撤 去	標識板撤去	案内標識 ((路線番号除く))	○	○	案内標識 ((路線番号除く))	○	○			<p>現行どおり</p>																																												
工 種		市場単価																																																																						
標識板撤去	案内標識 ((路線番号除く))	○	○																																																																					
	警戒・規制・指示 ・路線番号標識	○	○																																																																					
工 種		市場単価		標識板撤去	金 具 撤 去																																																																			
標識板撤去	案内標識 ((路線番号除く))	○	○																																																																					
	案内標識 ((路線番号除く))	○	○																																																																					
<p>2-2 市場単価の規格・仕様</p> <p style="color: red; font-size: 8px;">2-2 市場単価の規格・仕様 <u>道路標識設置工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。</u></p>		<p>現行どおり</p>																																																																						
<p style="text-align: center;">表2.1 標識柱・基礎設置(路側式(単柱式))</p> <table border="1" style="font-size: 8px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規 格 ・ 仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">標識柱・基礎設置 路側式 《材工共》</td> <td rowspan="10">単柱式 支柱材料含む 基礎含む 標識板別途計上</td> <td rowspan="4">メッキ品</td> <td>柱径 φ 60.5</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 76.3</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 89.1</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 101.6</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">下地亜鉛メッキ +静電粉体塗装(白色)</td> <td rowspan="2">静電粉体塗装(白色)</td> <td>柱径 φ 60.5</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 76.3</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 89.1</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 60.5</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 76.3</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 89.1</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2.2 標識柱・基礎設置(路側式(複柱式))</p> <table border="1" style="font-size: 8px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規 格 ・ 仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">標識柱・基礎設置 路側式 《材工共》</td> <td rowspan="10">複柱式 支柱材料含む 基礎含む 標識板別途計上</td> <td rowspan="4">メッキ品</td> <td>柱径 φ 60.5</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 76.3</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 89.1</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 101.6</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">下地亜鉛メッキ +静電粉体塗装(白色)</td> <td rowspan="2">静電粉体塗装(白色)</td> <td>柱径 φ 60.5</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 76.3</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 89.1</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 60.5</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 76.3</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>柱径 φ 89.1</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2.3 標識柱設置(片持式)</p> <table border="1" style="font-size: 8px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規 格 ・ 仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">標識柱 設 置 片持式</td> <td>《材料費》</td> <td>メッキ品 アンカーボルト含まず</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>《設置手間》</td> <td>1基当りの総質量</td> <td>400kg未満 基 400kg以上 基</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位	標識柱・基礎設置 路側式 《材工共》	単柱式 支柱材料含む 基礎含む 標識板別途計上	メッキ品	柱径 φ 60.5	基	柱径 φ 76.3	基	柱径 φ 89.1	基	柱径 φ 101.6	基	下地亜鉛メッキ +静電粉体塗装(白色)	静電粉体塗装(白色)	柱径 φ 60.5	基	柱径 φ 76.3	基	柱径 φ 89.1	基	柱径 φ 60.5	基	柱径 φ 76.3	基	柱径 φ 89.1	基	区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位	標識柱・基礎設置 路側式 《材工共》	複柱式 支柱材料含む 基礎含む 標識板別途計上	メッキ品	柱径 φ 60.5	基	柱径 φ 76.3	基	柱径 φ 89.1	基	柱径 φ 101.6	基	下地亜鉛メッキ +静電粉体塗装(白色)	静電粉体塗装(白色)	柱径 φ 60.5	基	柱径 φ 76.3	基	柱径 φ 89.1	基	柱径 φ 60.5	基	柱径 φ 76.3	基	柱径 φ 89.1	基	区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位	標識柱 設 置 片持式	《材料費》	メッキ品 アンカーボルト含まず	kg	《設置手間》	1基当りの総質量	400kg未満 基 400kg以上 基	<p>現行どおり</p>	
区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位																																																																					
標識柱・基礎設置 路側式 《材工共》	単柱式 支柱材料含む 基礎含む 標識板別途計上	メッキ品	柱径 φ 60.5	基																																																																				
			柱径 φ 76.3	基																																																																				
			柱径 φ 89.1	基																																																																				
			柱径 φ 101.6	基																																																																				
		下地亜鉛メッキ +静電粉体塗装(白色)	静電粉体塗装(白色)	柱径 φ 60.5	基																																																																			
				柱径 φ 76.3	基																																																																			
			柱径 φ 89.1	基																																																																				
			柱径 φ 60.5	基																																																																				
			柱径 φ 76.3	基																																																																				
			柱径 φ 89.1	基																																																																				
区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位																																																																					
標識柱・基礎設置 路側式 《材工共》	複柱式 支柱材料含む 基礎含む 標識板別途計上	メッキ品	柱径 φ 60.5	基																																																																				
			柱径 φ 76.3	基																																																																				
			柱径 φ 89.1	基																																																																				
			柱径 φ 101.6	基																																																																				
		下地亜鉛メッキ +静電粉体塗装(白色)	静電粉体塗装(白色)	柱径 φ 60.5	基																																																																			
				柱径 φ 76.3	基																																																																			
			柱径 φ 89.1	基																																																																				
			柱径 φ 60.5	基																																																																				
			柱径 φ 76.3	基																																																																				
			柱径 φ 89.1	基																																																																				
区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位																																																																					
標識柱 設 置 片持式	《材料費》	メッキ品 アンカーボルト含まず	kg																																																																					
	《設置手間》	1基当りの総質量	400kg未満 基 400kg以上 基																																																																					
積算上の注意事項																																																																								

語句の追加

改 定 理 由	一部改定	改 定	備 考
		現 行	

現	行	改	定	備 考
---	---	---	---	-----

表2.4 標識柱設置(門型式)

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
標識柱 設置 門型式	《材料費》	メッキ品	アンカーボルト含まず
	《設置手間》 基礎別途計上	1スパンの長さ	10m未満
			10m以上20m未満
			20m以上

表2.5 標識基礎設置(片持式・門型式)

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
標 識 基礎設置 《材工共》	コンクリート基礎 アンカーボルトの 材料費は別途計上	標識柱1基当りの 基礎コンクリート容量	4.0㎡未満
			4.0㎡以上6.0㎡未満
			6.0㎡以上

表2.6 標識板設置(案内標識[路線番号除く])

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
標識板設置 (案内標識) 《材工共》 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式	広角プリズム	1枚当りの面積
			2.0㎡未満
	添架式 取付金具(クラン プ型ブラケットを 除く)を含む	カプセルプリズム・ カプセルレンズ 封入プリズム・封 入レンズ	2.0㎡未満
			2.0㎡以上
			2.0㎡未満

表2.7 標識板設置(警戒・規制・指示・路線番号標識)

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)	《設置手間》 材料費は別途計上	警戒・規制・指示・路線番号標識	基

表2.8 添加式標識板取付金具設置

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
添架式標識板 取付金具設置	《材工共》	信号アーム部に取付	基
		照明柱・既設標識柱に取付	基
	《設置手間》	歩道橋に取付(添架式取付金具材料費は別途計上)	基

(注) 設置する取付金具の基数は、標識板1枚当りの取付金具一式を1基として計上する。
取付金具の数量については、適用にあたっての留意事項3(3)、(5)を参照。

表2.9 路側式標識柱・基礎撤去(単柱式・複柱式)

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
路 側 式	単柱式(基礎含む)	柱径 φ60.5, φ76.3, φ89.1, φ101.6	基
	複柱式(基礎含む)	柱径 φ60.5, φ76.3, φ89.1, φ101.6	基

VI-1-⑫-4

現行どおり

表2.6 標識板設置(案内標識[路線番号除く]・新設)

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
標識板設置 (案内標識) 《材工共》 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式	広角プリズム	1枚当りの面積
			2.0㎡未満
	添架式 取付金具(クラン プ型ブラケットを 除く)を含む	カプセルプリズム・ カプセルレンズ 封入プリズム・封 入レンズ	2.0㎡未満
			2.0㎡以上
			2.0㎡未満

表2.7 標識板設置(案内標識・移設[路線番号除く])

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式	移設	1枚当りの面積
			2.0㎡未満
			2.0㎡以上

表2.8 標識板設置(警戒・規制・指示・路線番号標識)

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)	《設置手間》 材料費は別途計上	警戒・規制・指示・路線番号標識	基

表2.9 添加式標識板取付金具設置

区 分	規 格 ・ 仕 様		単 位
添架式標識板 取付金具設置	《材工共》	信号アーム部に取付	基
		照明柱・既設標識柱に取付	基
	《設置手間》	歩道橋に取付(添架式取付金具材料費は別途計上)	基

(注) 設置する取付金具の基数は、標識板1枚当りの取付金具一式を1基として計上する。
取付金具の数量については、適用にあたっての留意事項3(3)、(5)を参照。

次頁へ移動

移設する場合の単価を設定

連番修正

語句の修正

積算上の注意事項

改定理由	一部改定	改定	備考
		現行	

現行	改定	備考
----	----	----

前頁より移動

表2.10 標識柱撤去(片持式・門型式)			
区分	規格・仕様	単位	備考
片持式	1基当りの総質量(支柱のみ)	400kg未満	基
		400kg以上	基
門型式	1スパン当りの長さ(支柱のみ)	10m未満	基
		10m以上20m未満	基
		20m以上	基

表2.11 標識基礎撤去(片持式・門型式)			
区分	規格・仕様	単位	備考
基礎撤去	コンクリート基礎	m	

表2.12 標識板撤去(路側式・片持式・門型式)			
区分	規格・仕様	単位	備考
標識板撤去(路側式・片持式・門型式) (添架式は除く)	案内標識 (路側式・片持式・門型式)	1枚当りの面積	2.0㎡未満
			2.0㎡以上
	警戒・規制・指示・路線番号標識		基

表2.13 標識板撤去(添架式標識板)			
区分	規格・仕様	単位	備考
標識板撤去(添架式標識板)	添架式標識板取付金具撤去含む	信号アーム部	基
		照明柱・既設標識柱	基
		歩道橋	基

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.14 加算率・補正係数の適用基準				
区分	適用基準	記号	備考	
加算率	標準	S ₀	全体数量	
	施工規模	1工事の施工規模が小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。		S ₁
				S ₂
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	対象数量	
	夜間作業	K ₂		
	障害物のある場合	K ₃		
	門型式標識柱の基礎の場合	K ₄		
	景観色塗装柱の場合	K ₅		

(注) 施工規模加算(S₁)又は(S₂)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。

VI-1-⑫-5

表2.10 路側式標識柱・基礎撤去(単柱式・複柱式)

区分	規格・仕様	単位
路側式	単柱式(基礎含む)	柱径 φ60.5, φ76.3, φ89.1, φ101.6
	複柱式(基礎含む)	柱径 φ60.5, φ76.3, φ89.1, φ101.6

表2.11 標識柱撤去(片持式・門型式)

区分	規格・仕様	単位
片持式	1基当りの総質量(支柱のみ)	400kg未満
		400kg以上
門型式	1スパン当りの長さ(支柱のみ)	10m未満
		10m以上20m未満
		20m以上

表2.12 標識基礎撤去(片持式・門型式)

区分	規格・仕様	単位
基礎撤去	コンクリート基礎	m

表2.13 標識板撤去(路側式・片持式・門型式)

区分	規格・仕様	単位
標識板撤去(添架式は除く)	案内標識 (路側式・片持式・門型式)	1枚当りの面積
	警戒・規制・指示・路線番号標識	基

表2.14 標識板撤去(添架式標識板)

区分	規格・仕様	単位
標識板撤去(添架式標識板)	添架式標識板取付金具撤去含む	信号アーム部
		照明柱・既設標識柱
		歩道橋

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.15 加算率・補正係数の適用基準

区分	適用基準	記号	備考	
加算率	標準	S ₀	全体数量	
	施工規模	1工事の施工規模が小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。		S ₁
				S ₂
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	対象数量	
	夜間作業	K ₂		
	障害物のある場合	K ₃		
	門型式標識柱の基礎の場合	K ₄		
	景観色塗装柱の場合	K ₅		

次頁へ移動

連番修正

語句の修正

積算上の注意事項	
----------	--

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

前頁より移動

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.15 加算率・補正係数の数値(設置工)

区 分	記号	標識柱・基礎			標識柱		標識板		添架式標識板取付金具		基 礎
		路側式	片持式	門型式	案内	案内以外	信号・照明柱	歩道橋			
加算率	S ₀	5基以上	3基以上	3基以上	—	5基以上	—	—	—	—	—
		0%	0%	0%	—	—	—	—	—	—	—
		3~4基	2基	2基	—	3~4基	—	—	—	—	—
S ₁	15%	40%	40%	—	15%	—	—	—	—	—	
	2基以下	1基	1基	—	2基以下	—	—	—	—	—	
S ₂	25%	100%	100%	—	25%	—	—	—	—	—	
補正係数	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.15	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05
	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.50	1.15	1.25	1.25	1.25	1.25
	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.25
	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.10

(注) 「案内以外」は、警戒・規制・指示・路線番号標識に適用する。

表2.16 加算率・補正係数の数値(撤去工)

区 分	記号	標識柱・基礎			標識柱		標識板		添架式標識板	基 礎
		路側式	片持式	門型式	案内	案内以外				
加算率	S ₀	5基以上	3基以上	3基以上	—	5基以上	—	—	—	—
		0%	0%	0%	—	—	—	—	—	—
		3~4基	2基	2基	—	3~4基	—	—	—	—
S ₁	15%	40%	40%	—	15%	—	—	—	—	
	2基以下	1基	1基	—	2基以下	—	—	—	—	
S ₂	25%	100%	100%	—	25%	—	—	—	—	
補正係数	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05	1.05
	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.30	1.50	1.25	1.35	1.25	1.35

2-4 加算額

表2.17 加算額の適用基準

区 分	適用基準	単位	備考
加算額	曲げ支柱(路側式) (柱の表面の塗装仕様の種別を問わず)	本	対象数量
	標識板の裏面塗装	m ²	
	アンカーボルトの材料価格	kg	
	取付金具の材料価格	段	

VI-1-⑫-6

(注) 施工規模加算(S₁)又は(S₂)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.16 加算率・補正係数の数値(設置工)

区 分	記号	標識柱・基礎			標識柱		標識板		添架式標識板取付金具		基 礎
		路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋		
加算率	S ₀	5基以上	3基以上	3基以上	10㎡以上	10㎡以上	5基以上	—	—	—	—
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	—	—	—	—
		3~4基	2基	2基	10㎡未満	10㎡未満	3~4基	—	—	—	—
S ₁	15%	40%	40%	5%	30%	15%	—	—	—	—	
	2基以下	1基	1基	—	—	2基以下	—	—	—	—	
S ₂	25%	100%	100%	—	—	25%	—	—	—	—	
補正係数	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05	
	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25	1.25	
	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.25	
	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1.10	

(注) 1. 「案内以外」は、警戒・規制・指示・路線番号標識に適用する。
2. 標識板設置の施工規模は、標識板の1枚当りの面積区分によらず1工事の全体数量で判断する。

表2.17 加算率・補正係数の数値(撤去工)

区 分	記号	標識柱・基礎			標識柱		標識板		添架式標識板	基 礎
		路側式	片持式	門型式	案内	案内以外				
加算率	S ₀	5基以上	3基以上	3基以上	10㎡以上	10㎡以上	5基以上	—	—	—
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	—	—	—
		3~4基	2基	2基	10㎡未満	10㎡未満	3~4基	—	—	—
S ₁	15%	40%	40%	30%	15%	15%	—	—	—	
	2基以下	1基	1基	—	2基以下	—	—	—	—	
S ₂	25%	100%	100%	—	25%	—	—	—	—	
補正係数	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05	1.05
	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.25	1.35	1.35

(注) 標識板撤去の施工規模は、標識板の1枚当りの面積区分によらず1工事の全体数量で判断する。

次頁へ移動

移設する場合の単価を設定
施工規模加算を追加

施工規模加算を追加

夜間作業の補正係数を改定

積算上の注意事項

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考																
現 行	改 定																		
前頁より移動	<p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費 = (設計単価) (注1) × (設計数量) + (材料費) (注2) + (加算額総金額) (注3) (注1) 設計単価 = (標準の市場単価) × (1 + S₀ or S₁ or S₂ / 100) × (K₁ × K₂ × …… K_n) ただし、S₁ or S₂ と K₁ は重複使用しない。 (注2) 手間のみの場合のみ、必要に応じて計上する。 (注3) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 (1) 標識柱・基礎設置 路側式(景観色)はダークブラウン、グレーベージュ、ダークグレーの標準3色(近似色含む)に適用する。 オフホワイト(乳白色)は白色、景観色ともに適用外。 門型式はトラス型及び丸パイプ型を標準とする。 片持式及び門型式の標識柱の材料費は、共通仮設費及び現場管理費の対象額に含めない。</p> <p>(2) 標識板設置 警戒標識、規制標識、指示標識、路線番号標識は、設置手間に材料費(標識板及び取付金具)を加算して適用する。また、設置手間は板の枚数及び補助板の有無にかかわらず、1基当たりとして設置手間を適用する。 案内標識は、溶接型ブラケットを標準とする。また溶接型ブラケットは、標識柱の質量に含めて、柱材料費として計上する。 クランプ型ブラケットを使用する場合は、材料費を別途計上する。また設置手間は、案内標識板の設置手間に含まれる。</p> <p>(3) 添架式標識板取付金具設置 歩道橋における添架式標識板取付金具設置は、設置手間に材料費(取付金具)を別途計上して適用する。 照明柱・既設標識柱における取付金具設置は、直付の場合は2段まで、補助支柱と共架金具等を併用する場合は、共架金具1段(補助支柱含む)までの材料費を含む。設置費は、取付金具の段数・種類にかかわらず標識板1枚分を含む。</p> <p>(4) 基礎設置 門型式における基礎の施工数量の対象は、左右各々の数量とする。</p> <p>(5) 加算額 φ101.6の曲げ支柱(路側式)加算額は、別途特別調査等とする。 照明柱・既設標識柱における取付金具設置において、金具数量が多い場合は、直付バンド・共架金具等1段増量ごとに加算する。</p> <p>(6) その他 随意契約により調整を行う追加工事の取扱い、現工事の施工規模を考慮せず単独工事として数量を判定する</p> <p style="text-align: center;">VI-1-⑫-7</p>	連番修正																	
	<p>2-4 加算額</p> <p style="text-align: center;">表 2.18 加算額の適用基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>適 用 基 準</th> <th>単 位</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>曲げ支柱(路側式) (柱の表面の塗装仕様の種類を問わず)</td> <td>路側式の標識柱に曲げ支柱を使用する場合は、対象となる支柱本数に支柱径ごとの金額を加算する。</td> <td>本</td> <td rowspan="4">対象数量</td> </tr> <tr> <td>標識板の裏面塗装</td> <td>片持式・門型式の標識板の裏面に塗装をする場合は、対象となる面積に金額を加算する。</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>アンカーボルトの材料価格</td> <td>基礎にアンカーボルトを設置する場合は、アンカーボルトの質量に応じて金額を計上する。</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>取付金具の材料価格</td> <td>照明柱・既設標識柱における取付金具設置において、直付2段または補助支柱を併用したうえで共架金具等が1段を超える場合、1段増量することに金額を加算する。</td> <td>段</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費 = (設計単価) (注1) × (設計数量) + (材料費) (注2) + (加算額総金額) (注3) (注1) 設計単価 = (標準の市場単価) × (1 + S₀ or S₁ or S₂ / 100) × (K₁ × K₂ × …… K_n) ただし、S₁ or S₂ と K₁ は重複使用しない。 (注2) 手間のみの場合のみ、必要に応じて計上する。 (注3) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 (1) 標識柱・基礎設置 路側式(景観色)はダークブラウン、グレーベージュ、ダークグレーの標準3色(近似色含む)に適用する。 オフホワイト(乳白色)は白色、景観色ともに適用外。 門型式はトラス型及び丸パイプ型を標準とする。 片持式及び門型式の標識柱の材料費は、共通仮設費及び現場管理費の対象額に含めない。</p> <p>(2) 標識板設置 警戒標識、規制標識、指示標識、路線番号標識は、設置手間に材料費(標識板及び取付金具)を加算して適用する。また、設置手間は板の枚数及び補助板の有無にかかわらず、1基当たりとして設置手間を適用する。 案内標識(新設)は、溶接型ブラケットを標準とする。また溶接型ブラケットは、標識柱の質量に含めて、柱材料費として計上する。 クランプ型ブラケットを使用する場合は、材料費を別途計上する。また設置手間は、案内標識板の設置手間に含まれる。 案内標識(移設)は、標識板を再設置する費用であり、標識板を撤去後移設する場合には、撤去費と設置(移設)費をそれぞれ計上する。再設置に際して取付金具等の交換を要する場合には、材料費を別途計上する。また既設標識板を現場外の仮置き場等に撤出する費用は含まない。 嵌合構造で固定する標識板設置は適用外となる。</p> <p>(3) 添架式標識板取付金具設置 歩道橋における添架式標識板取付金具設置は、設置手間に材料費(取付金具)を別途計上して適用する。 照明柱・既設標識柱における取付金具設置は、直付の場合は2段まで、補助支柱と共架金具等を併用する場合は、共架金具1段(補助支柱含む)までの材料費を含む。設置費は、取付金具の段数・種類にかかわらず標識板1枚分を含む。</p> <p>(4) 基礎設置 門型式における基礎の施工数量の対象は、左右各々の数量とする。</p> <p>(5) 加算額 φ101.6の曲げ支柱(路側式)加算額は、別途特別調査等とする。 照明柱・既設標識柱における取付金具設置において、金具数量が多い場合は、直付バンド・共架金具等1段増量ごとに加算する。</p> <p>(6) その他 随意契約により調整を行う追加工事の取扱い、現工事の施工規模を考慮せず単独工事として数量を判定する。</p>	区 分	適 用 基 準	単 位	備 考	曲げ支柱(路側式) (柱の表面の塗装仕様の種類を問わず)	路側式の標識柱に曲げ支柱を使用する場合は、対象となる支柱本数に支柱径ごとの金額を加算する。	本	対象数量	標識板の裏面塗装	片持式・門型式の標識板の裏面に塗装をする場合は、対象となる面積に金額を加算する。	㎡	アンカーボルトの材料価格	基礎にアンカーボルトを設置する場合は、アンカーボルトの質量に応じて金額を計上する。	kg	取付金具の材料価格	照明柱・既設標識柱における取付金具設置において、直付2段または補助支柱を併用したうえで共架金具等が1段を超える場合、1段増量することに金額を加算する。	段	適合範囲の明確化
区 分	適 用 基 準	単 位	備 考																
曲げ支柱(路側式) (柱の表面の塗装仕様の種類を問わず)	路側式の標識柱に曲げ支柱を使用する場合は、対象となる支柱本数に支柱径ごとの金額を加算する。	本	対象数量																
標識板の裏面塗装	片持式・門型式の標識板の裏面に塗装をする場合は、対象となる面積に金額を加算する。	㎡																	
アンカーボルトの材料価格	基礎にアンカーボルトを設置する場合は、アンカーボルトの質量に応じて金額を計上する。	kg																	
取付金具の材料価格	照明柱・既設標識柱における取付金具設置において、直付2段または補助支柱を併用したうえで共架金具等が1段を超える場合、1段増量することに金額を加算する。	段																	
積算上の注意事項																			

改 定 理 由	一 部 改 定	改 定 現 行	備 考																																																																																																																										
現	行	改 定	備 考																																																																																																																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">穿 孔</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">充 填 ・ 設 置</td> </tr> <tr> <td>道路 鋸 (穿孔式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 充填材 (労務費・材料費) を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">貼 付</td> </tr> <tr> <td>道路 鋸 (貼付式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 接着材 (労務費・材料費) の費用を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">穿 孔</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">充 填 ・ 設 置</td> </tr> <tr> <td>車線分離票 (可変式・脱着式) (穿孔式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 充填材 (労務費・材料費) を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">貼 付</td> </tr> <tr> <td>車線分離票 (固定式) (貼付式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 接着剤 (労務費・材料費) の費用を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">穿 孔</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">充 填 ・ 設 置</td> </tr> <tr> <td>境界 鋸</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 充填材 (労務費・材料費) を含む。</p>		工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置	道路 鋸 (穿孔式)	機	材		○	○			工 種	市場単価		貼 付	道路 鋸 (貼付式)	機	材		/	○		工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置	車線分離票 (可変式・脱着式) (穿孔式)	機	材		○	○			工 種	市場単価		貼 付	車線分離票 (固定式) (貼付式)	機	材		/	○		工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置	境界 鋸	機	材		○	○		×	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">穿 孔</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">充 填 ・ 設 置</td> </tr> <tr> <td>道路 鋸 (穿孔式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 充填材 (労務費・材料費) を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">貼 付</td> </tr> <tr> <td>道路 鋸 (貼付式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 接着材 (労務費・材料費) の費用を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">穿 孔</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">充 填 ・ 設 置</td> </tr> <tr> <td>車線分離標 (可変式・脱着式) (穿孔式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 充填材 (労務費・材料費) を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">貼 付</td> </tr> <tr> <td>車線分離標 (固定式) (貼付式)</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 接着剤 (労務費・材料費) の費用を含む。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 種</td> <td colspan="2">市場単価</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">穿 孔</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">充 填 ・ 設 置</td> </tr> <tr> <td>境界 鋸</td> <td style="text-align: center;">機</td> <td style="text-align: center;">材</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 充填材 (労務費・材料費) を含む。</p>	工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置	道路 鋸 (穿孔式)	機	材		○	○			工 種	市場単価		貼 付	道路 鋸 (貼付式)	機	材		/	○		工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置	車線分離標 (可変式・脱着式) (穿孔式)	機	材		○	○			工 種	市場単価		貼 付	車線分離標 (固定式) (貼付式)	機	材		/	○		工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置	境界 鋸	機	材		○	○		×	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置																																																																																																																									
道路 鋸 (穿孔式)	機	材																																																																																																																											
	○	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		貼 付																																																																																																																										
道路 鋸 (貼付式)	機	材																																																																																																																											
	/	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置																																																																																																																									
車線分離票 (可変式・脱着式) (穿孔式)	機	材																																																																																																																											
	○	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		貼 付																																																																																																																										
車線分離票 (固定式) (貼付式)	機	材																																																																																																																											
	/	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置																																																																																																																									
境界 鋸	機	材																																																																																																																											
	○	○		×																																																																																																																									
工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置																																																																																																																									
道路 鋸 (穿孔式)	機	材																																																																																																																											
	○	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		貼 付																																																																																																																										
道路 鋸 (貼付式)	機	材																																																																																																																											
	/	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置																																																																																																																									
車線分離標 (可変式・脱着式) (穿孔式)	機	材																																																																																																																											
	○	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		貼 付																																																																																																																										
車線分離標 (固定式) (貼付式)	機	材																																																																																																																											
	/	○																																																																																																																											
工 種	市場単価		穿 孔	充 填 ・ 設 置																																																																																																																									
境界 鋸	機	材																																																																																																																											
	○	○		×																																																																																																																									
積算上の注意事項																																																																																																																													

VI-1-⑬-3

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

表2.7 道路付属物撤去

区 分	規 格 ・ 仕 様	単 位
視線誘導標 (スノーポール 併用型含む)	土中建込用	本
	コンクリート建込用	
	防護柵取付用	
	構造物取付用	
境界杭		本
道 路 鈺	穿孔式	個
	貼付式	
車線分離標	可変式(穿孔式・1本脚)	本
	着脱式(穿孔式・3本脚)	
	固定式(貼付式)	
境 界 鈺		枚

(注) 境界杭は、河川境界杭を含む。

2-3 加算率・補正係数

(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.8 加算率・補正係数の適用基準

区 分	記号	適 用 基 準	備 考
加算率	S ₀	標準	全体数量
	S ₁	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	
	S ₂		
補正係数	K ₁	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	対象数量
	K ₂	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.9 加算率・補正係数の数値

区 分	記号	視線誘導標	境界杭	道 路 鈺	車線分離標	境 界 鈺	撤 去
加算率	S ₀	(30本以上) 0%	(30本以上) 0%	(30個以上) 0%	(30枚以上) 0%	(30枚以上) 0%	(30枚以上) 0%
	S ₁	(10本以上 30本未満) 5%	(10本以上 30本未満) 5%	(10個以上 30個未満) 5%	(10枚以上 30枚未満) 5%	(10枚以上 30枚未満) 10%	(10枚以上 30枚未満) 10%
	S ₂	(10本未満) 10%	(10本未満) 10%	(10個未満) 10%	(10枚未満) 10%	(10枚未満) 10%	(10枚未満) 15%
補正係数	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10
	K ₂	1.15	1.30	1.15	1.15	1.15	1.50

(注) 施工規模加算率(S₁)または(S₂)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。

VI-1-⑬-6

現行どおり

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.9 加算率・補正係数の数値(設置工)

区 分	記号	視線誘導標	境界杭	道 路 鈺	車線分離標	境 界 鈺
加算率	S ₀	(30本以上) 0%	(30本以上) 0%	(30個以上) 0%	(30本以上) 0%	(30枚以上) 0%
	S ₁	(10本以上 30本未満) 10%	(10本以上 30本未満) 20%	(10個以上 30個未満) 5%	(10本以上 30本未満) 5%	(10枚以上 30枚未満) 20%
	S ₂	(10本未満) 15%	(10本未満) 30%	(10個未満) 10%	(10本未満) 10%	(10枚未満) 30%
補正係数	K ₁	1.10	1.20	1.05	1.05	1.20
	K ₂	1.20	1.50	1.15	1.15	1.50

(注) 施工規模加算率(S₁)または(S₂)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。

補正率の見直し

積算上の注意事項

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

2-4 加算額
(1) 加算額の適用基準

表2.10 加算額の適用基準

規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	単 位	備 考
加 算 額	視線誘導標 (プロペラ型)	防塵型 反射体 径 φ100以下	面	対象数量
		防塵型 反射体 径 φ300		
	さ や 管	対象となる規格・仕様の単価に 加算額を加算する。	本	

(注) 防塵型 (プロペラ型) の加算額は、反射体1面当たりの単価であり、両面防塵型を使用する場合は、視線誘導標1本当たり2面分を加算する。

2-5 直接工事費の算出

直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2)

(注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂)

(注2) 加算額総金額=加算額×使用数量

3. 適用にあたっての留意事項

市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。

(1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。(境界杭・境界線は除く)

設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費

(2) 視線誘導標の規格・仕様の留意点は、以下のとおりである。

- 1) 反射体材質 : ポリカーボネートおよび同等品。
- 2) 支柱材質 : 鋼管、樹脂および同等品。ただし、アルミは除く。
- 3) 根巻基礎一体型の境界杭を用いる場合には、「根巻基礎無し」の価格を用いる。
- 4) 道路線の規格・仕様の留意点は、以下のとおりである。

1) 設置幅 : 本体の寸法ではなく、道路上に設置したときの幅である。

(5) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。

VI-1-⑬-7

積算上の注意事項

区 分	記 号	視線誘導標	境界杭	道路線	車線分離標	境界線
加算率	S ₀	(30本以上) 0%	(30本以上) 0%	(30個以上) 0%	(30本以上) 0%	(30枚以上) 0%
	S ₁	(10本以上 30本未満) 20%	(10本以上 30本未満) 20%	(10個以上 30個未満) 20%	(10本以上 30本未満) 20%	(10枚以上 30枚未満) 20%
	S ₂	(10本未満) 30%	(10本未満) 30%	(10個未満) 30%	(10本未満) 30%	(10枚未満) 30%
補正係数	時間的制 約を受け る場合	K ₁	1.20	1.20	1.20	1.20
	夜間作業	K ₂	1.50	1.50	1.50	1.50

(注) 施工規模加算率(S₀)又は(S₁)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。

補正率の見直し

2-4 加算額
(1) 加算額の適用基準

表2.11 加算額の適用基準

規 格 ・ 仕 様		適 用 基 準	単 位	備 考
加 算 額	視線誘導標 (プロペラ型)	防塵型 反射体 径 φ100以下	面	対象数量
		防塵型 反射体 径 φ300		
	さ や 管	対象となる規格・仕様の単価に 加算額を加算する。	本	

(注) 防塵型 (プロペラ型) の加算額は、反射体1面当たりの単価であり、両面防塵型を使用する場合は、視線誘導標1本当たり2面分を加算する。

現行どおり

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現	行	改	定	備 考
---	---	---	---	-----

2-2 市場単価の規格・仕様
軟弱地盤処理工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。

表2.1 規格・仕様

区 分	規 格 ・ 仕 様	単 位
サ ン ド ド レ ー ン 工	打設長 10m未満	m
	10m以上20m未満	
	20m以上35m未満	
サンドコンパクションパイル工	打設長 10m未満	
	10m以上20m未満	
	20m以上35m未満	

(注1) 規格・仕様は、造成する砂杭1本当りの打設長を対象とする。
(注2) 併用工の場合は、区分毎の杭長(L2・L3)で判断せず、造成する砂杭1本当りの打設長(L1)を対象とする。(L1<35m)

(注3) サンドマットがある場合、サンドマット(La)の厚みを含む長さ(L1=L a +L b)とする。

(注4) 1工事で規格・仕様が複数にわたる場合、それぞれの規格・仕様に応じた打設長を適用する。

VI-1-⑮-2



2-2 市場単価の規格・仕様
軟弱地盤処理工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。

表2.1 規格・仕様区分

区 分	規 格 ・ 仕 様	単 位
サ ン ド ド レ ー ン 工	打設長 10m未満	m
	10m以上20m未満	
	20m以上35m未満	
サンドコンパクションパイル工	打設長 10m未満	
	10m以上20m未満	
	20m以上35m未満	

(注) 1. 規格・仕様は、造成する砂杭1本当りの打設長を対象とする。
2. 併用工の場合は、区分毎の杭長(L2・L3)で判断せず、造成する砂杭1本当りの打設長(L1)を対象とする。(L1<35m)

3. サンドマットがある場合、サンドマット(La)の厚みを含む長さ(L1=L a +L b)とする。

4. 1工事で規格・仕様が複数にわたる場合、それぞれの規格・仕様に応じた打設長を適用する。

語句の修正

積算上の注意事項

改 定 理 由	一部改定	改 定	
		現 行	

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.2 加算率・補正係数の適用基準

区 分		適 用 基 準		記 号	備 考
加算率	施工規模	標準		S_0	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。		S_1	
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K_1	対象数量
		通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K_2	

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

区 分		記号	サンドドレーン工	サンドコンパクションバイブル工
加算率	施工規模	S_0	(3,000m以上)	0%
		S_1	(3,000m未満)	15%
補正係数	時間的制約を受ける場合	K_1	1.15	
		K_2	1.05	

(注)1. 施工規模加算率(S_1)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K_1)が重複する場合は施工規模加算率(S_1)のみを対象とする。
2. 併用工の施工規模は、区分(L2・L3)毎の総延長で判断せず、一工事における総延長(L1)の合計で判断する。(表2.1 注2の図参照)

2-4 直接工事費の算出

直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+材料費(注2)

- (注)1. 設計単価=標準の市場単価×(1+ S_0 or $S_1/100$)×(K_1 × K_2)
2. 材料費は必要に応じて計上。

3. 適用にあたっての留意事項

市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。

- (1) 市場単価には材料費(砂、碎石)を含まない。材料費の計上は次による。
材料費= $\pi/4$ ×杭径²×(1+ロス率(注1))×工種別打設長(注2)×材料単価

表3.1 砂のロス率

サンドドレーン工	+0.26
サンドコンパクションバイブル工	+0.41

(注)1. 碎石を使用する場合のロス率は別途考慮すること。
2. サンドマットの厚みも含む。

- (2) サンドバイブル打機の分解・組立・運搬については、別途運搬費にて計上する。
(3) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。

VI-1-15-3

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.2 加算率・補正係数の適用基準

区 分		適 用 基 準		記 号	備 考
加算率	施工規模	標準		S_0	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。		S_1	
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K_1	対象数量
		通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。		K_2	

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

区 分		記号	サンドドレーン工	サンドコンパクションバイブル工
加算率	施工規模	S_0	(3,000m以上)	0%
		S_1	(3,000m未満)	15%
補正係数	時間的制約を受ける場合	K_1	1.15	
		K_2	1.05	

(注)1. 施工規模加算率(S_1)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K_1)が重複する場合は施工規模加算率(S_1)のみを対象とする。
2. 併用工の施工規模は、区分(L2・L3)毎の総延長で判断せず、1工事における総延長(L1)の合計で判断する。(表2.1 注2の図参照)

2-4 直接工事費の算出

直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+材料費(注2)

- (注)1. 設計単価=標準の市場単価×(1+ S_0 or $S_1/100$)×(K_1 × K_2)
2. 材料費は必要に応じて計上。

3. 適用にあたっての留意事項

市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。

- (1) 市場単価には材料費(砂、碎石)を含まない。材料費の計上は次による。
材料費= $\pi/4$ ×杭径²×(1+ロス率(注1))×工種別打設長(注2)×材料単価

表3.1 砂のロス率

サンドドレーン工	+0.26
サンドコンパクションバイブル工	+0.41

(注)1. 碎石を使用する場合のロス率は別途考慮すること。
2. サンドマットの厚みも含む。

- (2) サンドバイブル打機の分解・組立・運搬については、別途運搬費にて計上する。
(3) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。

語句の修正

積算上の注意事項

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行	
---------	------	------------	--

現 行	改 定	備 考
-----	-----	-----

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.2 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合(100㎡未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁	全体数量
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限をする場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量
	夜間作業	通常勤務すべき時間帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量
	裏込コンクリートを施工しない場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量
	空積の場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

区 分		記号	コンクリートブロック積工 ブロック積工
加算率	施工規模	S ₀	100㎡以上 0%
		S ₁	100㎡未満 15%
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.15
	夜間作業	K ₂	1.25
	裏込コンクリートを施工しない場合	K ₃	0.95
	空積の場合	K ₄	0.85

(注) 施工規模加算率(S₁)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模の加算率のみを対象とする。

2-4 直接工事費の算出
直接工事費=(設計単価(注1)×設計数量)+材料費(注2)
(注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁/100)×(K₁×K₂×K₃×K₄)
(注2) 胴込・裏込コンクリートを施工する場合は、コンクリート材料費を計上する。材料費の計上は次式による。
材料費=コンクリート(胴込・裏込)材料単価×設計数量×1.12(ロス分)

2-3 加算率・補正係数
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.2 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合(100㎡未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁	全体数量
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限をする場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量
	夜間作業	通常勤務すべき時間帯(所定労働時間)を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量
	裏込コンクリートを施工しない場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量
	空積の場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量

現行どおり

適用範囲の明確化

積算上の注意事項

改 定 理 由	一部改定	改 定 現 行	
現	行	改 定	備 考
<div data-bbox="273 432 866 1291" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>4. コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止)参考図</p> <p>正面図</p> <p>A-A断面</p> <p style="text-align: center;">VI-1-⑯-4</p> </div>	<div data-bbox="1272 507 1753 1241"> <p>4. <u>参考資料 参考図</u>(コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止))<u>参考図</u></p> <p>正面図</p> <p>A-A断面</p> </div>	<p>表題の修正</p> <p>説明の追加</p>	
積算上の注意事項			